

第3章 地域公共交通実態調査

3-1. 調査の概要

(1)目的

地域公共交通実態調査（以下、「実態調査」と記す。）は、幌延町民の公共交通を含めた生活交通の実態及び公共交通の利用者ニーズを把握することにより、住民の生活交通を効率的に確保する地域公共交通計画立案の基礎データを収集することを目的とします。

(2)実態調査の概要

実態調査は利用動向調査（住民アンケート調査）、鉄道利用乗降調査（カウント調査・ヒアリング調査）、来訪者アンケート調査及びバス利用実態調査（カウント調査・ヒアリング調査）により交通実態を把握しました。

各調査の概要は以下のとおりです。

表 実態調査の概要

項目	調査方式	調査内容
利用動向調査（住民アンケート調査）		<ul style="list-style-type: none">・個人属性（居住地域、年齢、性別、運転免許の有無・運転状況等）・交通実態（公共交通の利用状況、一週間の外出状況）・今後の要望等（公共交通に対する満足度、利用しない理由、今後の利用意向・希望、望む改善策、新たな交通手段・金額、ボランティア参加の意向 等）
鉄道利用乗降調査	カウント	<ul style="list-style-type: none">・町内のすべてのJR駅の乗降客数をカウント（平日、休日各1日）※平日調査は調査予定日においてJR列車が踏切事故のため運休予備日においても夕刻以降の便が大雨のため運休となったため、幌延駅のみ他の調査結果を合わせて整理
	ヒアリング	<ul style="list-style-type: none">・カウント調査と合わせ、町内のJR駅で乗降する方を対象にヒアリングを実施・個人属性（居住地域、年齢、性別）、利用状況（目的、頻度、乗降駅）、端末交通手段 等
来訪者アンケート調査		<ul style="list-style-type: none">・町内主要施設利用者を対象にアンケート調査を実施・個人属性（居住地域、年齢、性別等）、利用施設、利用目的、滞在時間・日数、利用交通手段、町内の移動で望まれる交通手段等
バス乗降調査	カウント	<p>【停留所間の移動状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年度に北海道留萌管内地域で実施した沿岸バス乗降調査カウント調査結果から、幌延町に関する内容を整理（平日、休日各1日） <p>【各停留所区間人数】</p> <ul style="list-style-type: none">・沿岸バス様からの情報提供により、令和3年10月から令和4年9月までの1日当たり平均値を整理
	ヒアリング	<ul style="list-style-type: none">・カウント調査と合わせ、ヒアリング調査を実施・個人属性（居住地域、年齢、性別）、利用状況（目的、頻度、乗降駅）、端末交通手段 等

(3)調査の実施方法

調査の実施方法は、以下のとおりです。

表 調査の実施方法

項目	調査方式	実施方法
利用動向調査（住民アンケート調査）		<p>【配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本郵便(株)の配達地域指定郵便物（タウンメール）による発送（全戸・全事業所へ配布） <p>【回収】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵送による回収
鉄道利用 乗降調査	カウント	<p>【普通列車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日・休日の始発便から最終便までのすべての列車を対象として、JR 下沼駅から JR 問寒別の区間において調査員が乗り込み、乗客一人ひとりの乗車駅と降車駅をカウント（町外は方面でカウント） <p>【特急列車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日・休日の始発便から最終便まで幌延駅に調査員を配置してカウント
	ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・カウント調査と合わせ、ヒアリング調査に協力いただける方を対象に実施
来訪者アンケート調査		<ul style="list-style-type: none"> ・下記の町内の主要な施設として、各施設の職員からアンケートを配置して回収 <p>▶幌延深地層研究センター ゆめ地創館</p> <p>▶幌延町トナカイ観光牧場</p> <p>▶幌延ビジターセンター</p> <p>▶北海道大学北方生物圏フィールド科学センタ一天塩研究林</p> <p>▶幌延町ホロカル（JR 幌延駅内）</p>
バス乗降 調査	カウント	<ul style="list-style-type: none"> ・平日・休日の始発便から最終便まで全便に調査員が乗り込み、乗客一人ひとりの乗車停留所と降車停留所をカウント
	ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・カウント調査と合わせ、ヒアリング調査に協力いただける方を対象に実施

(4)調査のスケジュール

調査のスケジュールは、以下のとおりです。

表 調査のスケジュール

項目	実施方法
利用動向調査（住民アンケート調査）	<ul style="list-style-type: none"> 配 布 日：令和 5 年 6 月 10 日（土） 回収期日：令和 5 年 6 月 30 日（金）
鉄道利用乗降調査	【本調査】 <ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年 7 月 24 日（月）、7 月 22 日（土）
	【他の調査】 <ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年 2 月 9 日（木）、6 月 22 日（木）、8 月 1 日（火）
来訪者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 開始：令和 5 年 6 月 20 日（火） 終了：令和 5 年 7 月 27 日（木）
バス乗降調査	<ul style="list-style-type: none"> 平日：令和 4 年 9 月 5 日（月） 休日：令和 4 年 9 月 4 日（日）

(5)調査対象人数等の状況

調査対象人数等の状況は、以下のとおりです。

表 配布・回収の状況

項目	調査対象人数等の状況
利用動向調査（住民アンケート調査）	<ul style="list-style-type: none"> 配布数：1,163 件 回収数：290 件（回収率：24.9%） うち Web 回答件 62 件（21.4%） 町 民：281 件（397 人） 事業所：9 件（20 人） 回答人数：417 人（1.44 人/件）
鉄道利用乗降調査	【カウント調査（乗降人数）】 <ul style="list-style-type: none"> 平日：41 人 休日：45 人
	【ヒアリング調査（回答者数）】 <ul style="list-style-type: none"> 平日：22 人 休日：23 人
来訪者アンケート調査	<p>【回答者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幌延深地層研究センター ゆめ地創館 : 2 人 幌延町トナカイ観光牧場 : 16 人 幌延ビジターセンター : 22 人 北海道大学北方生物圏フィールド科学センタ一天塩研究林：3 人 幌延町ホロカル（JR 幌延駅内） : 1 人
バス乗降調査	<p>【カウント調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幌延町内の停留所で、乗車、あるいは降車する人数 平日：59 人 休日：15 人 年平均：36.7 人/日 <p>【ヒアリング調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 19 人（幌延町にお住まいの方）

3-2. 利用動向調査

利用動向調査（住民アンケート調査）結果は以下のとおりです。

(1)個人属性

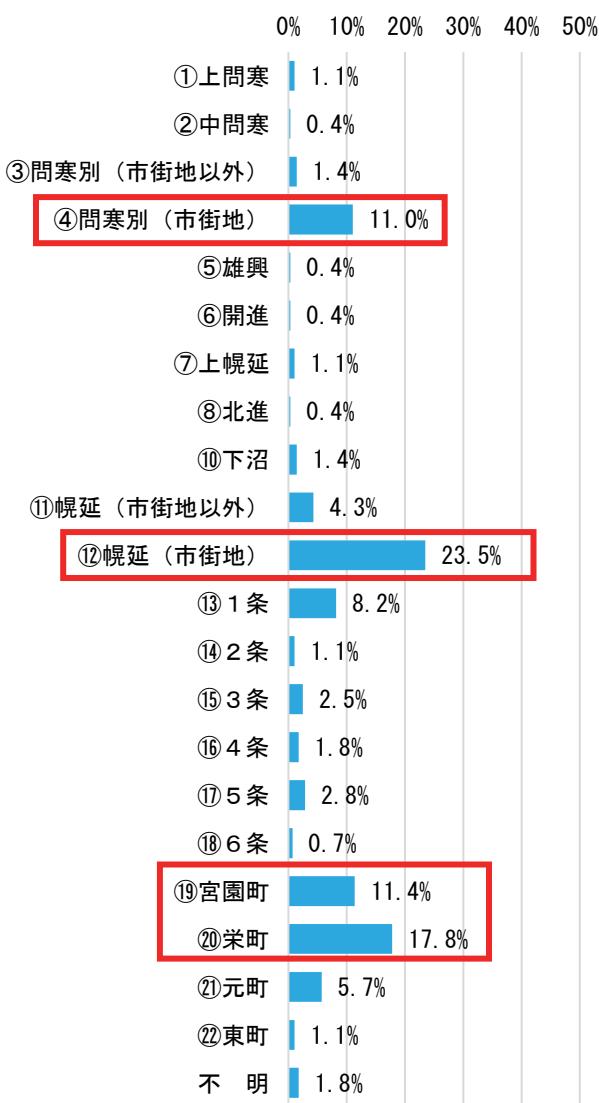
①居住地域（Q1）

居住地域は「⑫幌延（市街地）」が2割強と最も多く、次いで「⑯栄町」が2割弱、「⑲宮園町」と「⑭問寒別（市街地）」が1割強の順となっています。

町外に居住している町内事業所に勤めている方の居住地域は「⑬稚内市」「⑮天塩町」及び「⑰豊富町」となっています。

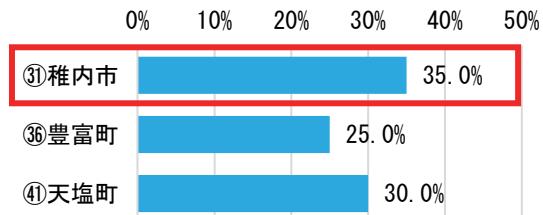
図表 居住地域（町内居住者）

居住地	件数
①上問寒	3
②中問寒	1
③問寒別（市街地以外）	4
④問寒別（市街地）	31
⑤雄興	1
⑥開進	1
⑦上幌延	3
⑧北進	1
⑨浜里	0
⑩下沼	4
⑪幌延（市街地以外）	12
⑫幌延（市街地）	66
⑬1条	23
⑭2条	3
⑮3条	7
⑯4条	5
⑰5条	8
⑱6条	2
⑲宮園町	32
⑳栄町	50
㉑元町	16
㉒東町	3
不明	5
合計	281



図表 居住地域（事務所：町外居住者）

居住地	件 数
③稚内市	7
②猿払村	0
③浜頓別町	0
④中頓別町	0
⑤枝幸町	0
⑥豊富町	5
⑦礼文町	0
⑧利尻町	0
⑨利尻富士町	0
⑩中川町	1
⑪天塩町	6
⑫その他	0
不 明	1
合 計	20



②交通空白地域（Q 2）

徒歩圏内への鉄道駅あるいはバス停の有無は、「ある」が8割、「ない」の2割弱を上回っています。

これを居住地域別に見ると、「①上間寒」「②中間寒」「③間寒別（市街地以外）」「⑦上幌延」「⑩下沼」及び「⑪幌延（市街地以外）」の郊外部において「ない」が6割弱を上回っています。

図表 最寄りの鉄道駅・バス停の有無

項目	件 数
①ある	227
②ない	48
不 明	6
合 計	281

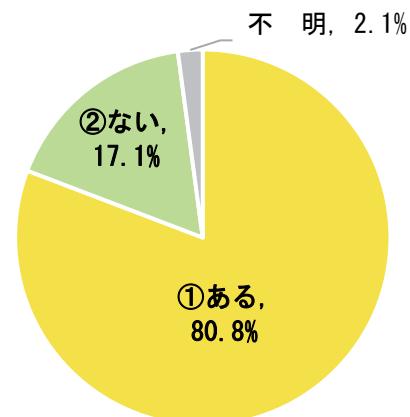




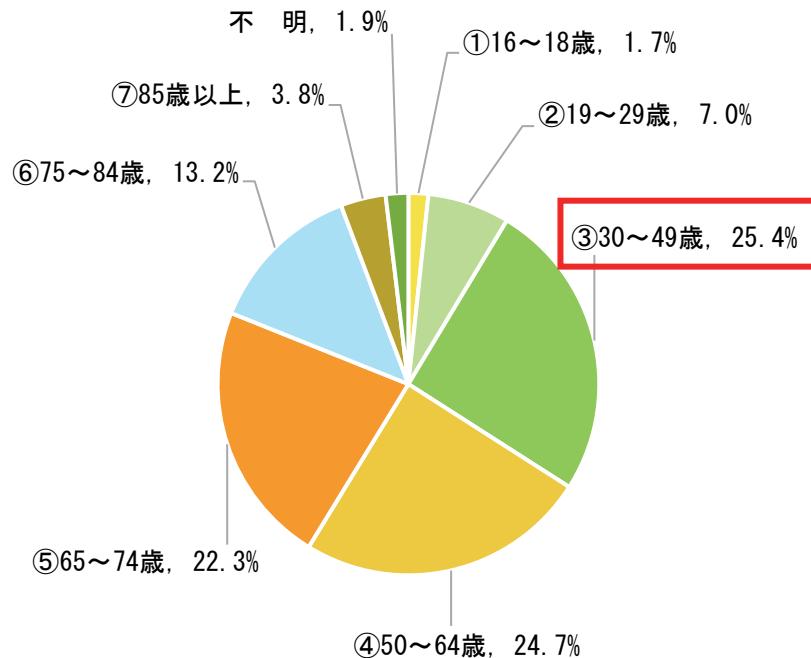
図 最寄りの鉄道駅・バス停の有無（居住地域別）

③年齢構成（Q 3）

年齢構成は、「③30～49 歳」が 3 割弱と最も多く、次いで「④50～64 歳」及び「⑤65～74 歳」が 2 割強となっています。

図表 年齢構成

年 齡	件 数
①16～18 歳	7
②19～29 歳	29
③30～49 歳	106
④50～64 歳	103
⑤65～74 歳	93
⑥75～84 歳	55
⑦85 歳以上	16
不 明	8
合 計	417

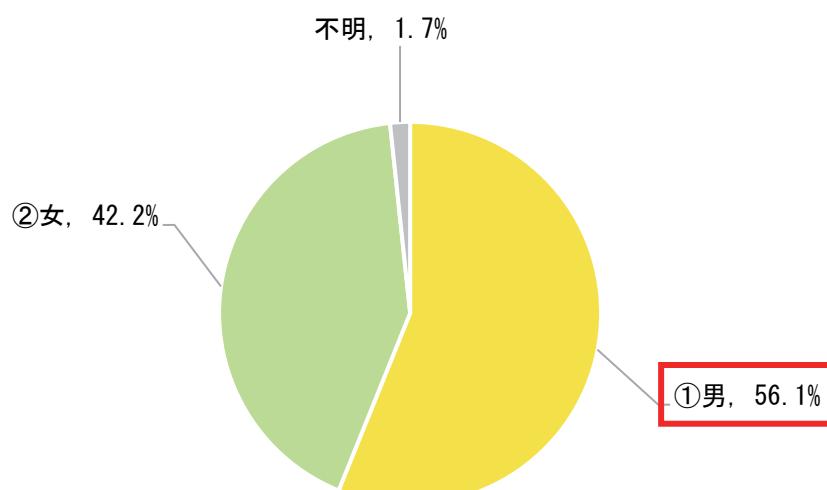


④性別（Q 4）

性別は「男性」の 6 割弱が「女性」の 4 割強を上回っています。

図表 性別

性 別	件 数
①男	234
②女	176
不明	7
合 計	417



⑤自動車運転免許保有状況（Q 8）

運転免許の保有状況は「①持っている」が8割強となっており、「②持っていない」の2割弱を大きく上回っています。

これを年齢別に見ると、「75～84歳」が5割弱、「85歳以上」が4割強の方が「①持っている」としております。

図表 自動車運転免許保有状況

項目	件数
①持っている	349
②持っていない	64
不明	4
合計	417

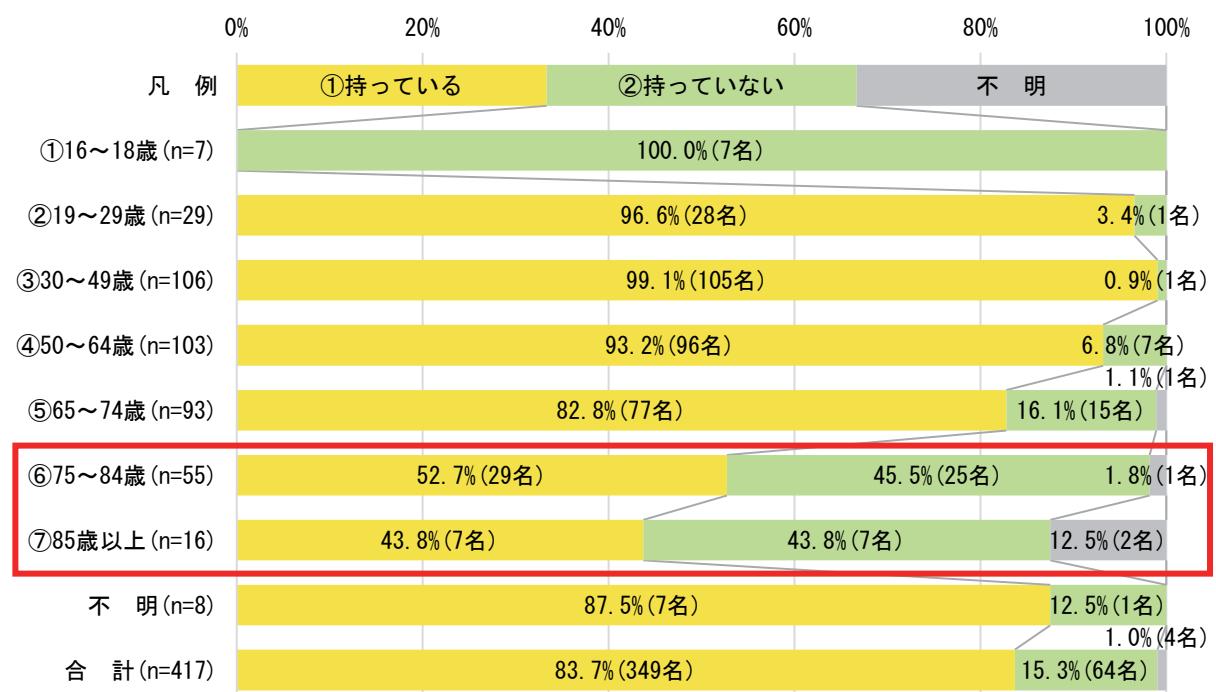
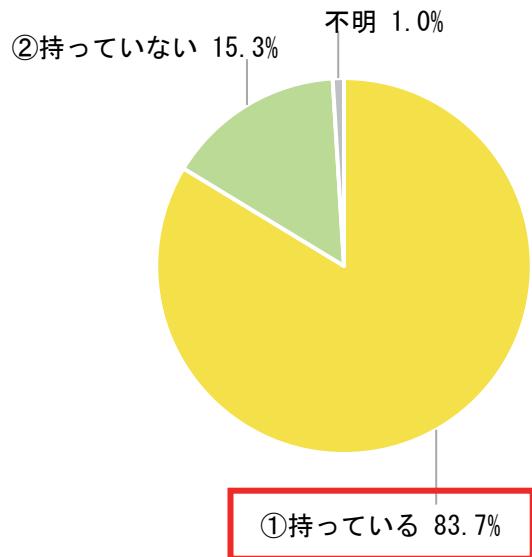


図 自動車運転免許保有状況（年齢別）

⑥自動車運転状況（Q 9）

自動車運転状況は、「①運転する」が9割となっており、「②運転しない」の1割を大きく上回っています。

これを年齢別に見ると、「85歳以上」においても6割弱が「①運転する」と回答しています。

図表 日常の運転状況

項目	件数
①運転する	313
②運転しない	36
合計	349

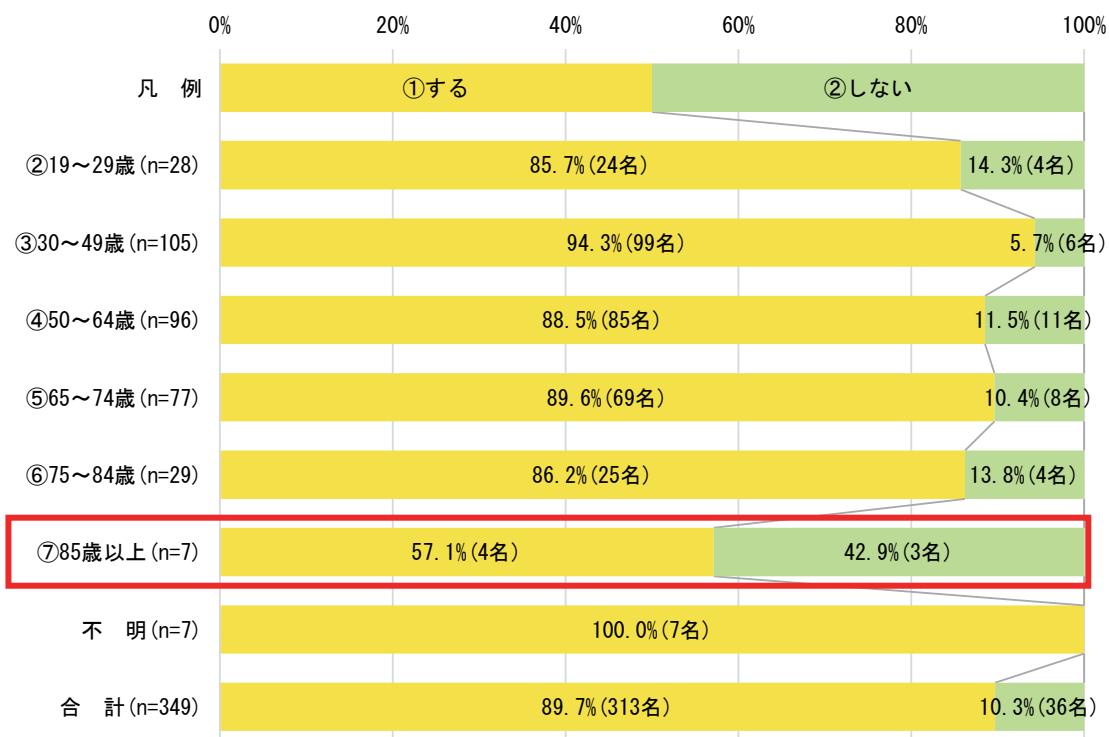
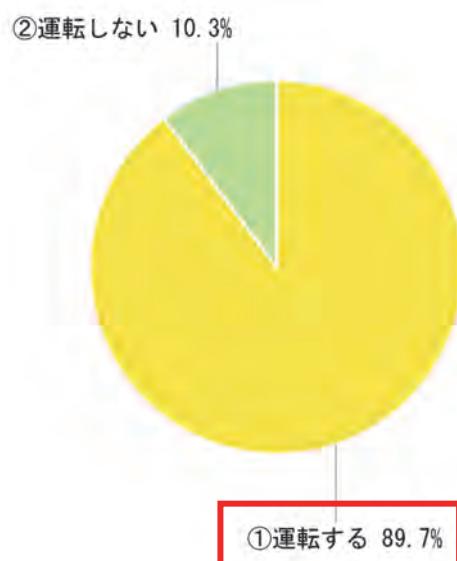


図 日常の運転状況（年齢別）

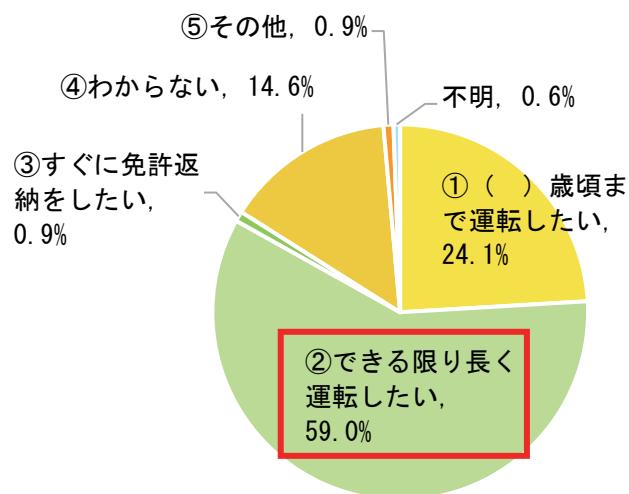
⑦将来の運転意向（Q9-3）

将来の運転意向については「②できる限り長く運転したい」が6割と最も多く、次いで「①〇歳頃まで運転したい」が2割強となっています。

「①〇歳頃まで運転したい」について年齢を見ると、「75～84歳」が5割強と最も多く、次いで「65～74歳」が3割、「85歳以上」が1割の順となっています。

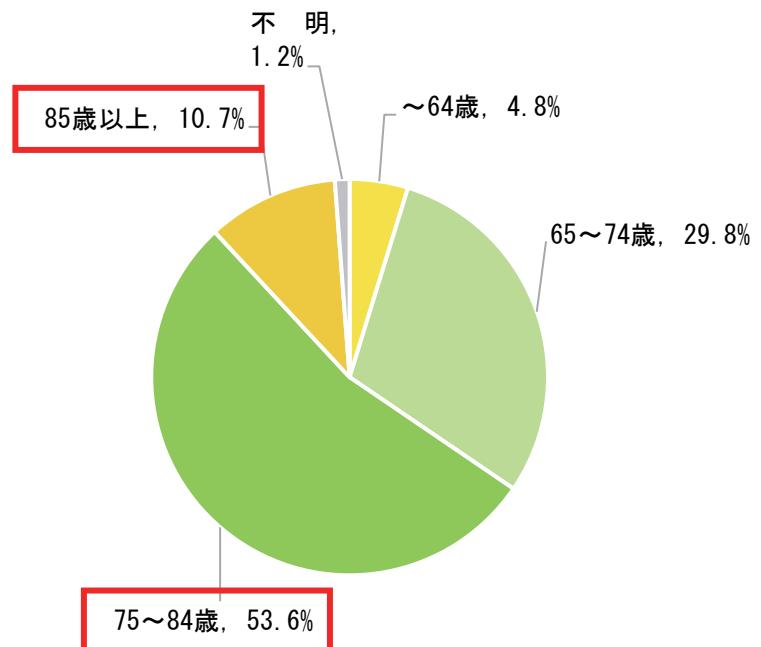
図表 将來の運転意向

項目	件数
①（ ）歳頃まで運転したい	84
②できる限り長く運転したい	206
③すぐに免許返納をしたい	3
④わからない	51
⑤その他	3
不明	2
合計	349



図表 運転したい年齢

項目	件数
～64歳	4
65～74歳	25
75～84歳	45
85歳以上	9
不 明	1
合 計	64



⑧運転への不安（Q 9－6）

運転への不安は「②冬や長距離の運転が不安」が5割と最も多く、次いで「③不安はない」が4割となっています。

これを年齢別に見ると、「50～64歳」を除き、「①いつも不安」と「②冬や長距離の運転が不安」の合計が5割を超えていいます。

図表 運転の不安

項目	件数
①いつも不安	29
②冬や長距離の運転が不安	172
③不安はない	142
不明	6
合 計	349

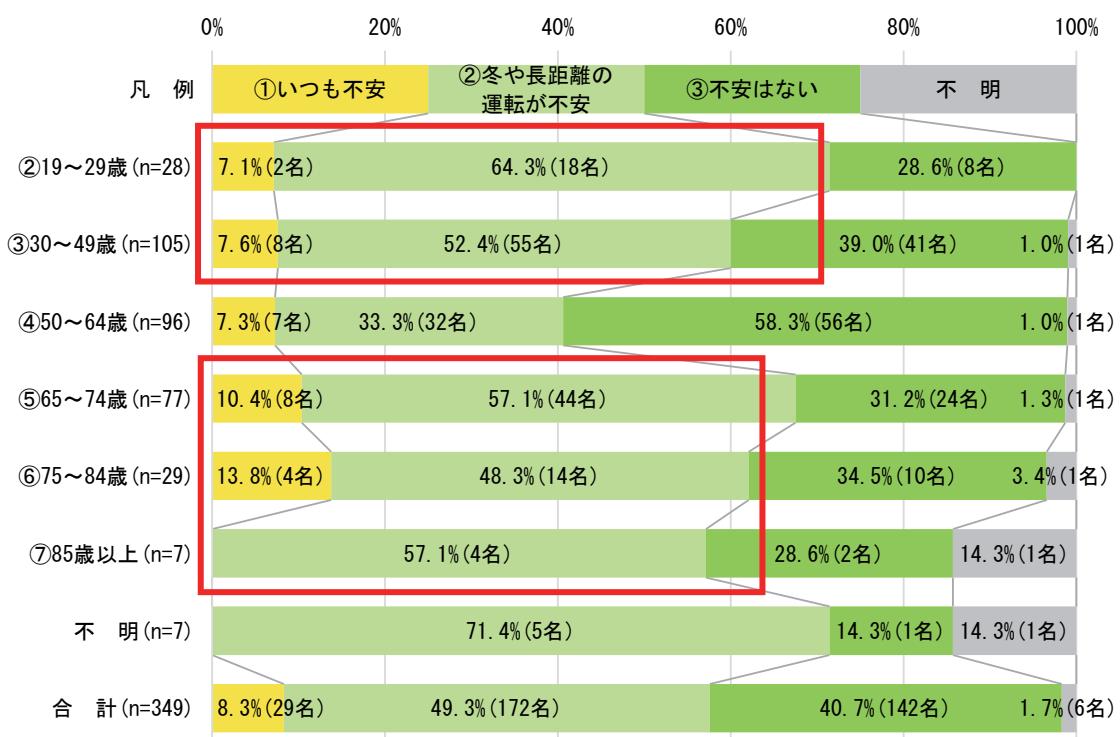
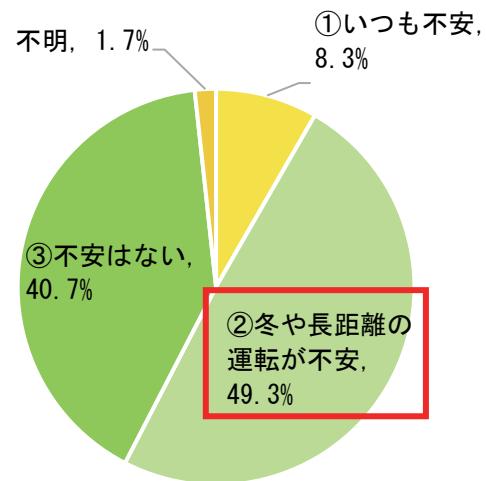


図 運転の不安（年齢別）

⑨事故を回避する自信 (Q 9-7)

事故を回避する自信については、「②自信がない」の6割強が、「①自信がある」の4割弱を上回っています。

これを年齢別に見ると、高年齢になるほど「①自信がある」の割合が減少するものの、75歳以上の方において3割前後が「①自信がある」と回答しています。

図表 事故を回避する自信

項目	件数
①自信がある	127
②自信がない	214
不明	8
合 計	349

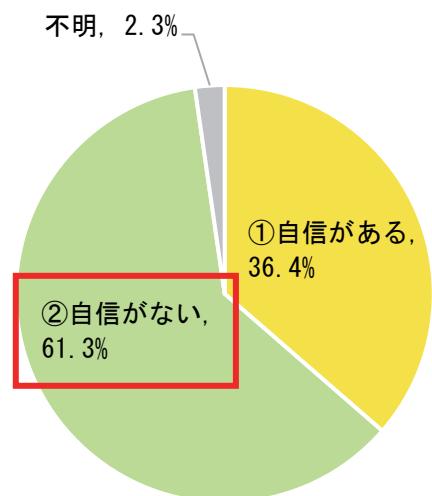


図 運転への不安（年齢別）

⑩特典等での免許返納以降 (Q 9 – 8)

特典等があれば運転免許を返納しやすくなるについては、「③あまり返納しやすくならない」が4割弱と最も多く、次いで「②少し返納しやすくなる」が3割となっています。

これを年齢別に見ると、「75~84歳」では「返納しやすくなる（①と②の合計）」と「返納しやすくならない（③と④の合計）」は概ね同数となっています。

図表 特典等での免許返納

項目	件 数
①返納しやすくなる	17
②少し返納しやすくなる	33
③あまり返納しやすくならない	40
④全く返納しやすくならない	20
不 明	3
合 計	113

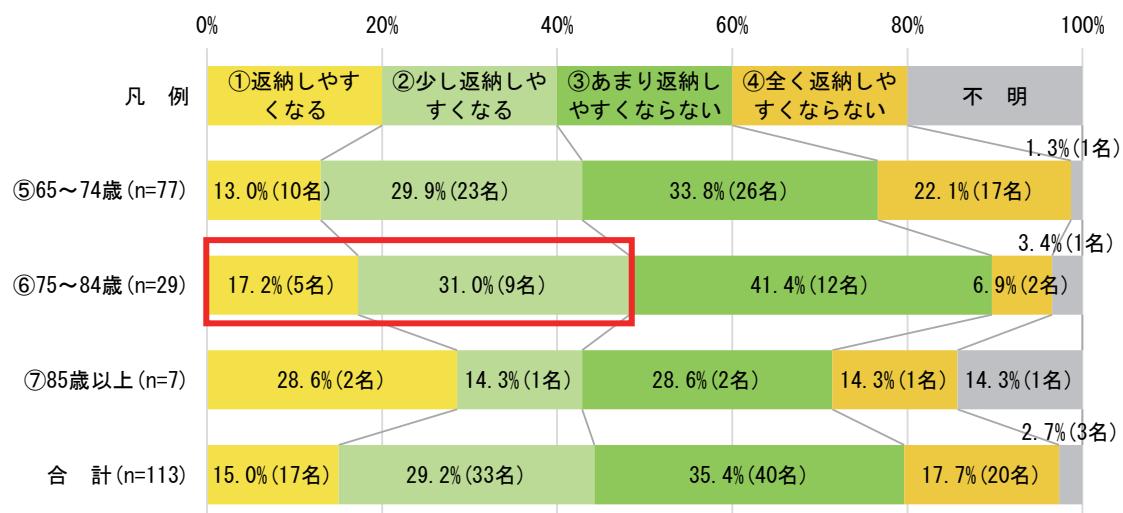
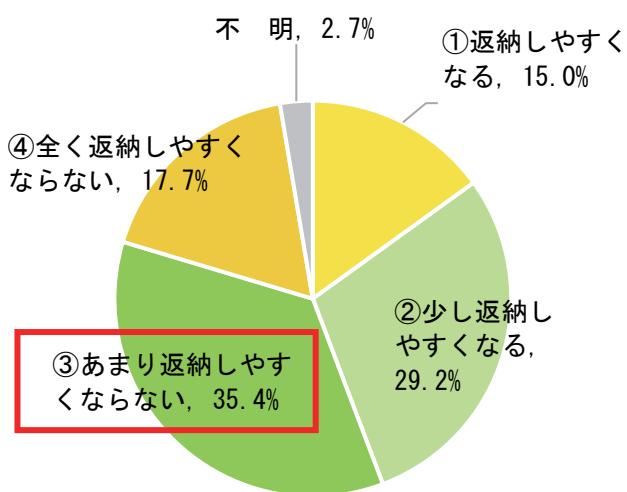


図 特典等での免許返納（年齢別）

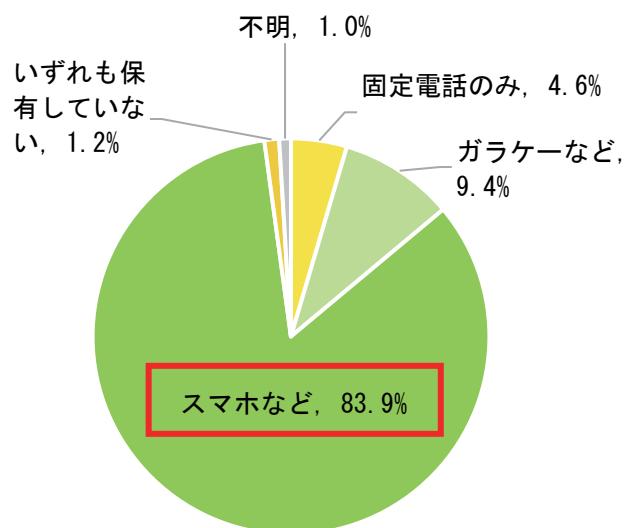
⑪携帯電話等の保有状況（Q11）

携帯電話等の保有状況は「スマホなど」が8割強と最も多く、次いで「ガラケーなど」が1割となっています。

これを年齢別に見ると、「固定電話のみ」は「85歳以上」が5割となっていますが、「75～84歳」では「ガラケーなど」と「スマホなど」の合計が8割となっており、「75～84歳」より若年になるにつれて、「スマホなど」を保有している割合が高くなっています。

図表 携帯電話等の保有状況

項目	件数
固定電話のみ	19
ガラケーなど	39
スマホなど	350
いずれも保有していない	5
不明	4
合計	19



「固定電話のみ」: 固定電話のみ保有

「ガラケーなど」: ガラケーのみ、固定電話とガラケーを保有

「スマホなど」: スマホのみ、ガラケーとスマホ、固定電話とガラケーとスマホを保有

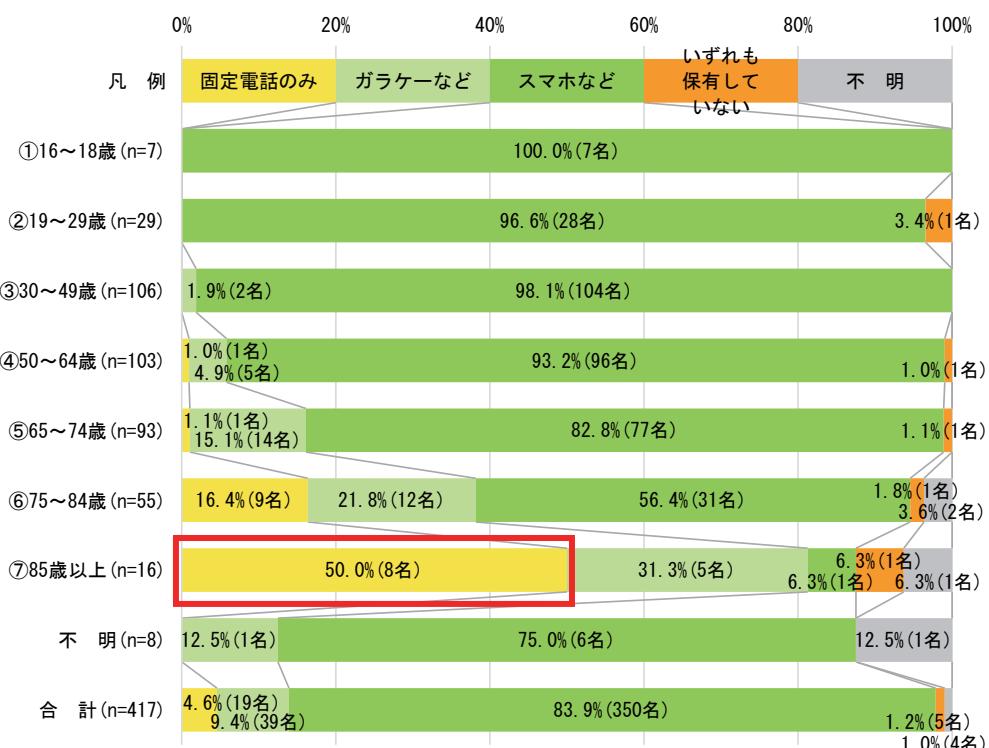


図 携帯電話等の保有状況（年齢別）

⑫「自動音声サービスシステム」の操作状況（Q12）

「自動音声サービスシステム」は、「①利用したことがあり、電話操作も問題がない」が4割強と最も多く、次いで「③利用したことはないが、電話操作は問題がない」が2割、「⑤知らない」が2割弱の順となっています。

これを年齢別に見ると、65歳以上では「④利用したことはなく、電話操作も自信がない」が増加する傾向となっています。

図表「自動音声サービスシステム」の操作

項目	件数
①利用したことがあり、電話操作も問題がない	189
②利用したことがあるが、電話操作に自信がない	20
③利用したことはないが、電話操作は問題がない	86
④利用したことはなく、電話操作も自信がない	41
⑤「自動音声サービス」は知らない	70
不明	11
合計	417

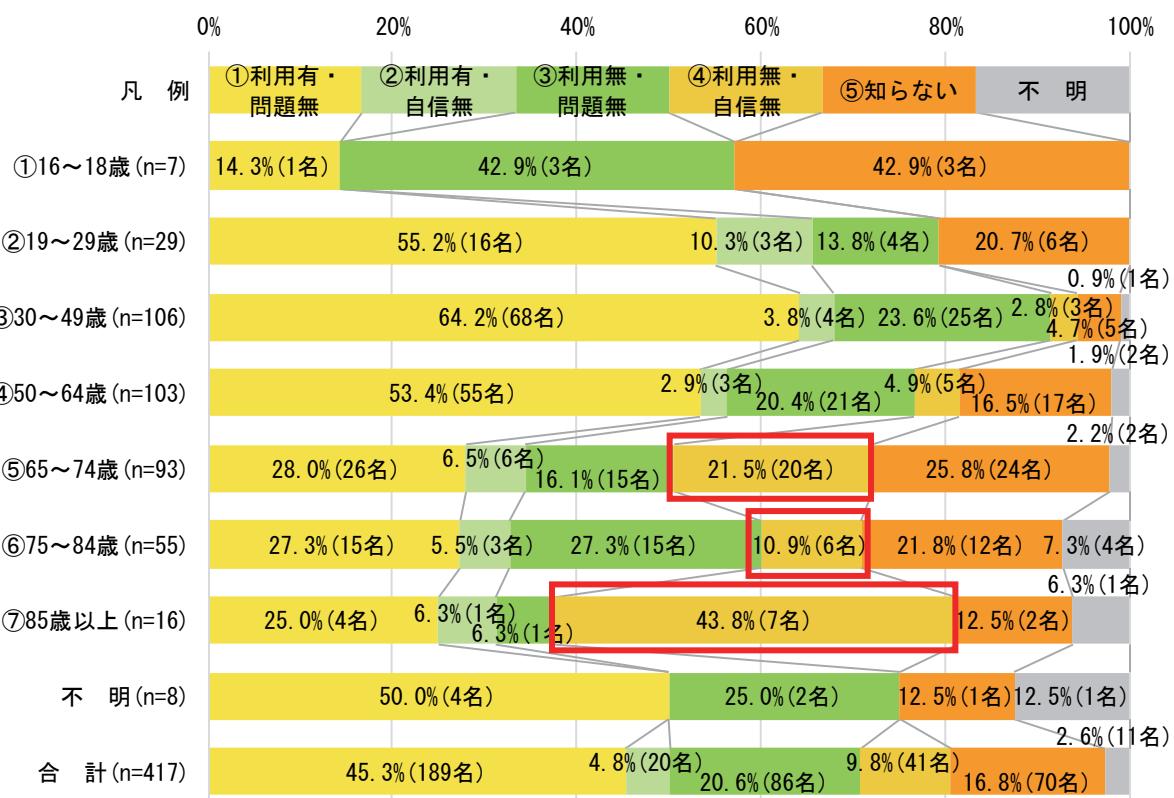
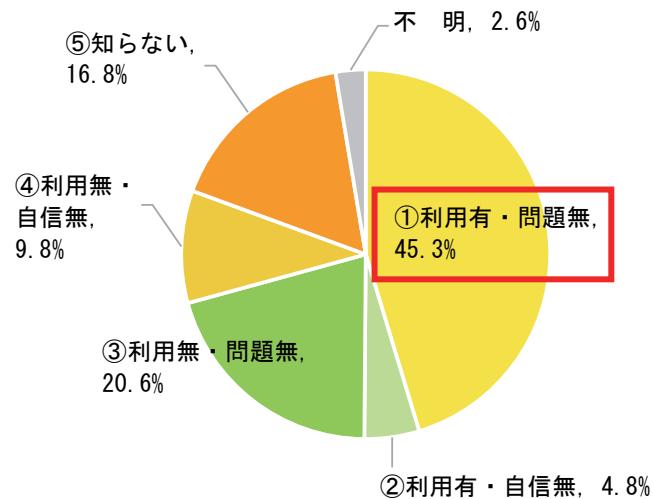


図 「自動音声サービスシステム」の操作（年齢別）

(2)公共交通利用実態

⑬公共交通利用状況 (Q 1 3)

「公共交通を利用 (①～③)」は、「a) JR宗谷本線」が4割強と最も多く、次いで「c)都市間バス」が3割、「e)ハイヤー」と「b)JR(その他路線)」が2割強となっています。

利用頻度は「a) JR宗谷本線」と「e)ハイヤー」が「②月に数回」が見受けられるものの、ほとんどが「③年に数回」となっています。

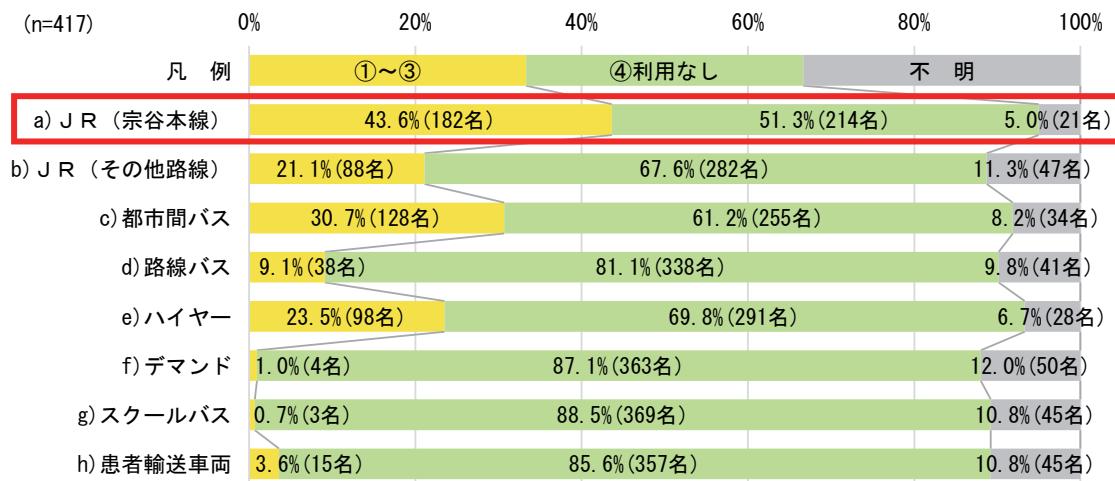


図 公共交通利用状況



図 公共交通利用頻度

⑭ 1週間の外出目的 (Q 1 6 - 1 - 1)

1週間の外出目的は「①通勤」が5割強と最も多く、次いで「④買い物」が2割弱、「⑧他の私用（趣味、友人宅等）」が1割強、「⑥レジャー・レクリエーション（スポーツ・散歩温泉等）」が1割の順となっています。

1週間の外出日数は、「①通勤」と「②通学」は5日程度で、「③通院」と「④買い物」は1日から2日程度となっています。

図表 外出目的

項目	件数
①通勤	768
②通学	40
③通院	65
④買い物	245
⑤役所等の手続き	16
⑥レジャー・レクリエーション（スポーツ・散歩・温泉等）	143
⑦観光	8
⑧他の私用（趣味、友人宅等）	170
合計	1,455

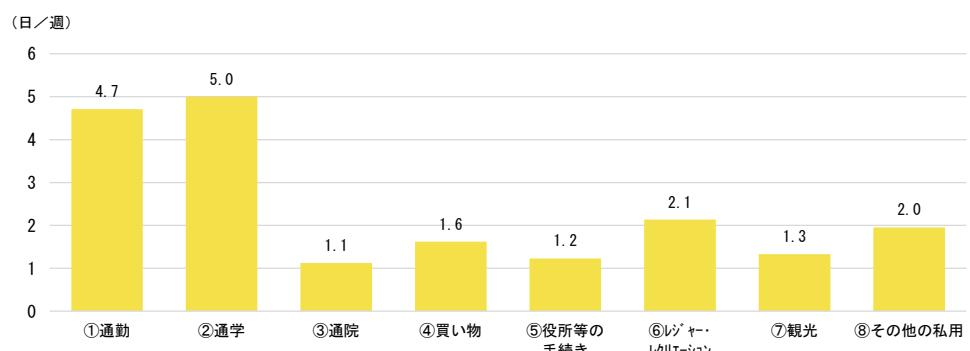
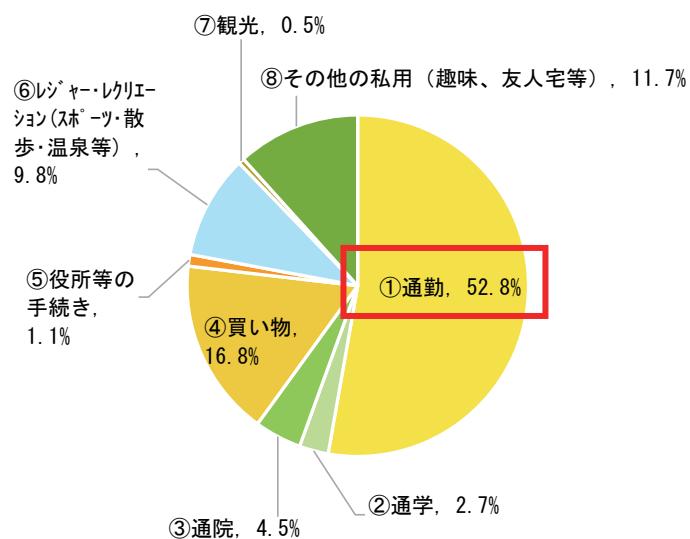
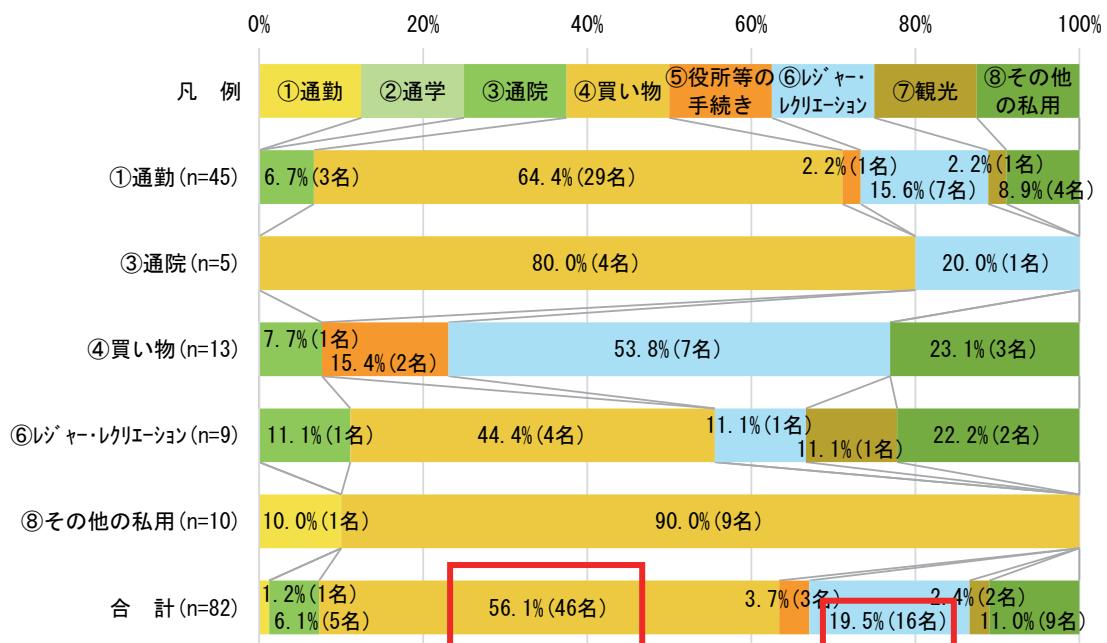


図 外出目的別の1週間の外出日数

⑯2つ目以降の外出目的 (Q16-1-1)

主要な外出目的と一緒に用事を足す2つ目以降の外出目的は、「④買い物」が6割弱と最も多く、次いで「⑥レジャー・レクリエーション」が2割となっています。

これを主要な外出目的別に見ると、「④買い物」は「その他私用」、「②通院」及び「①通勤」が多く、「⑥レジャー・レクリエーション」は「買い物」が多い状況となっています。



注) 「⑦観光目的」の回答はなし。

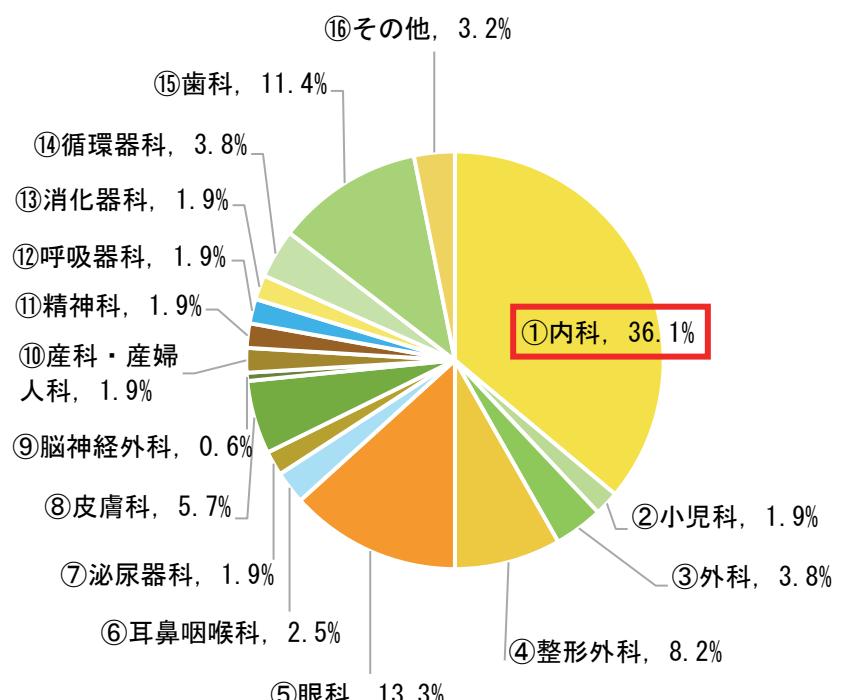
図 2つ目以降の外出目的

⑯診療科受診状況 (Q 16-1-2)

診療科は「①内科」が4割弱と最も多く、次いで「⑤眼科」と「⑯歯科」が1割強となっています。

図表 診療科受診状況

項目	件数
①内科	57
②小児科	3
③外科	6
④整形外科	13
⑤眼科	21
⑥耳鼻咽喉科	4
⑦泌尿器科	3
⑧皮膚科	9
⑨脳神経外科	1
⑩産科・産婦人科	3
⑪精神科	3
⑫呼吸器科	3
⑬消化器科	3
⑭循環器科	6
⑮歯科	18
⑯その他	5
合計	158



⑯買い物品目 (Q16-1-4)

買い物の品目は「⑤食料品」が5割弱と最も多い、次いで「④日用品」が3割弱、「①衣料品」が1割の順となっています。

品目別の買い物頻度は「食料品」が「②週に2回以上」、「日用品」は「③週に1回」と「④2週間に1回」が最も多くなっています。

図表 買い物品目

項目	件数
①衣料品（寝具・衣類等）	49
②身辺細貨（服飾品・靴等）	34
③文化品（家電・家具・書籍等）	37
④日用品（医療品・化粧品等）	130
⑤食料品（生鮮・一般等）	248
⑥贈答品	15
合計	513

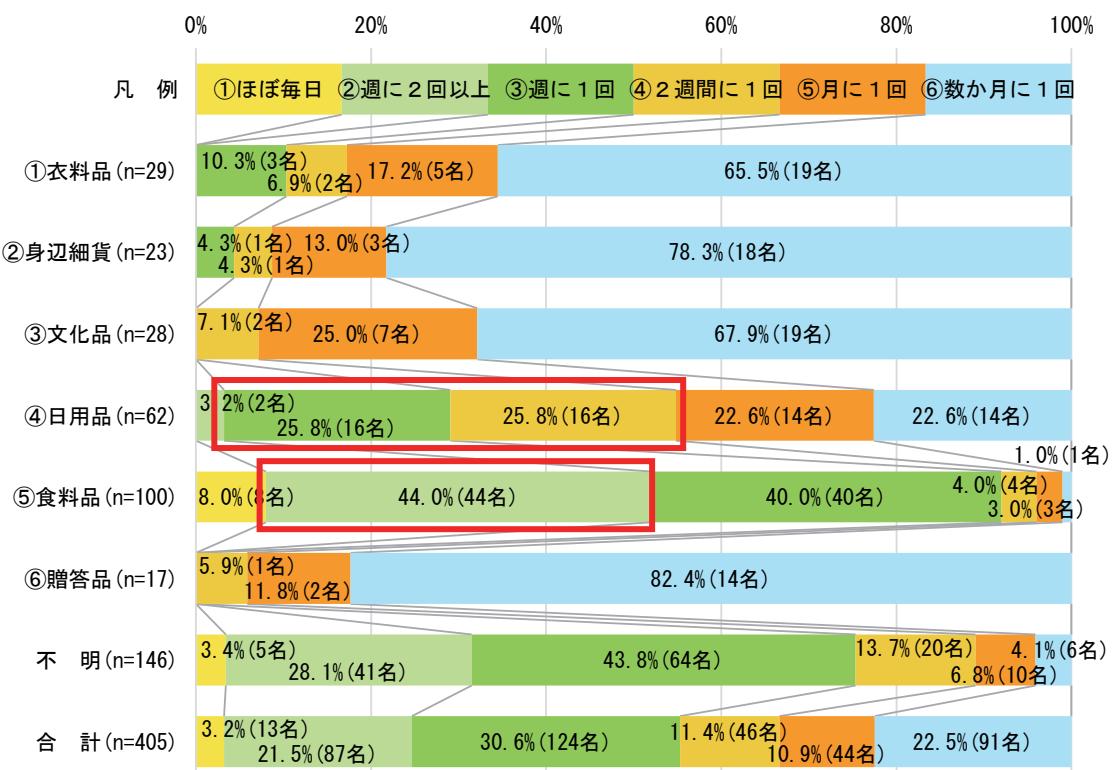
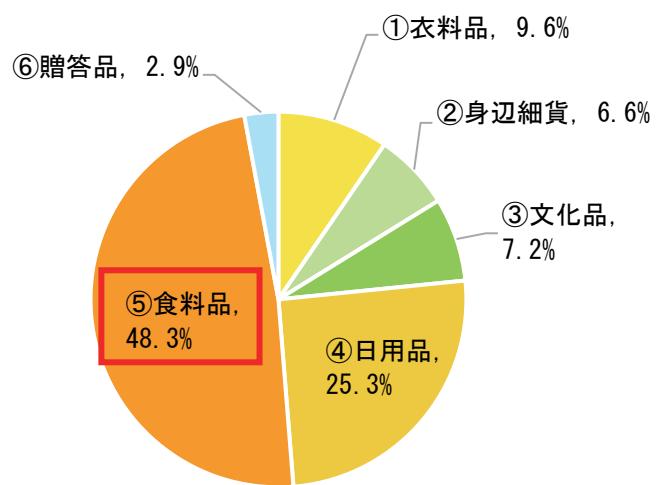


図 買い物頻度

⑯外出・帰宅時間帯 (Q 1 6 - 2)

ピーク時間帯は「朝」ピークが「8時台」、「夕」ピークは「18時台」となっています。

これを平日、休日別に見ると、「平日」は全体と同様ですが、休日は「朝」ピークが「9時台」、「夕」ピークは「15時台」となっています。

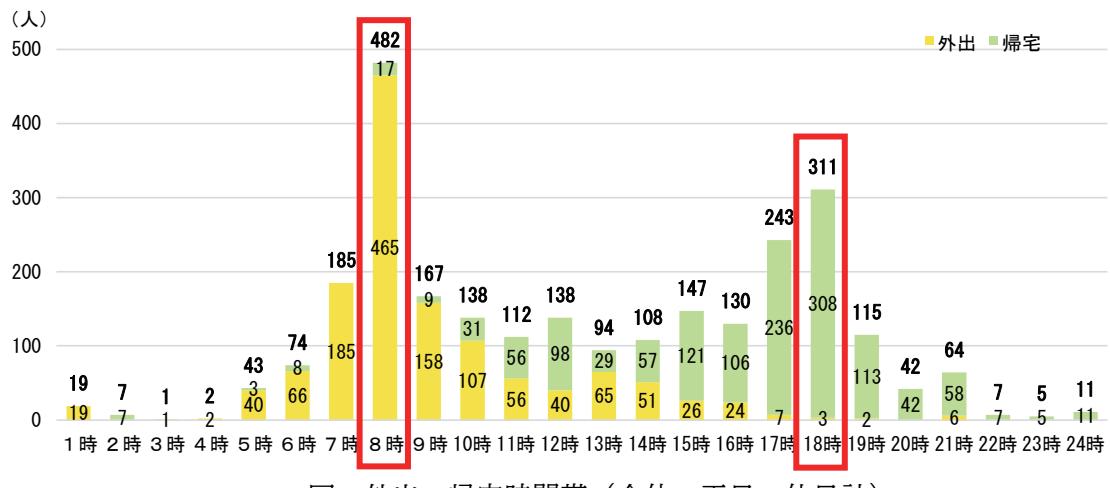


図 外出・帰宅時間帯 (全体：平日・休日計)

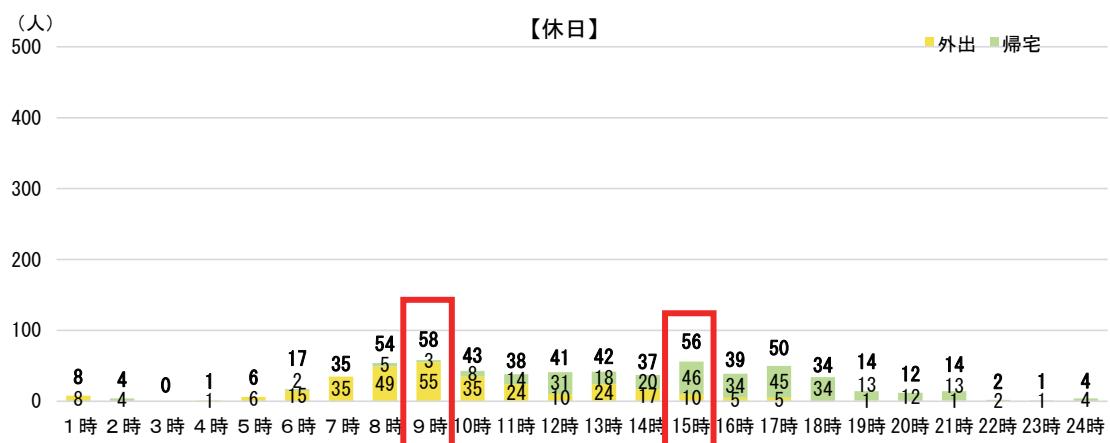
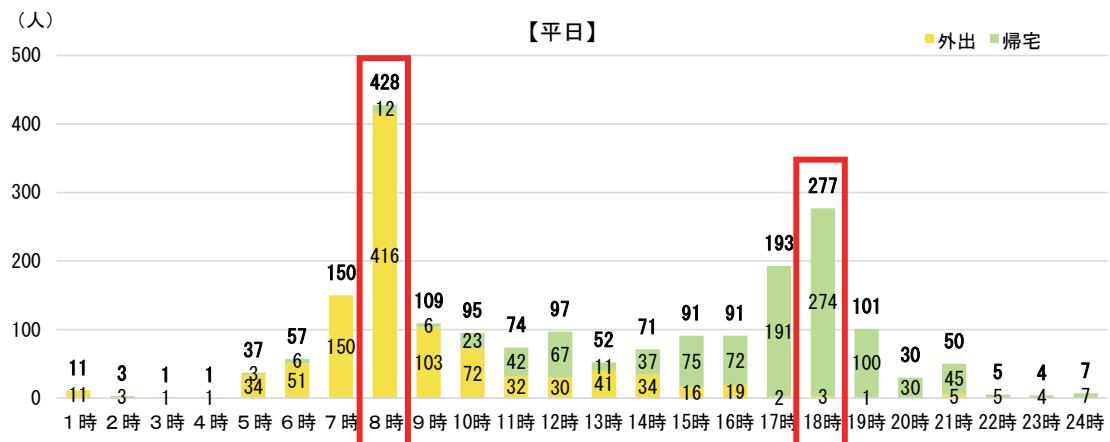


図 外出・帰宅時間帯 (平日・休日)

外出目的別にピーク時間帯を見ると、「朝」ピークは「①通勤」と「③通院」が「7 時台」ですが、「②通学」が「7 時台」、「④買い物」は「11 時台」となっています。

「夕」ピークは「①通勤」が「18 時台」、「②通学」が「19 時台」、「④買い物」は「15 時台」などと分散する傾向となっています。

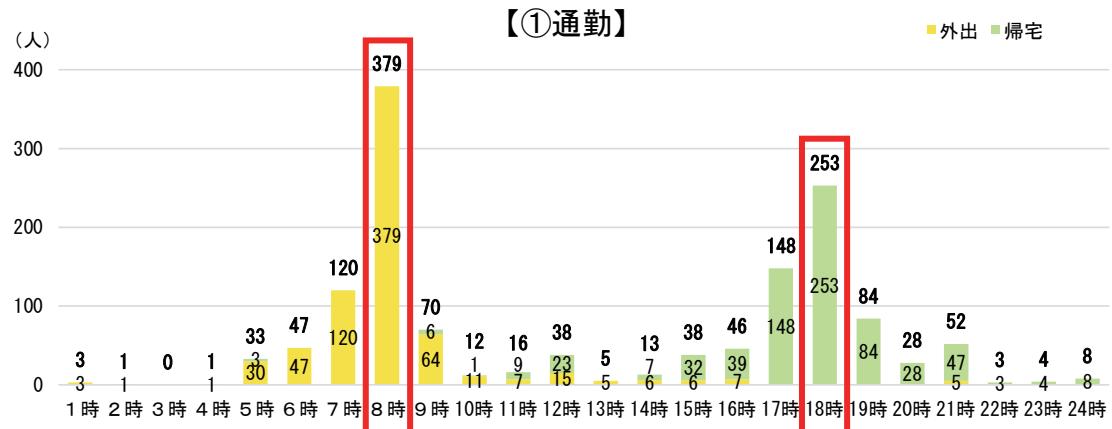


図 外出・帰宅時間帯（通勤）

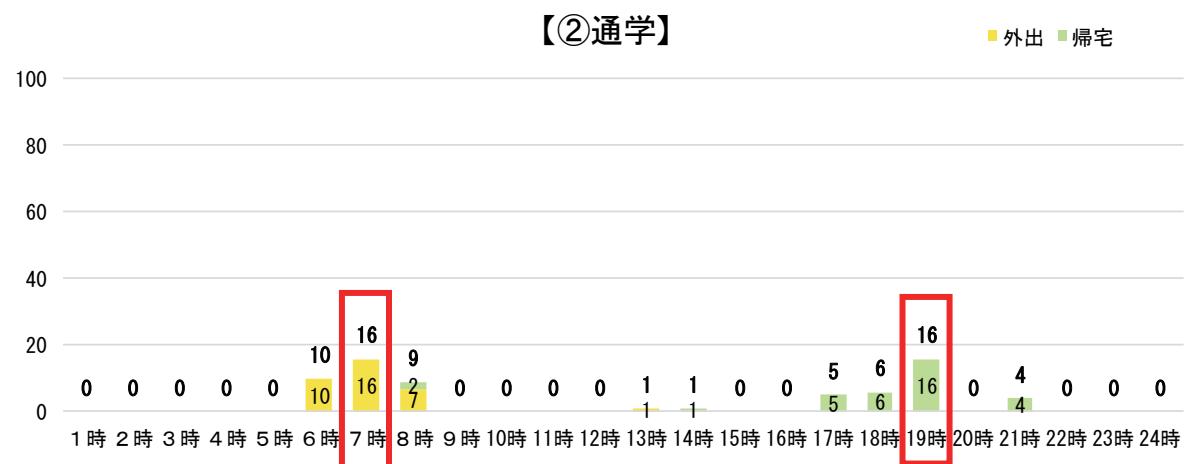


図 外出・帰宅時間帯（通学）



図 外出・帰宅時間帯（通院）

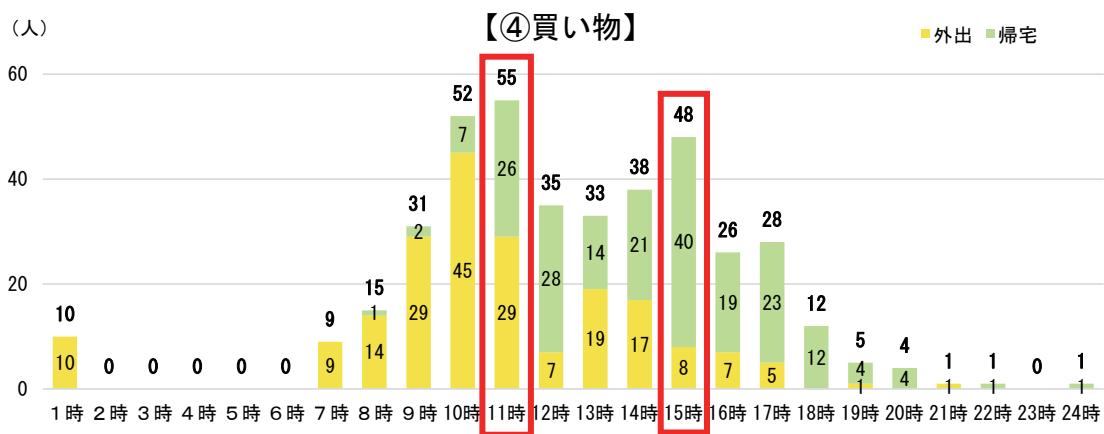


図 外出・帰宅時間帯（買い物）

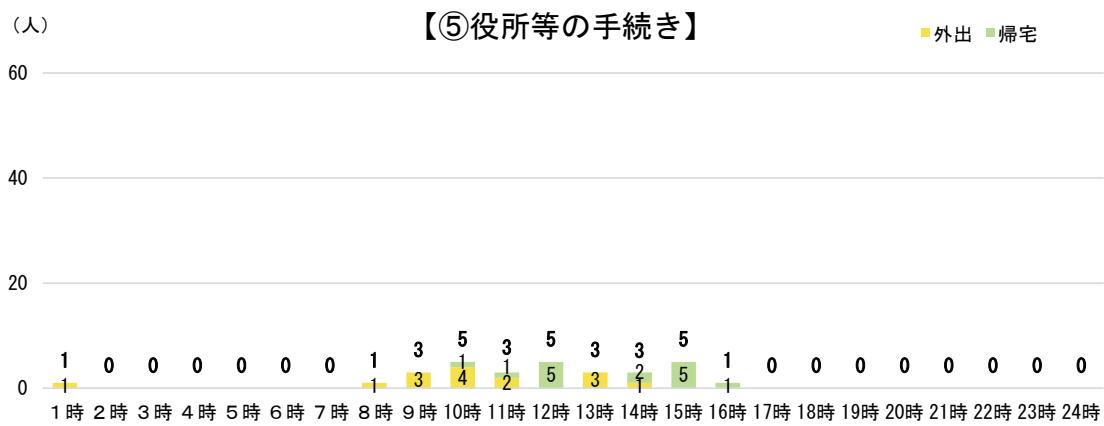


図 外出・帰宅時間帯（役所等の手続き）

(人)

【⑥レジャー・レクリエーション】

■外出 ■帰宅

60

40

20

0

1時 2時 3時 4時 5時 6時 7時 8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時 23時 24時



図 外出・帰宅時間帯（レジャー・レクリエーション）

(人)

【⑦観光】

■外出 ■帰宅

60

40

20

0

1時 2時 3時 4時 5時 6時 7時 8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時 23時 24時

図 外出・帰宅時間帯（観光）

(人)

【⑧その他の私用】

■外出 ■帰宅

60

40

20

0

1時 2時 3時 4時 5時 6時 7時 8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時 19時 20時 21時 22時 23時 24時

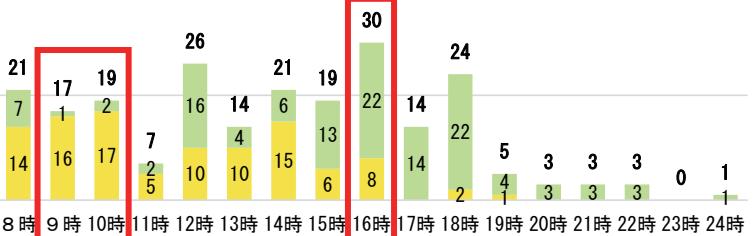


図 外出・帰宅時間帯（その他の私用）

⑯交通手段（Q 1 6 – 4）

交通手段は「②自家用車（自分で運転）」が 2,119 人と最も多く、次いで「③徒歩」が 648 人、「②自家用車（家族などの送迎）」が 362 人となっています。

公共交通では「①JR 宗谷本線」が 74 人と最も多く、次いで「⑤ハイヤー」が 15 人、「④路線バス」が 13 人となっています。

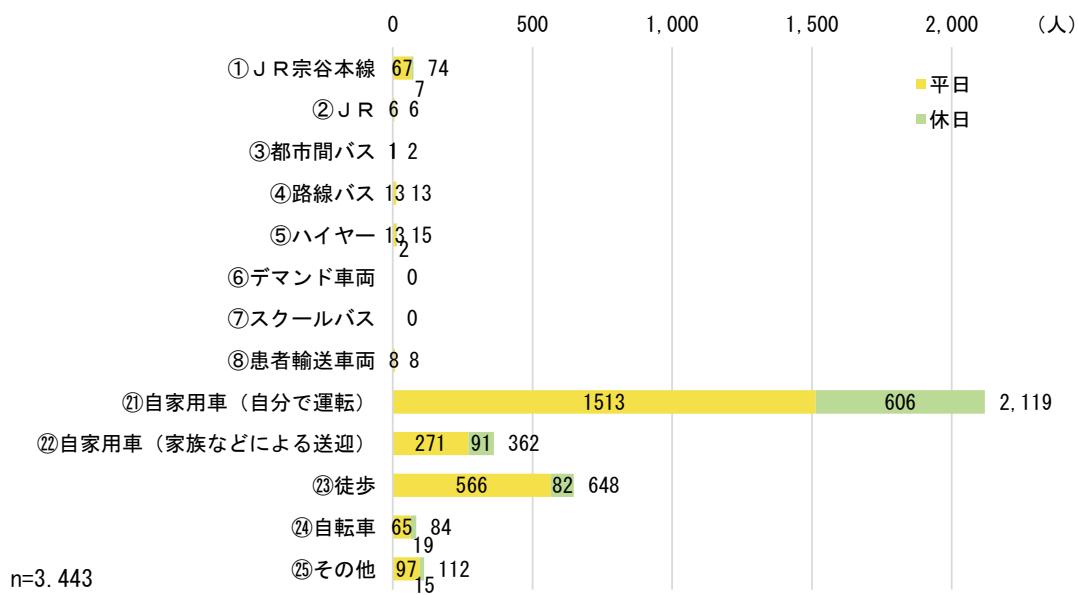


図 交通手段（平日・休日）

②行き先 (Q 1 6 – 5)

目的施設として【医療施設】は「A-1 幌延町国民健康保険診療所」が 56 人と最も多く、次いで「A-4 稚内市立稚内病院」が 27 人、「A-3 幌延町立歯科診療所」が 9 人の順となっています。

【高校大学】は「B-5 北海道稚内高等学校」が 15 人と最も多く、次いで「B-6 稚内大谷高等学校」が 12 人、「B-1 北海天塩高等学校」が 5 人の順となっています。

【商業施設】は「C-3 フードインタイムリーイトウ」が 159 人と最も多く、次いで「C-1 Qマート幌延店」が 137 人、「C-18 その他稚内市内のスーパー等」が 66 人の順となっています。

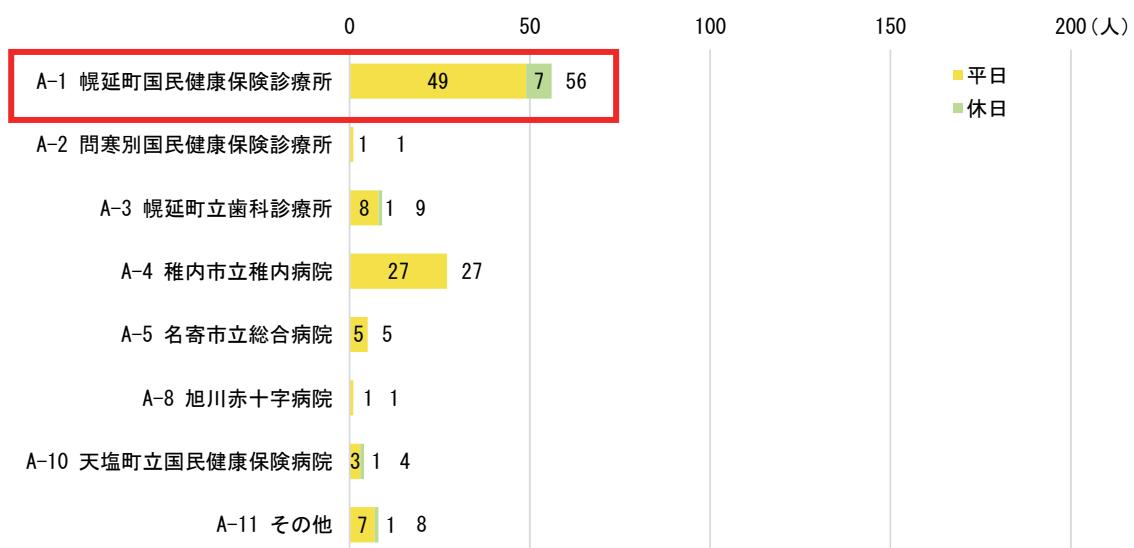


図 医療施設（平日・休日）

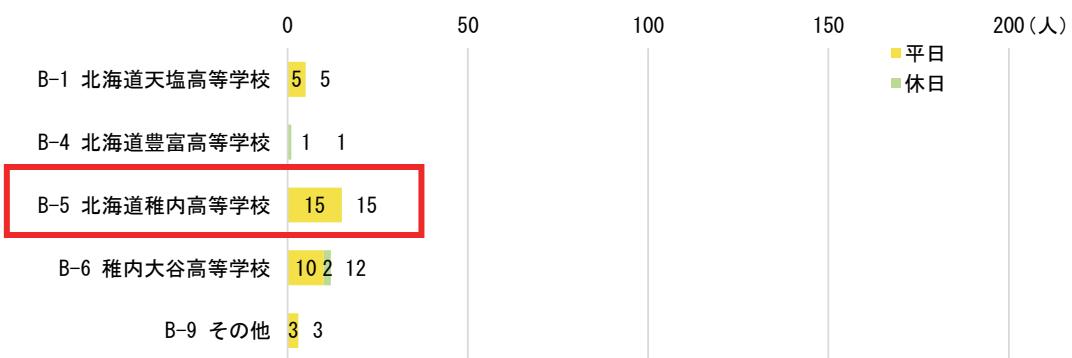


図 高校大学（平日・休日）

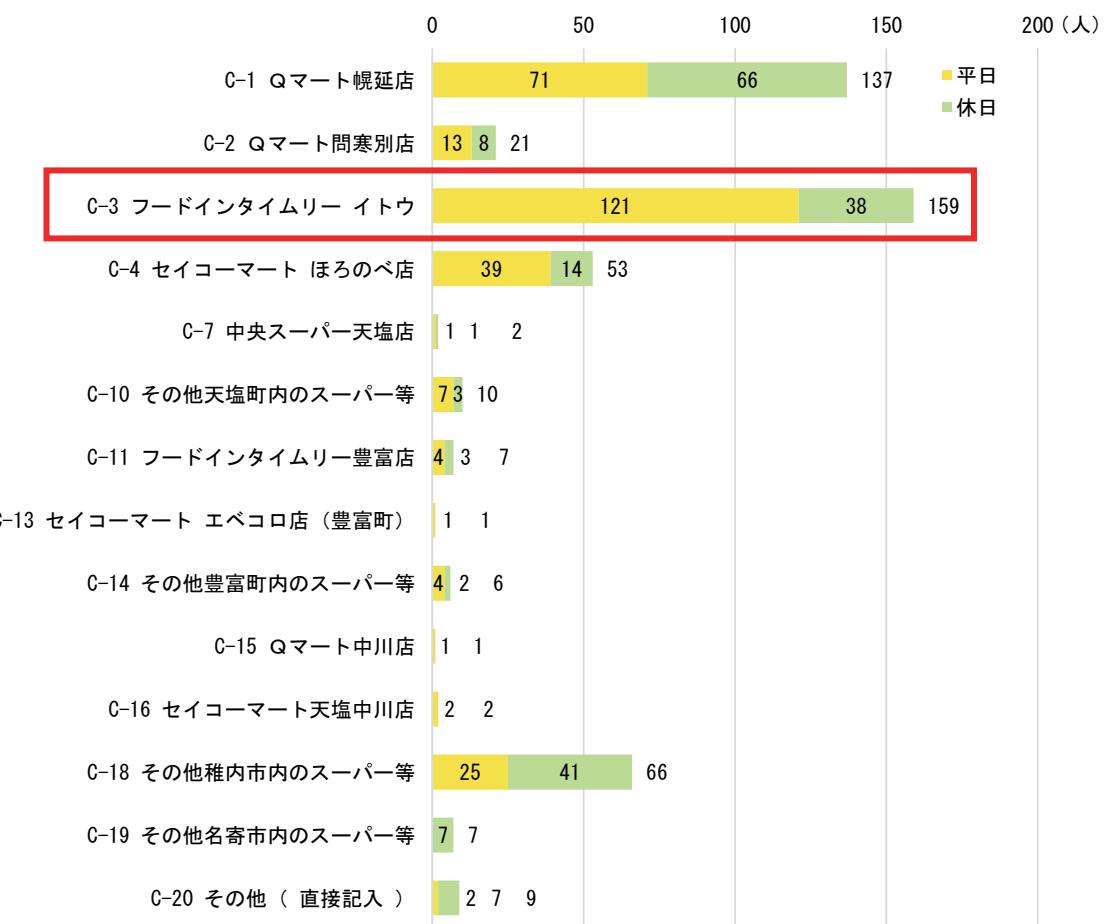


図 商業施設（平日・休日）

(3)今後の公共交通への要望

②望む公共交通機関の利便性について（問3 Q18）

望む公共交通機関の利便性については、「②自家用車と鉄道・バスの中間」が4割と最も多く、次いで「①タクシーと同程度」が3割となっています。

年齢別に見ると「19~74歳」で「②自家用車と鉄道・バスの中間」が4割程度と最も多いほか、「30~49歳」で「①タクシーと同程度」が4割となっています。

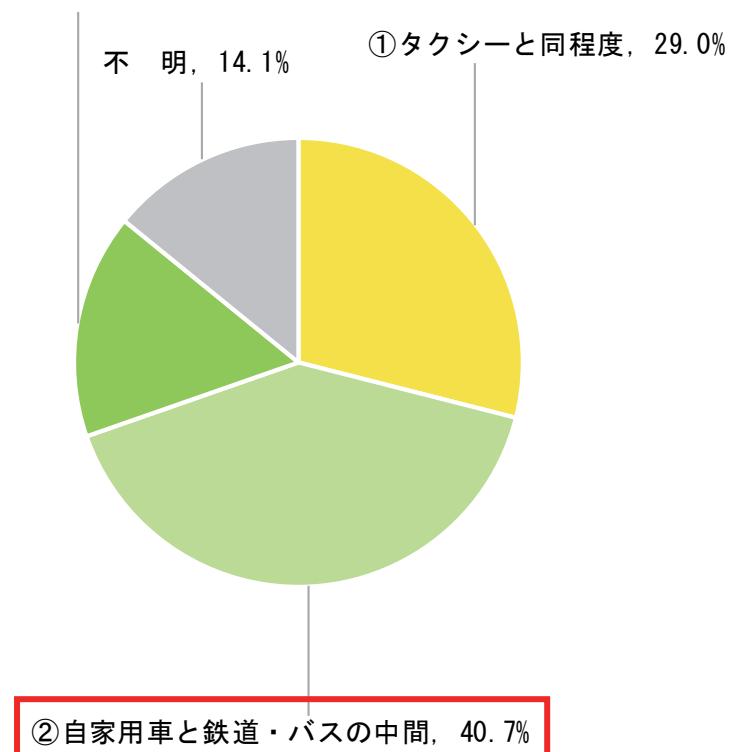
図表 望む公共交通機関の利便性

項目	件数
①自家用車の利便性と同じくらい、自由に行きたいところに行けるような公共交通	84
②自家用車の利便性よりは低下するものの、現在の鉄道や路線バスより利便性が高い公共交通	118
③現在の鉄道や路線バスと同じくらいの利便性で充分	47
不明	41
合計	290

○選択肢の内容

略称	選択の内容
①タクシーと同程度	自家用車の利便性と同じくらい、自由に行きたいところに行けるような公共交通
②自家用車と鉄道・バスの中間	自家用車の利便性よりは低下するものの、現在の鉄道や路線バスより利便性が高い公共交通
③公共交通と同程度	現在の鉄道や路線バスと同じくらいの利便性で充分

③公共交通と同程度, 16.2%



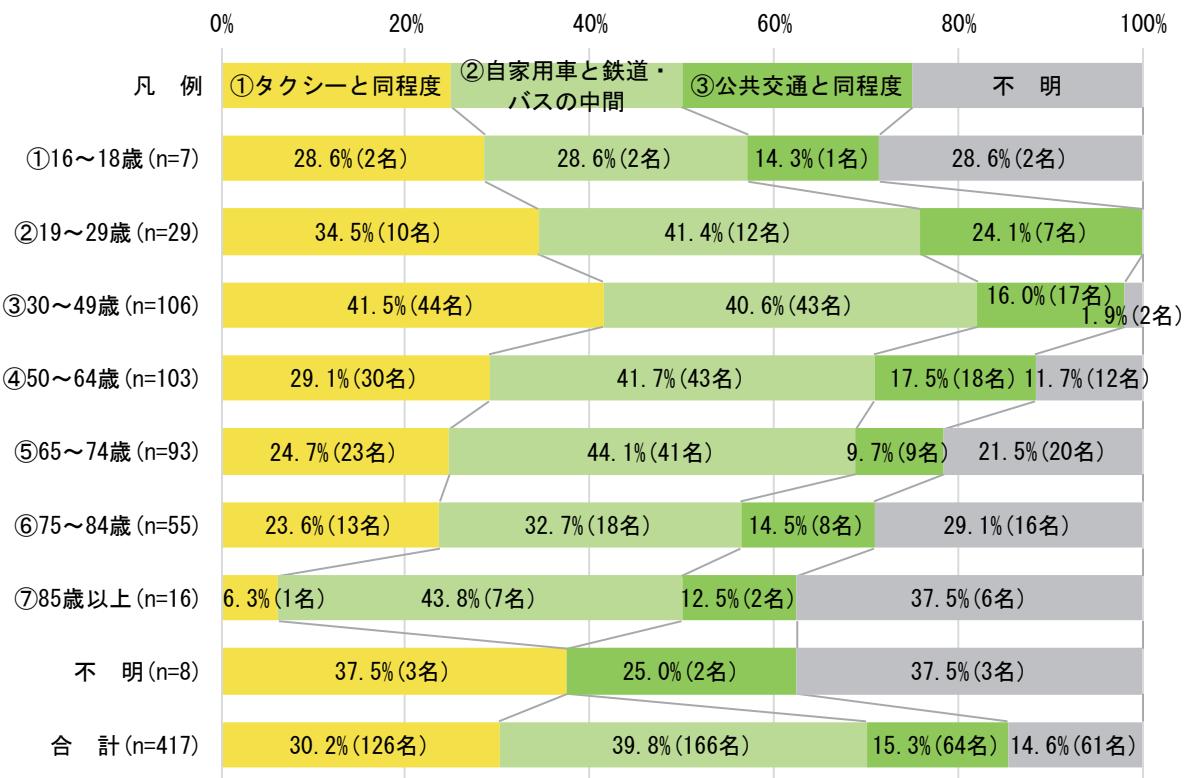


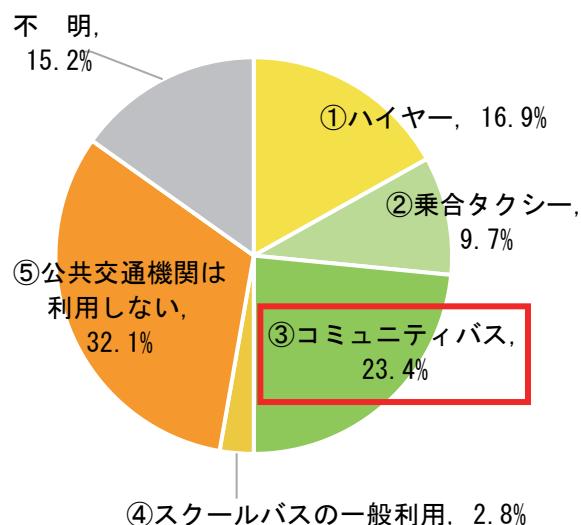
図 望む公共交通機関の利便性（年齢別）

㉙新たな公共交通について (Q 2 1 - 1)

どのような公共交通があれば利用するかでは、「③コミュニティバス」が2割強と最も多く、次いで「①ハイヤー」が2割弱、「②乗合タクシー」が1割の順となっています。

図表 どのような公共交通があれば利用するか

項目	件 数
①ハイヤー	49
②乗合タクシー	28
③コミュニティバス	68
④スクールバスの一般利用	8
⑤公共交通機関は利用しない	93
不 明	44
合 計	290



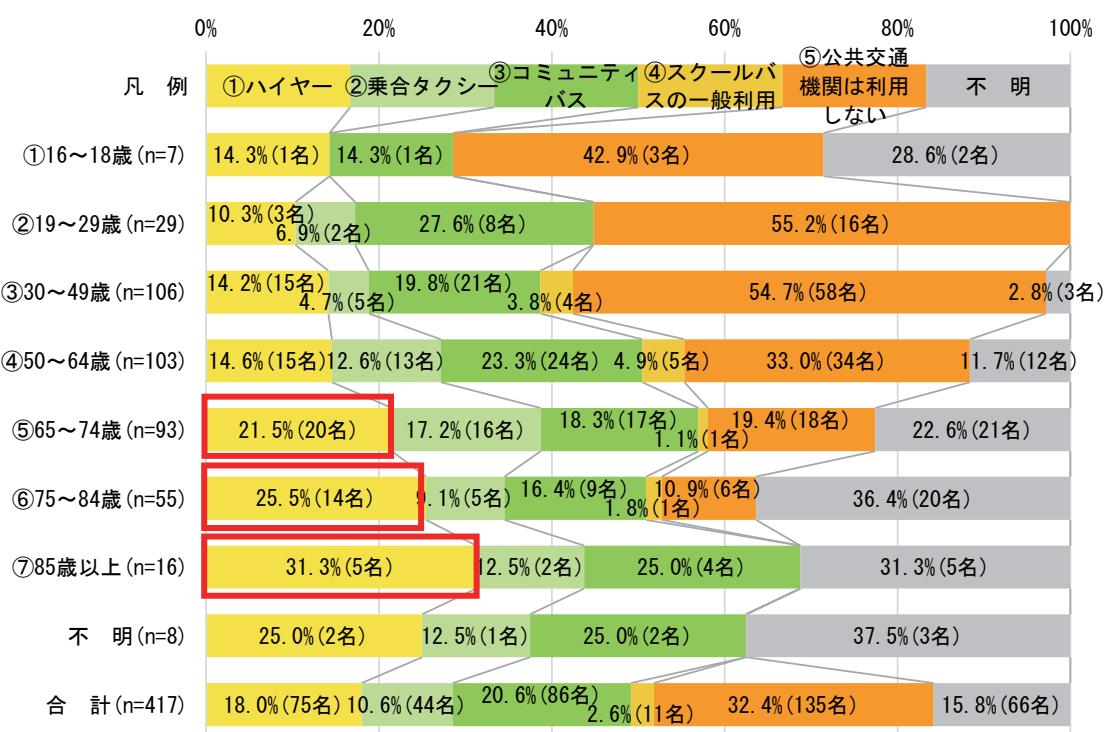


図 どのような公共交通があれば利用するか（年齢別）

②希望する公共交通の運行金額 (Q 2 1 - 2)

希望する公共交通について「①利用する」が半数程度の運賃は、乗合タクシーが「600 円程度」と最も高額で、「ハイヤー」「コミュニティバス」及び「スクールバスの一般利用」は「400 円程度」となっています。

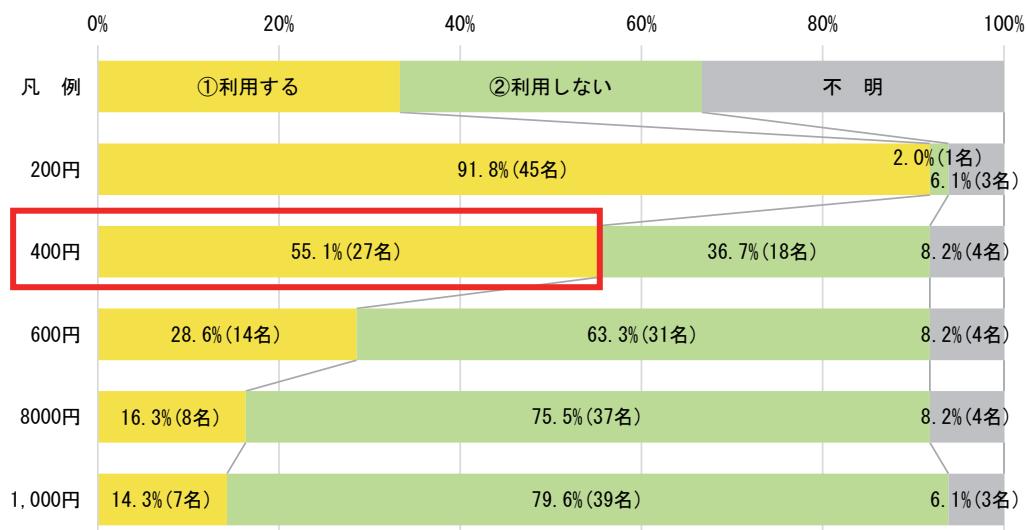


図 希望する公共交通の運行金額（ハイヤー）

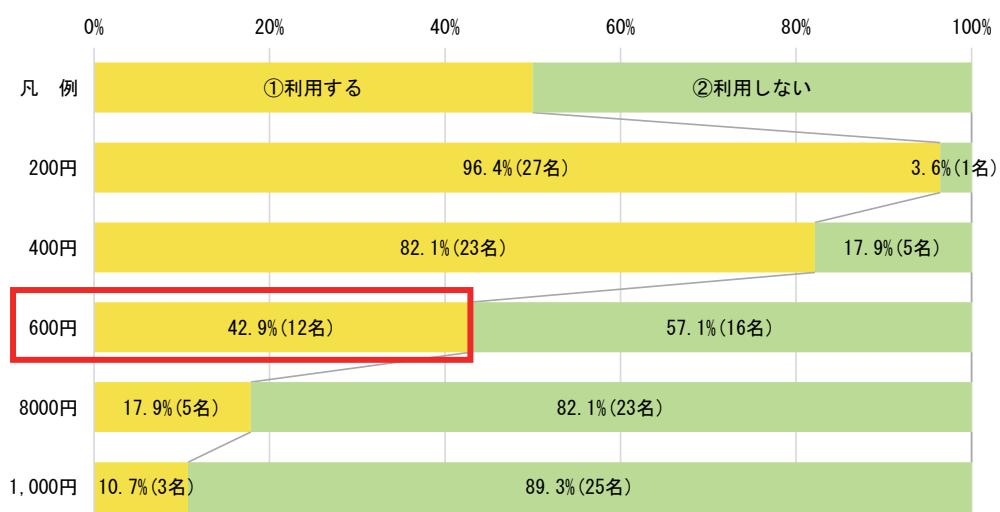


図 希望する公共交通の運行金額（乗合タクシー）

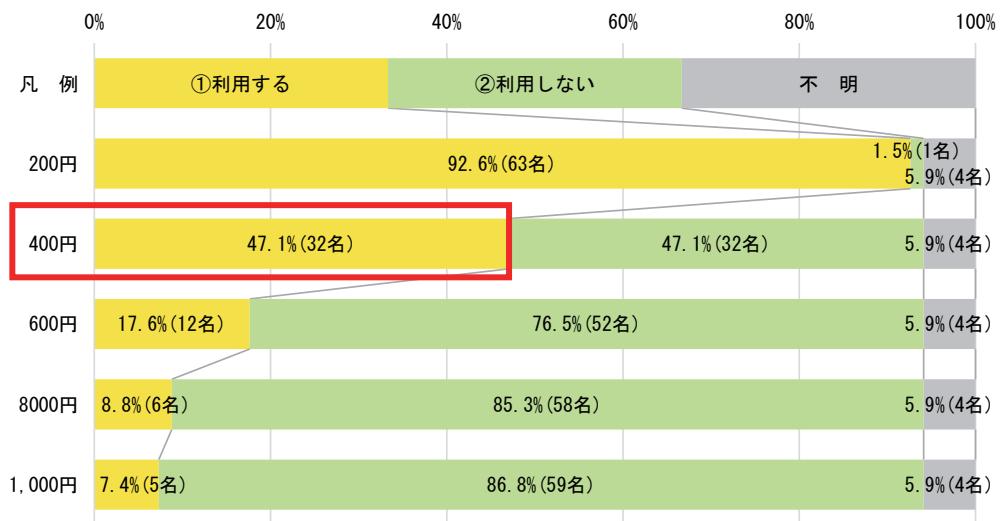


図 希望する公共交通の運行金額（コミュニティバス）

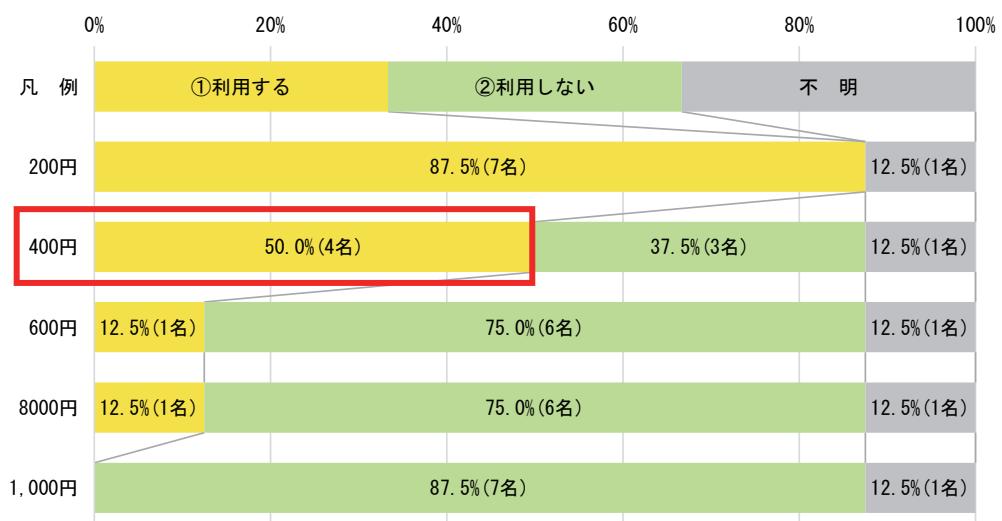


図 希望する公共交通の運行金額（スクールバスの一般利用）

㉓ハイヤー運賃助成制度のあり方 (Q 22-1)

ハイヤー運賃助成制度のあり方については「③妥当である」が4割弱と最も多く、次いで「①手厚い」が2割、「②やや手厚い」が1割強となっています。

これを年齢別に見ると、「④少し手厚く」と「⑤もっと手厚く」はどの年齢層においても回答数は少ない状況となっています。

図表 ハイヤー運賃助成制度
のあり方

項目	件 数
①手厚い	57
②やや手厚い	37
③妥当である	109
④少し手厚く	26
⑤もっと手厚く	18
不明	43
合 計	290

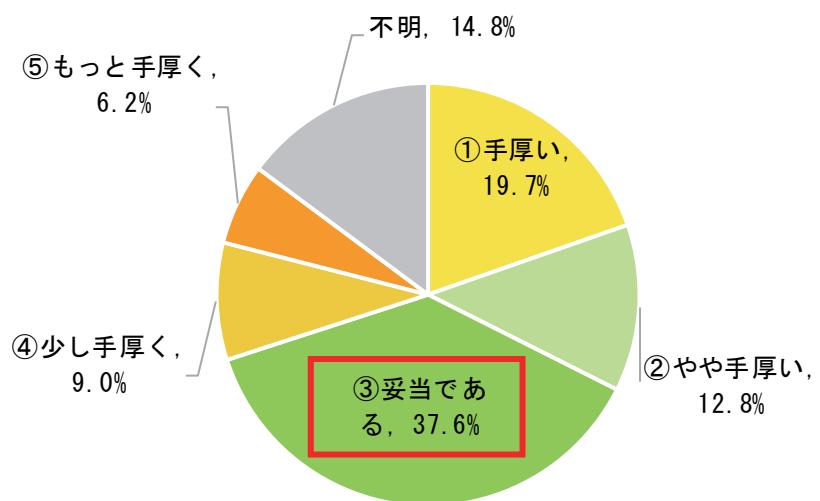


図 ハイヤー運賃助成制度のあり方 (年齢別)

②ハイヤー運賃助成制度利用状況 (Q 2 2 - 2)

ハイヤー運賃助成制度の利用状況は「③利用していない、5年以内にも利用しない」が6割弱と最も多く、次いで「②5年内に利用する」が1割強となっています。

年齢別に見ると、「①利用している」は「⑥75~84歳」は5割弱、「⑦85歳以上」が4割となっています。

「①利用している」に「②利用していないが、5年内に利用する」を加えると「⑦85歳以上」は8割強(81.3%)、「⑥75~84歳」では7割弱(67.3%)、「⑤65~74歳」では5割弱(47.3%)となっています。

図表 ハイイヤー運賃助成制度利用状況

項目	件数
①利用している	48
②利用していないが、5年内に利用する	56
③利用していない、5年内にも利用しない	230
不明	83
合計	417

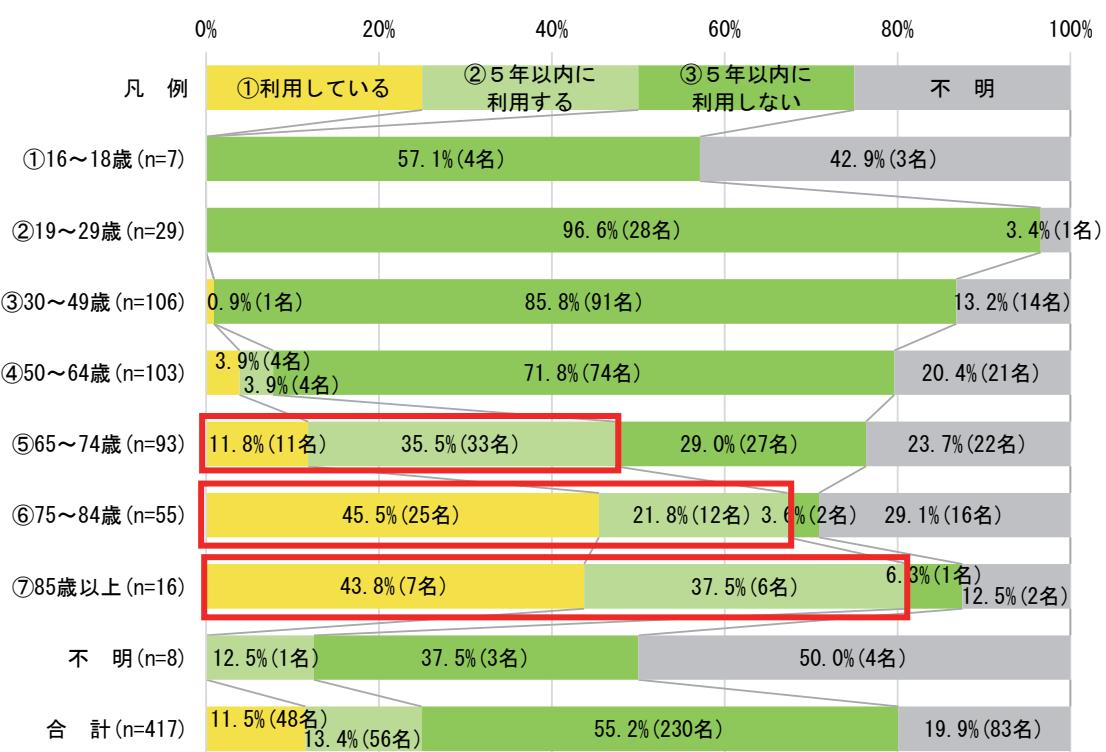
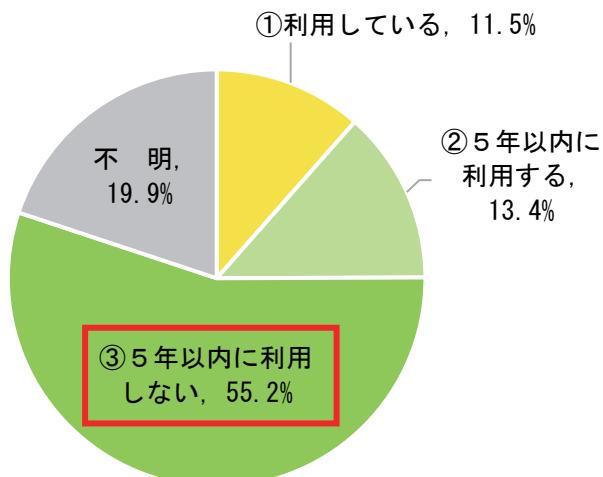


図 ハイイヤー運賃助成制度利用状況（年齢別）

㉙ハイヤー運賃助成チケットの充足状況

ハイヤー運賃助成チケットの充足状況は「①足りている」が6割、「②不足している」が4割となっています。

これを年齢別に見ると、「②不足している」は「50～64歳」が8割弱と最も多い、次いで「65～74歳」が5割となっています。

図表 ハイヤー運賃助成チケットの充足状況

項目	件数
①足りている	29
②不足している	17
不明	2
合 計	48

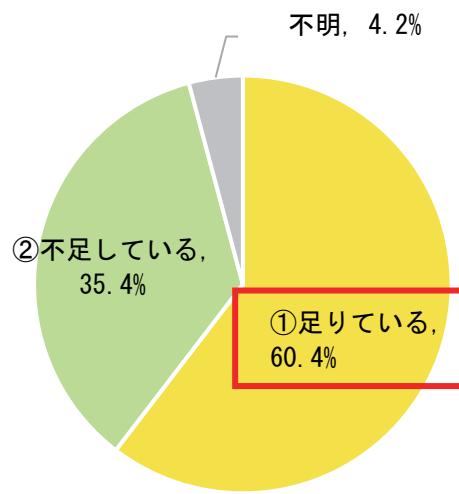


図 ハイヤー運賃助成チケットの充足状況（年齢別）

②今後の公共交通を維持するための方針（Q23）

今後の公共交通を維持するための方針については「①鉄道や路線バスの運行にかかる経費を税金等から補てんし、現在のサービスを維持する」及び「⑤利用者がない運行がないように、乗車予約による運行を行う」は7割弱（それぞれ67.6%、68.7%）が理解できると回答しています。

一方、「④運行回数を減らして運行経費を抑える」及び「③利用料金の値上げを行い、現在のサービスを維持する」は5割が理解できないと回答しています。

対象を運転免許非保有者に限定すると「①鉄道や路線バスの運行にかかる経費を税金等から補てんし、現在のサービスを維持する」は6割（59.4%）が理解できると回答しています。

「④運行回数を減らして運行経費を抑える」は5割弱（46.9%）が、「②鉄道や路線バスに補てんするぐらいなら、独自で輸送方法を考えるべき」及び「③利用料金の値上げを行い、現在のサービスを維持する」は4割強（いずれも42.2%）が理解できないと回答しています。

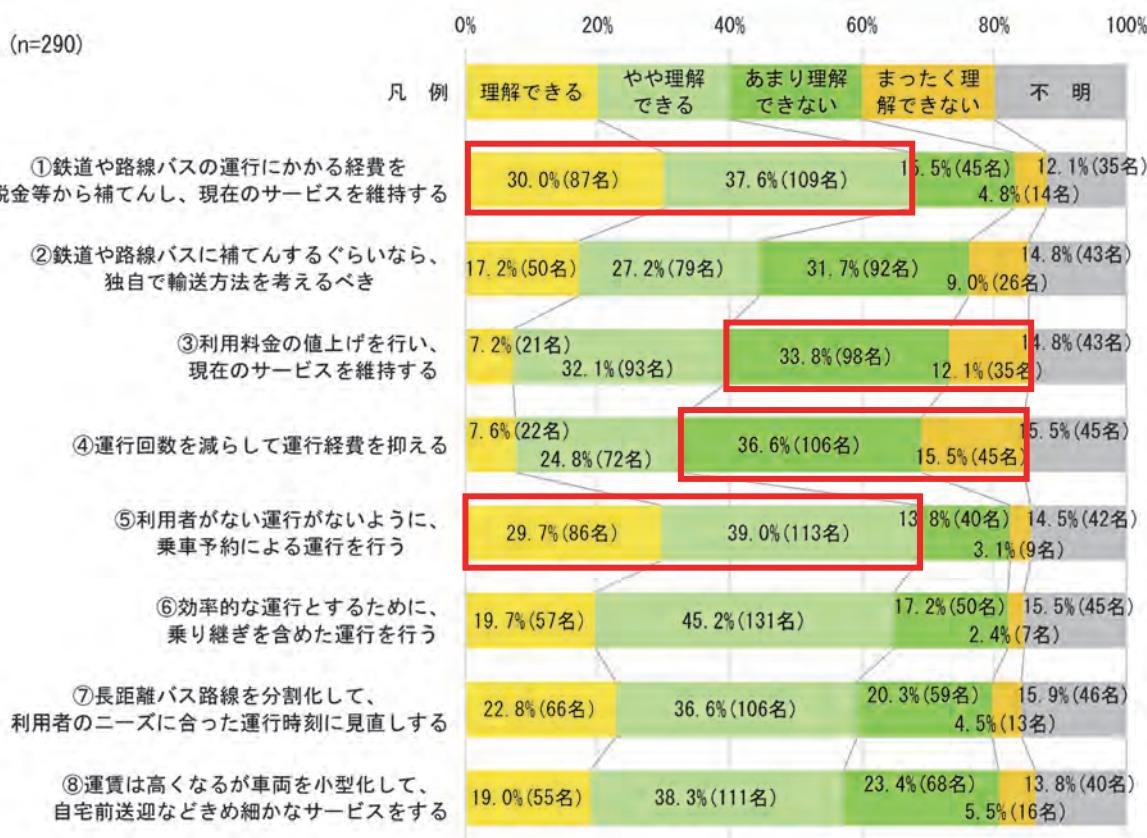


図 今後の公共交通を維持するための方針

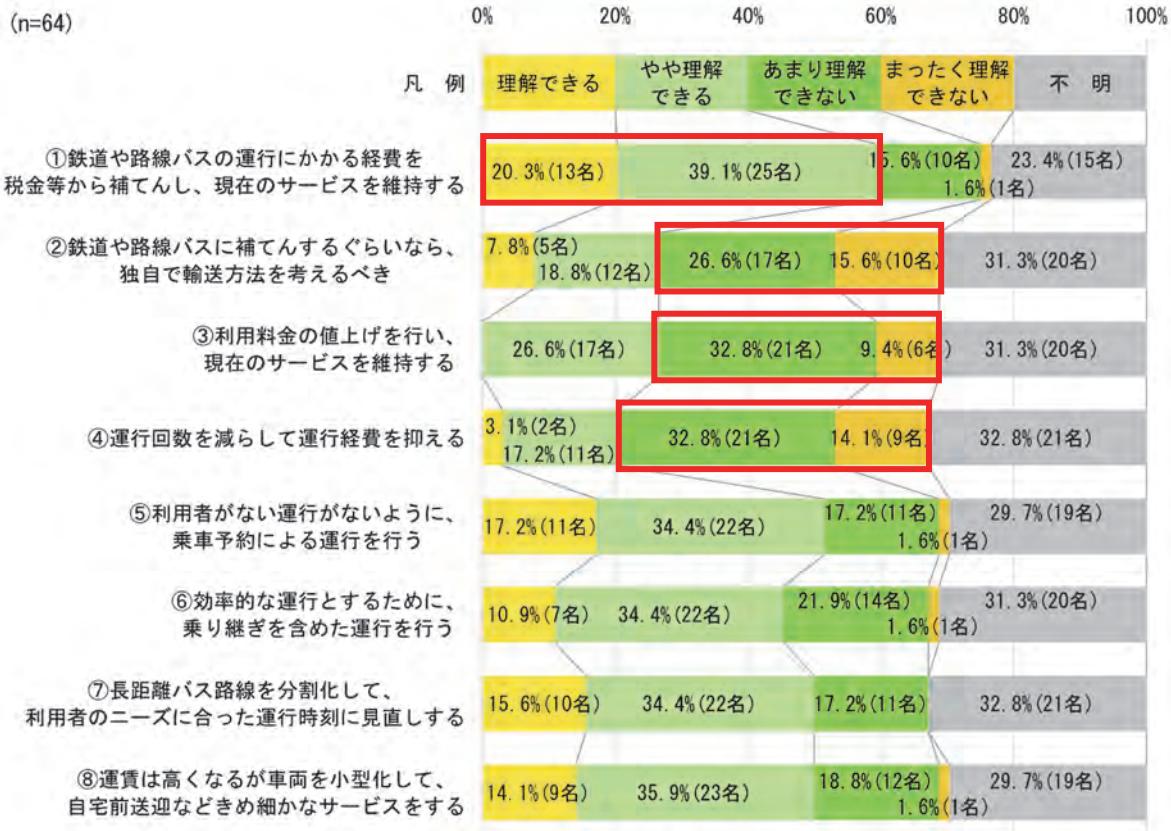


図 今後の公共交通を維持するための方針（運転免許非保有者）

⑦公共交通にあると便利なサービス等 (Q 24)

公共交通にあると便利なサービス等は「①重たい荷物を車両から自宅まで運んでくれるサービス」が124人で最も多く、次いで「⑦公共交通の運行時刻や接続時刻がわかるパンフレットを配布する」が89人でした。

65歳以上では「①重たい荷物を車両から自宅まで運んでくれるサービス」が69人で最も多く、次いで「③買い物の代行サービス」が52人でした。

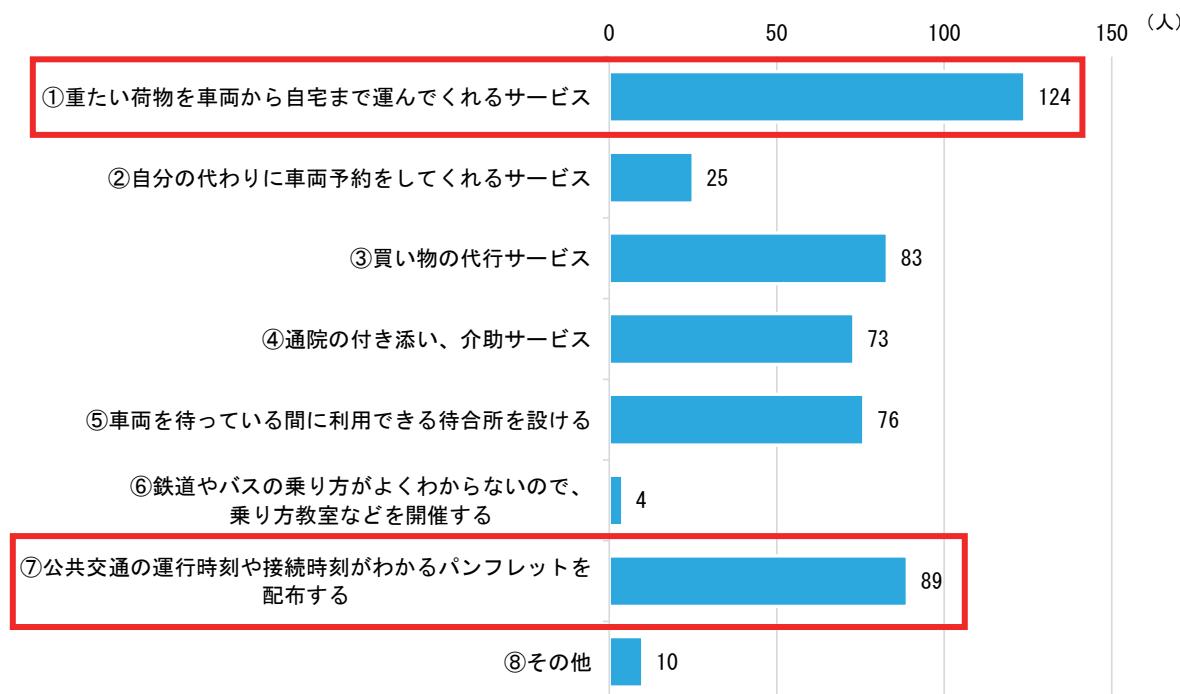


図 公共交通にあると便利なサービス等

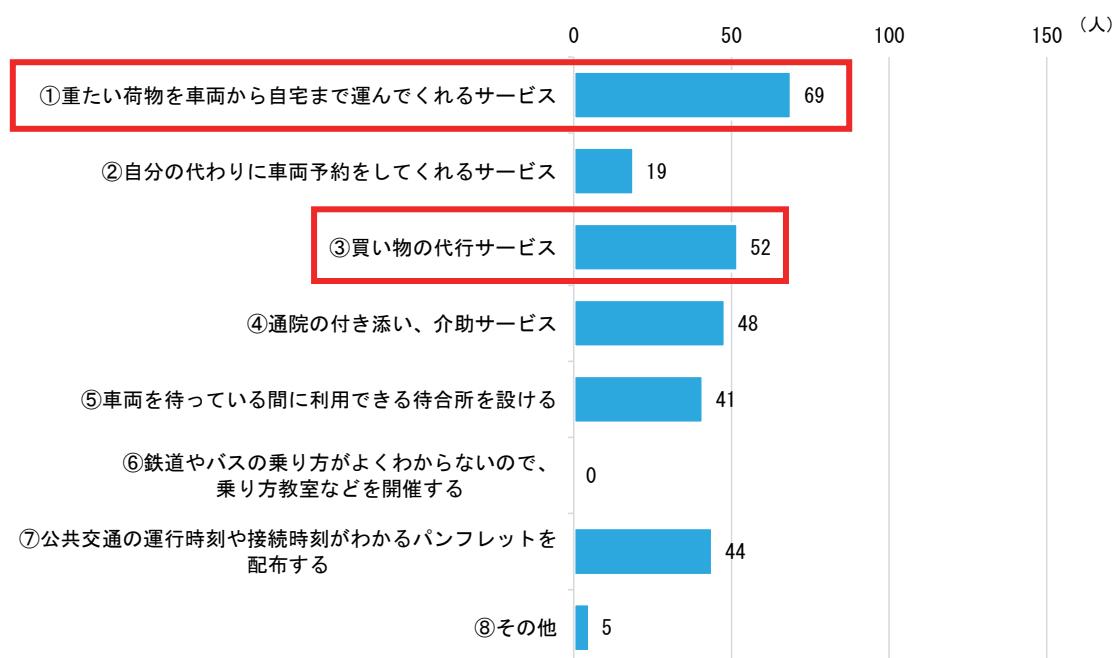


図 公共交通にあると便利なサービス等 (65歳以上)

㉙町民自らが支える公共交通（Q25）

地域の方を送迎する運転業務について、ドライバーとして参加・協力したいと思うかについては、「①参加・協力は難しい」が最も多く7割弱、次いで「③賃金をもらえるのであれば参加可能」は1割強、「②ボランティアとして参加可能」は1割の順となっています。

年齢別に見ると、「②ボランティアとして参加可能」と「③賃金をもらえるのであれば参加可能」を回答した方は「19～64歳」で2割強から3割弱となっています。

1週間のうち「フルタイム」で参加（従業）可能な日数は「1日」が最も多く5割弱、次いで「3日」が4割弱となっています。

1日のうち参加（従業）可能な時間は「2時間」が3割弱と最も多い、次いで「3時間」と「1時間」が2割強となっています。

図表 運転業務参加意向

項目	件数
①参加・協力は難しい	208
②ボランティアとして参加可能	31
③賃金をもらえるのであれば参加可能	39
不明	35
合計	313

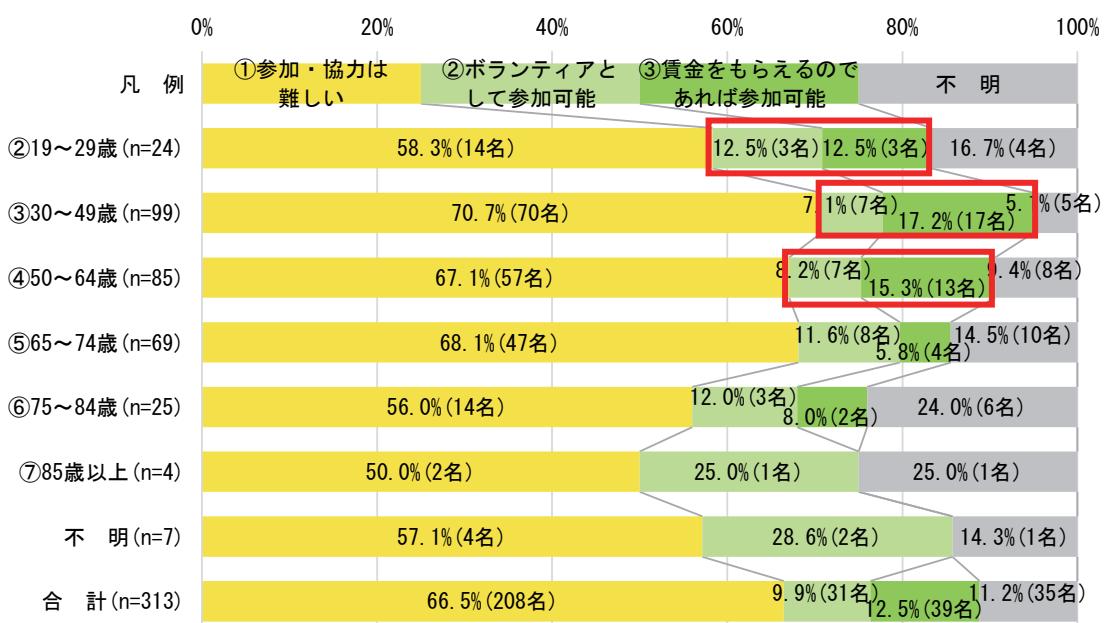
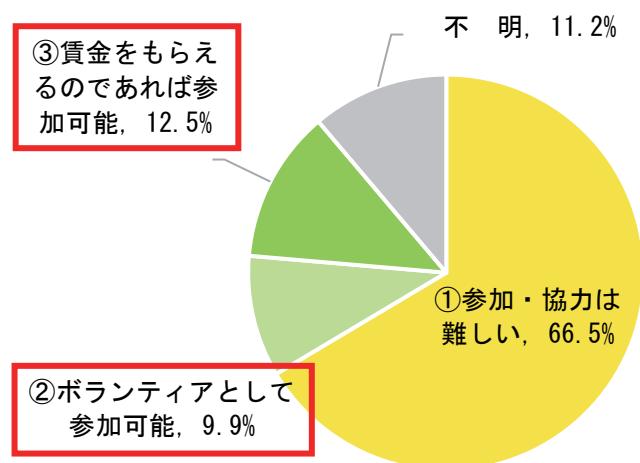
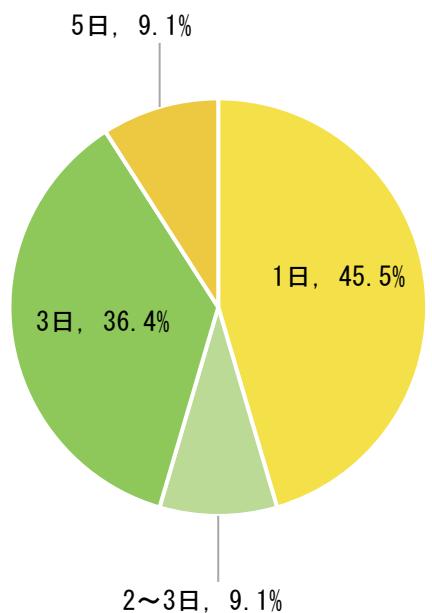


図 運転業務参加意向（年齢別）

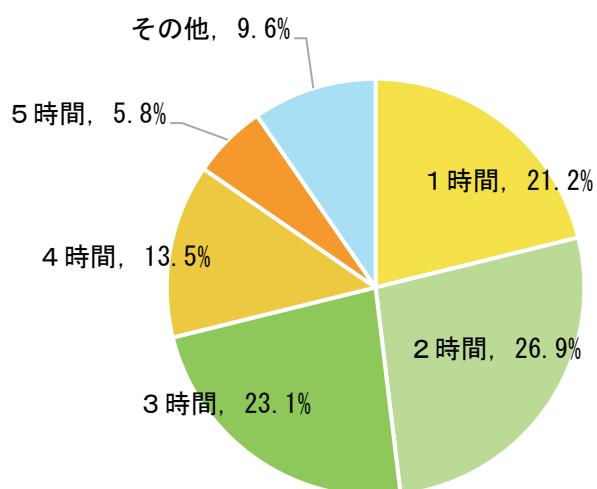
図表 1 週間で参加（就業）可能な日数

項目	件 数
1 日	5
2~3 日	1
3 日	4
5 日	1
合 計	11



図表 1 日で参加（就業）可能な時間

項目	件 数
1 時間	11
2 時間	14
3 時間	12
4 時間	7
5 時間	3
その他	5
合 計	52



(4)自由記載

㉙その他、公共交通についてご意見等（問4）

町外への通院手段を確保(4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・通院乗合タクシー。 ・近隣市町村と連携した町外病院への乗合タクシー。 ・通院の付き添いサービス。 ・稚内等への車を用意してほしい。金額は1回往復 1,000 円程度、週2回程度の予約運行。
旭川・稚内・名寄などへの交通アクセス向上(10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・(乗り換えなしで) 旭川まで行くバスが欲しい。 ・近隣市町村と連携した稚内行きの共同運行車両が欲しい。 ・稚内に行くのにJRの運賃が高い。結果、自家用車を使うことが多くなる。 ・稚内・旭川間の高速バス化(幌延町内・役場などに停留所を設置)。 ・稚内行き列車、札幌行き高速バスの運行時間帯の見直し(待ち時間が長い)。 ・町内移動は知人に自家用車を出してもらえるが、長距離だと頼みにくい。長距離移動手段の拡充をしてほしい。 ・稚内・名寄へのアクセスはJRのみで本数も少なく使い勝手が悪い。 ・理想はJR駅だが、都市間高速バスと町内公共交通を結んでほしい。 ・12時から19時の時間帯に普通列車か、それに代わる交通手段がほしい。 ・稚内・札幌間高速バスの幌延町内の停留所を増やしアクセスを向上してほしい。
交通機関のサービス向上(8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバスの導入。 ・JR・バスともに高齢者・障がい者は段差があり一人で利用することができない。使いやすい車両の導入をしてほしい。 ・ハイヤー助成制度の利用回数を増やしてほしい。 ・観光客など町外訪問者も利用可能なデマンドバスの運行をしてほしい。 ・幌延市街地循環バスを運行させ、各集落と幌延市街を走らせてほしい。 ・自動運転バス等の導入。 ・広域自治体の協力で電気自動車・自動運転車両の導入。 ・幌延・豊富のバス移動は一度途中で下車するルートのため料金が高くなる。豊富温泉へのアクセスを見直してほしい。
制度の運用について(2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民のニーズを反映した柔軟性のあるサービスを望む。 ・制度上は難しいばかりでは生き残れないと思う。柔軟さが必要だと思う。
その他(8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・幌延町内のJR駅を1つにまとめ、長距離移動が可能なハイヤーや町内バスに資金を使ってほしい。 ・現状の公共交通では通勤に利用できない。 ・IP電話機能を充実させ、買物依頼機能と配達サービスの提供をしてほしい。 ・JR宗谷本線の廃止(雪、野生動物で頻繁に運休になるため)。 ・JRの冬期間に頻発する運休に困っている。 ・幌延町を含めた近隣3町で協力し、複合施設(買い物、飲食、レクリエーション等)を作ってほしい。その複合施設との交通手段を整えてほしい。 ・アンケートに回答しながら難しい問題だと感じた。 ・問寒別駅がずっと維持されてほしい。

3-3. 鉄道利用乗降調査

(1) カウント調査結果

① JR 帽延駅の乗降客数

JR 帽延駅の乗降客数について、平日（7月24日（月））と休日（7月22日（土））の調査に加え、別途実施した調査を含めると、次のとおりとなります。

【上り】旭川・札幌方面

平日は、特急列車で5人、普通列車で1、2人の乗降客数がありましたが、「18:39」以降の調査は大雨の影響を受けて運休となりました。別途実施した調査結果から、4、5人の乗降客が見込まれます。

休日は、特急列車、普通列車とも0人から4人の乗降客がありました。

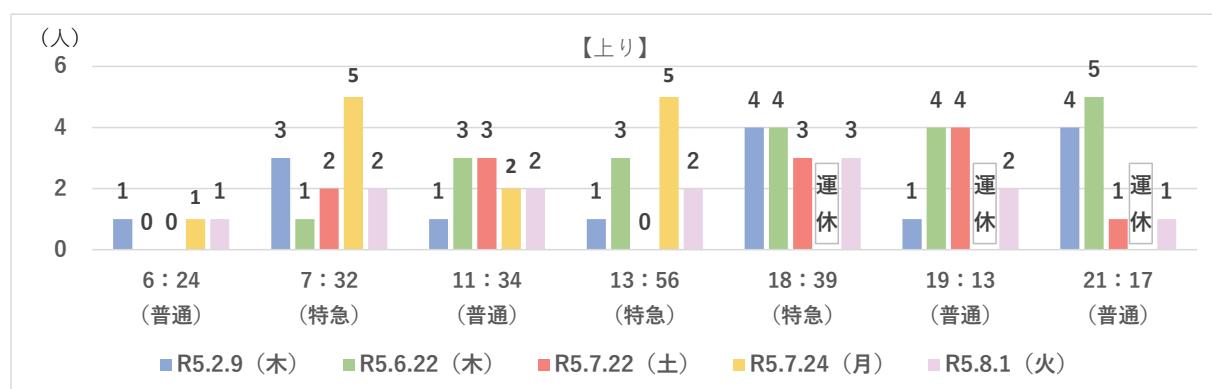


図 JR 帽延駅乗降客数（上り）

【下り】稚内方面

平日は、始発便において通勤、通学利用による11人のほか、0人から6人の乗降客でしたが、「18:40」以降の調査は大雨の影響を受けて運休となりました。別途実施した調査結果からは1、2人となっていますが、始発便を利用した11人の乗降客が見込まれます。

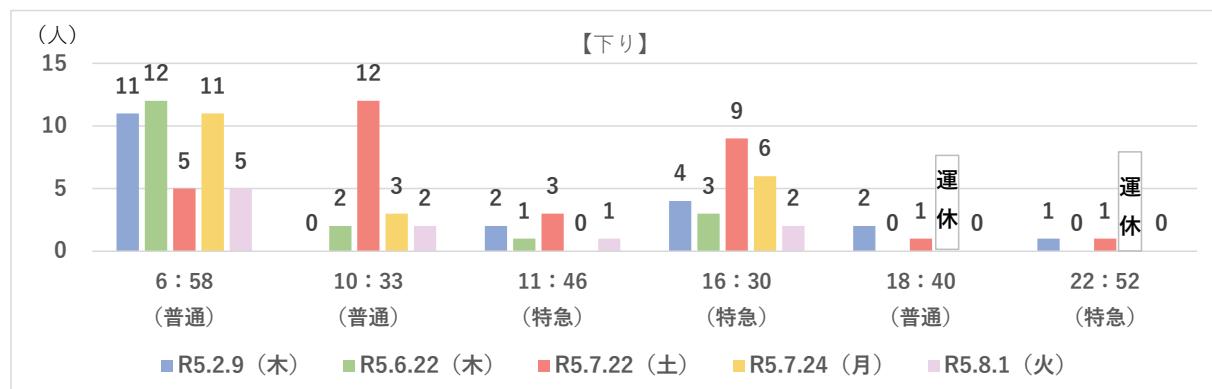


図 JR 帽延駅乗降客数（下り）

②JR 駅間の移動状況

【平日】令和5年7月24日（月）*

JR 幌延駅については、稚内方面への移動が13人と最も多く、続いて旭川・札幌方面への移動が8人、旭川・札幌方面からの移動が7人及び稚内方面からの移動が5人となっています。

その他、JR 雄信内駅と JR 糠南駅において旭川・札幌方面との行き来がそれぞれ2人ずつとなっており、町内で行き来は見られません。

*大雨の影響により夕方の便から運休

【休日】令和5年7月22日（土）

JR 幌延駅については、旭川・札幌方面からの移動が19人と最も多く、続いて稚内方面への移動が11人、旭川・札幌方面への移動が7人及び稚内方面からの移動が6人となっています。

その他、JR 雄信内駅からJR 幌延駅への町内の移動と稚内方面からの移動が1人となっています。

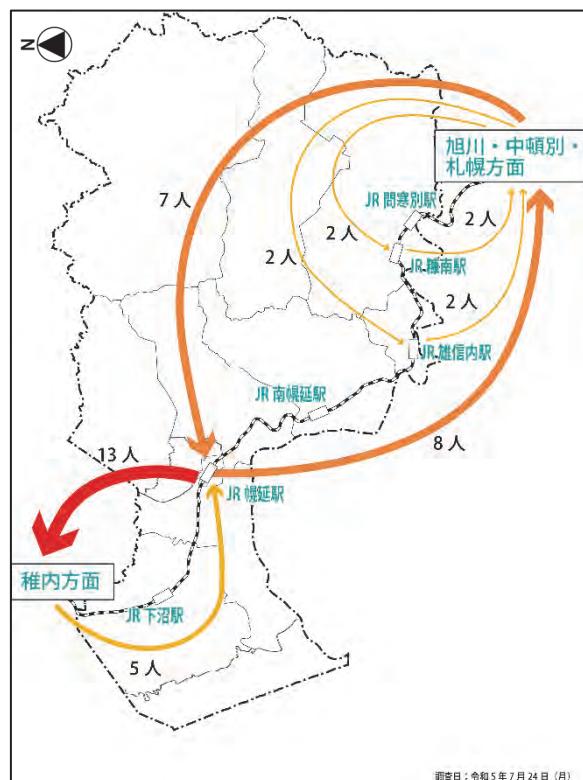


図 JR 駅間の移動状況（平日）



図 JR 駅間の移動状況（休日）

(2)ヒアリング調査結果

幌延町内の JR 駅で乗降する方を対象に、平日、休日の各 1 日ずつヒアリング調査を行いました。

調査結果は以下となります。

①お住まい

平日、休日とも町外に居住している方は 5 割強で、町内の 5 割弱を上回っています。

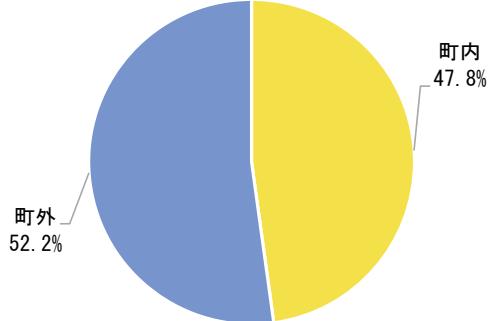
平日の町内内訳は、⑯宮園町と⑰栄町が 3 割弱と最も多くなっています。また、町外内訳は⑭道外が 6 割弱と最も多く、その内訳は東京都、神奈川県及び大阪府とともに 2 名が回答しています。

休日の町内内訳は、⑯宮園町が 5 割弱と最も多く、続いて⑫幌延（市街地）が 3 割弱となっています。町外内訳は札幌市、その他道内及び道外がともに 3 割強となっています。

<平日>

図表 居住地（町内・町外）

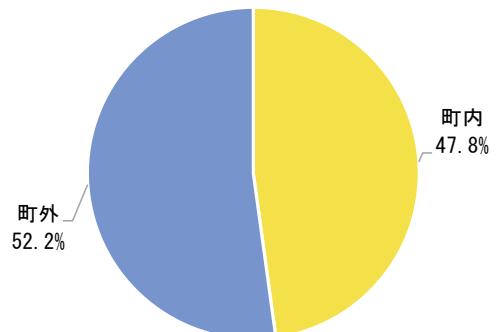
項目	人数
町内	11
町外	12
合 計	23



<休日>

図表 居住地（町内・町外）

項目	人数
町内	11
町外	12
合 計	23



<平日>

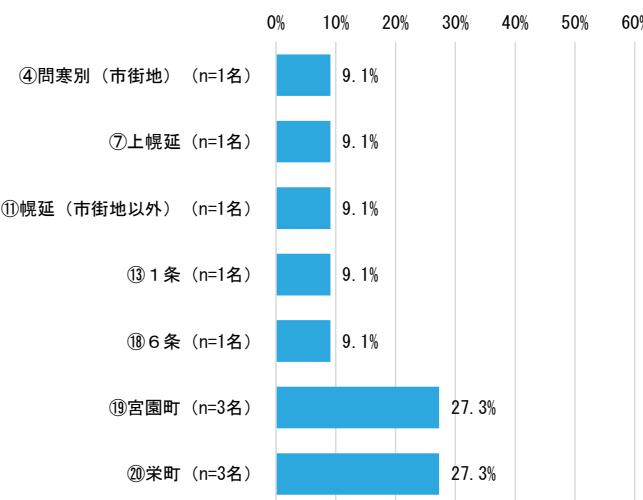


図 町内居住地の内訳

<休日>

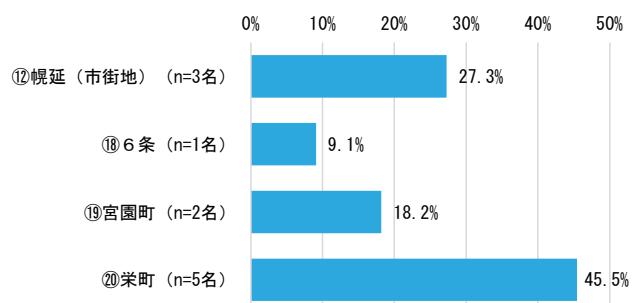


図 町内居住地の内訳

<平日>

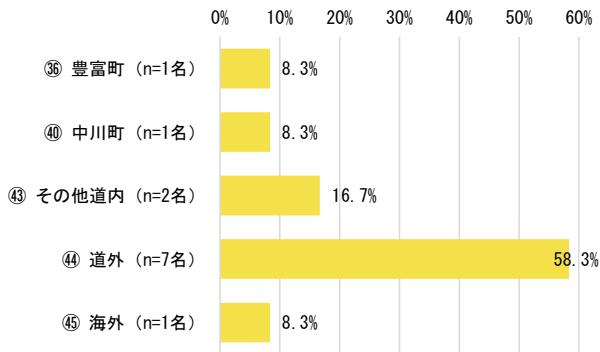


図 町外居住地の内訳

<休日>

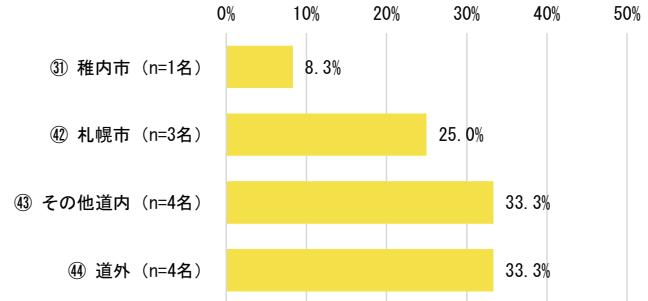


図 町外居住地の内訳

②乗降駅

平日の乗降駅は、⑧幌延駅が 18 人と最も多く続いて、①稚内駅と②南稚内駅が 5 人、旭川駅が 4 人の順となっています。

休日の乗降駅は、⑧幌延駅が 23 人と最も多く続いて、①稚内駅が 7 人、旭川駅が 5 人の順となっています。

平日は休日よりも乗降駅が分散する傾向となっています。

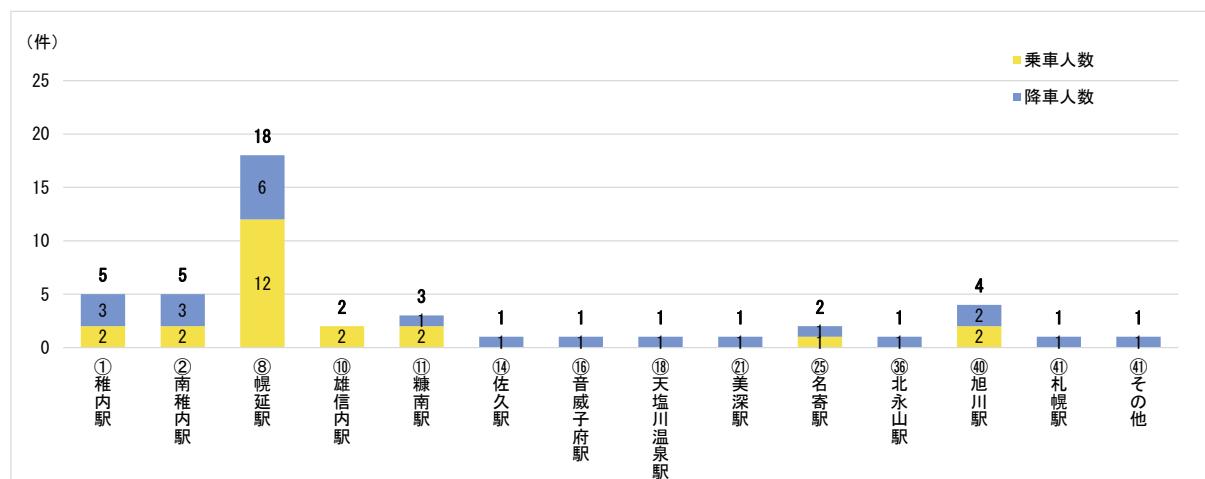


図 乗降駅別利用人数（平日）

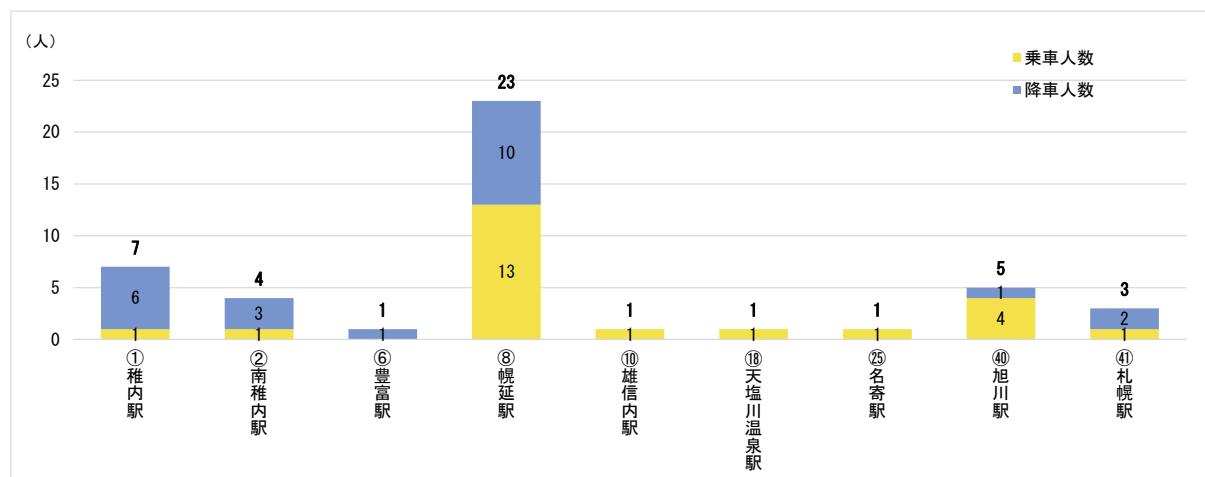


図 乗降駅別利用人数（休日）

(3)列車の利用状況

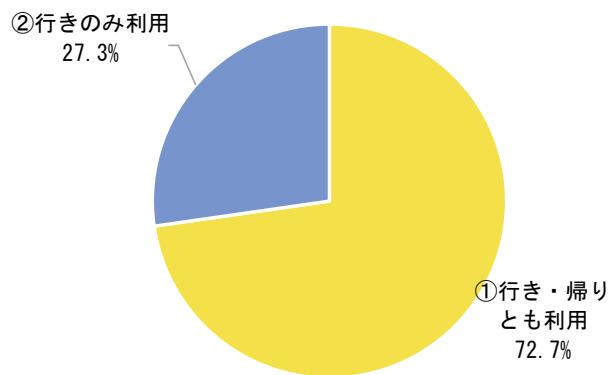
①行き・帰りの利用

平日、休日とも「①行き・帰りとも利用」が7割強となっており、平日、休日で概ね同様の傾向となっています。

<平日>

図表 行き・帰りの利用（平日）

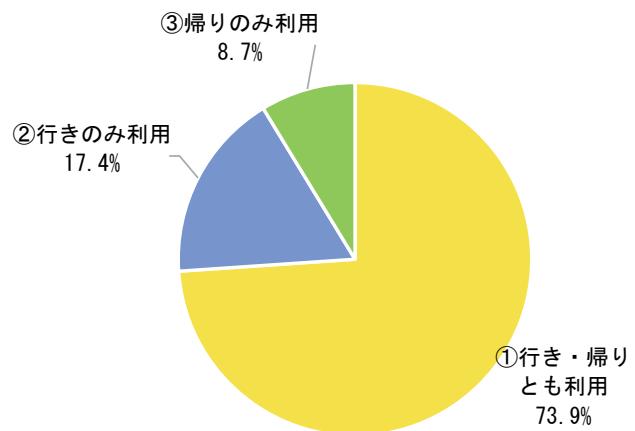
項目	人数
①行き・帰りとも利用	16
②行きのみ利用	6
③帰りのみ利用	0
合計	22



<休日>

図表 行き・帰りの利用（休日）

項目	人数
①行き・帰りとも利用	17
②行きのみ利用	4
③帰りのみ利用	2
合計	23



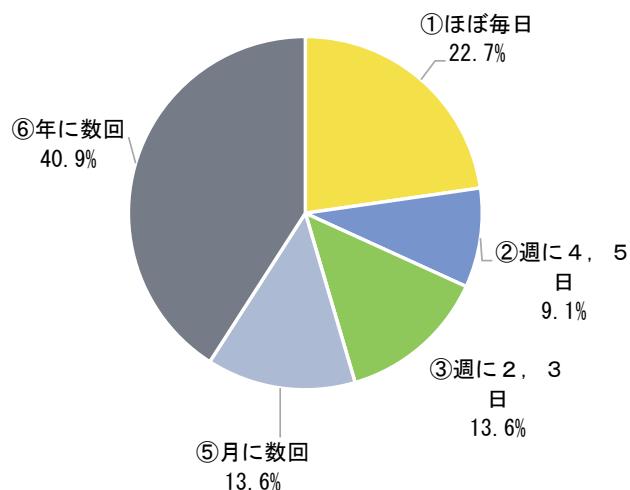
②利用頻度

平日、休日とも「⑥年に数回」が4割強と最も多いものの、平日においては「①ほぼ毎日」が2割強、休日においては「③週に2、3日」が2割強と、平日の利用頻度がやや多い状況となっています。

<平日>

図表 利用頻度（平日）

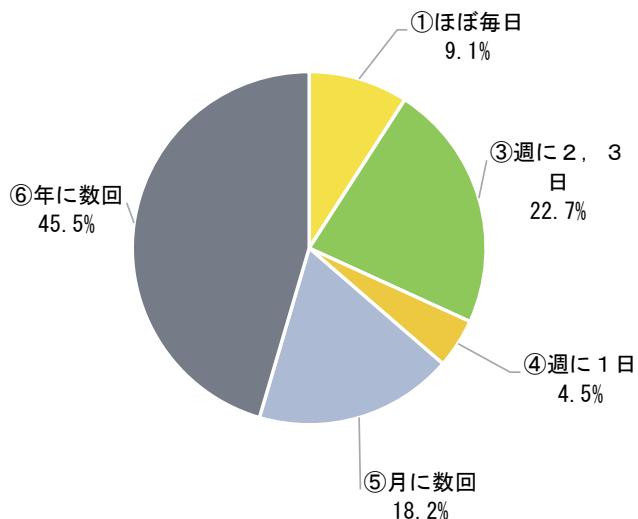
項目	人数
①ほぼ毎日	5
②週に4、5日	2
③週に2、3日	3
④週に1日	0
⑤月に数回	3
⑥年に数回	9
合 計	22



<休日>

図表 利用頻度（休日）

項目	人数
①ほぼ毎日	2
②週に4、5日	0
③週に2、3日	5
④週に1日	1
⑤月に数回	4
⑥年に数回	10
合 計	22



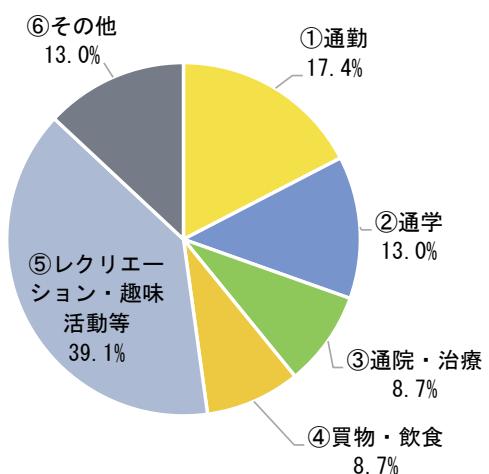
(4)外出目的

「⑤レクリエーション・趣味活動等」は休日が6割、平日は4割と最も多いものの、平日においては「①通勤」が2割弱、「②通学」は1割強、休日においては「④買物・飲食」が2割強となっています。

<平日>

図表 利用目的（平日）

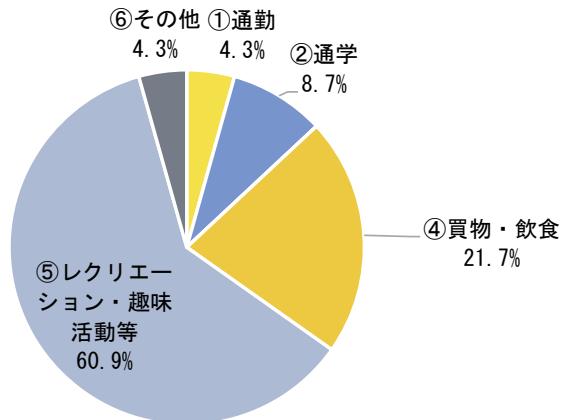
項目	人数
①通勤	4
②通学	3
③通院・治療	2
④買物・飲食	2
⑤レクリエーション・趣味活動等	9
⑥その他	3
合計	23



<休日>

図表 利用目的（休日）

項目	人数
①通勤	1
②通学	2
③通院・治療	0
④買物・飲食	5
⑤レクリエーション・趣味活動等	14
⑥その他	1
合計	23



(5)目的施設

平日は「北海道稚内高等学校」が5人、休日は「稚内市内のスーパー等」が5人と最も多い状況となっています。

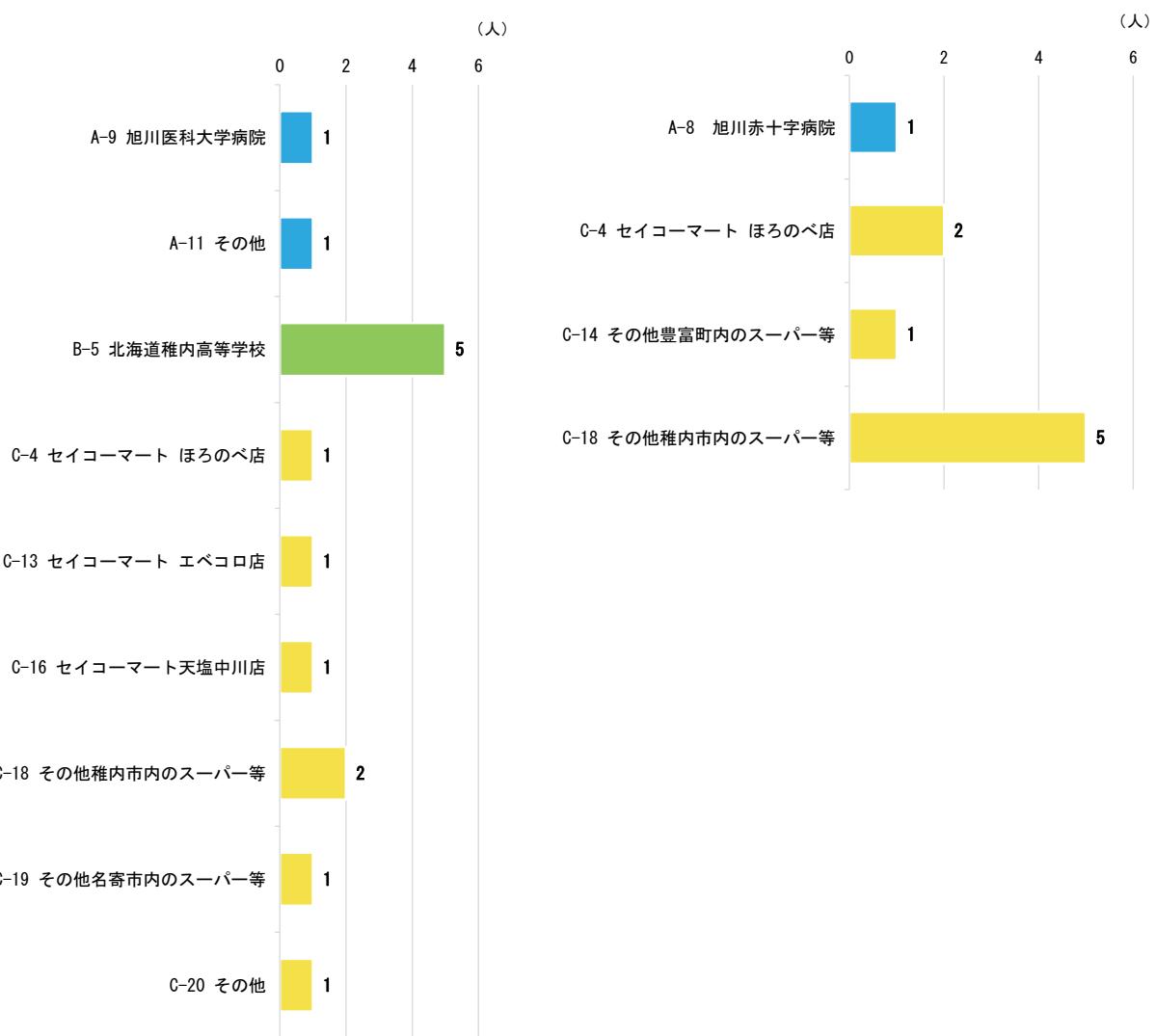


図 目的施設<平日>

図 目的施設<休日>

(6)鉄道と乗継ぐ交通手段(端末交通手段)

端末交通手段は、平日、休日とも「⑩徒歩」が6割前後と最も多い状況となっています。

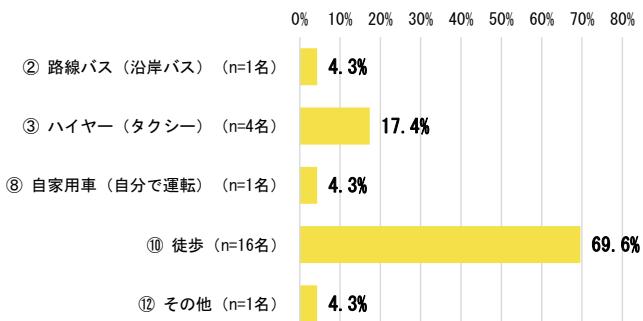


図 端末交通手段<平日>

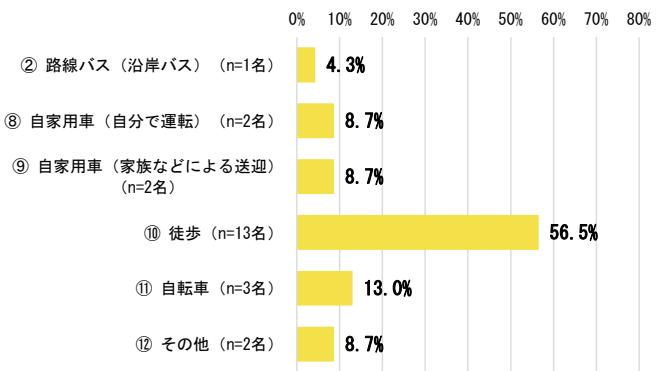


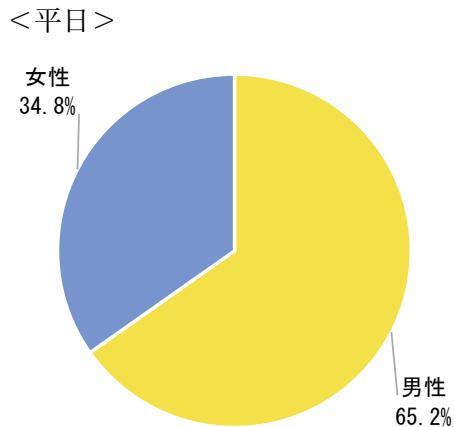
図 端末交通手段<休日>

(7)個人属性

①性別

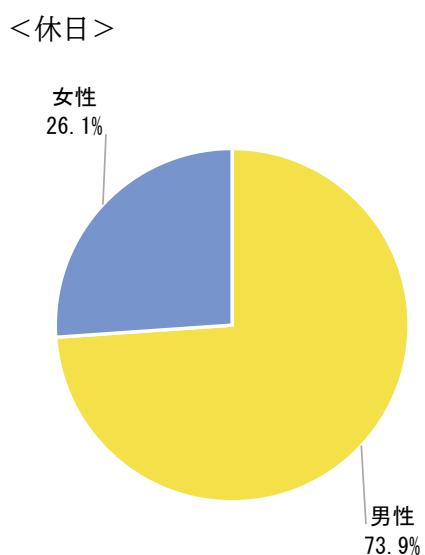
平日、休日とも「男性」が「女性」を上回っている状況です。

項目	人数
男性	15
女性	8
合計	23



図表 性別（休日）

項目	人数
男性	17
女性	6
合計	23



②年齢

平日は10代が3割と最も多く、続いて60代が2割強、30代と50代が2割弱の順となっています。

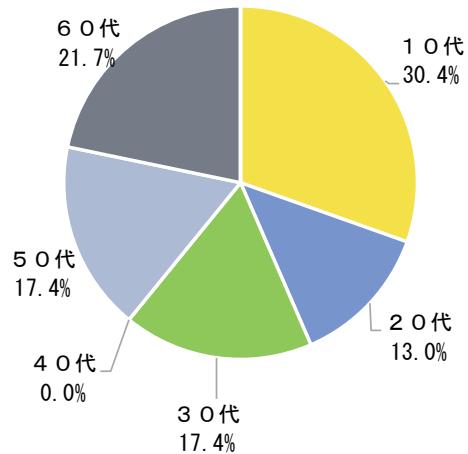
休日は20代が3割と最も多く、続いて50代が3割弱、40代と60代が1割強の順となっています。

休日は平日よりも年齢層が偏る傾向となっています。

<平日>

図表 年齢（平日）

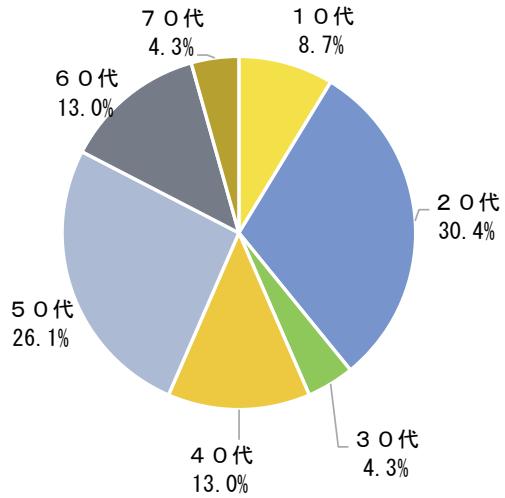
項目	人 数
10代	7
20代	3
30代	4
40代	0
50代	4
60代	5
70代	0
80歳以上	0
合 計	23



<休日>

図表 年齢（休日）

項目	人 数
10代	2
20代	7
30代	1
40代	3
50代	6
60代	3
70代	1
80歳以上	0
合 計	23



3-4. 主要施設アンケート調査

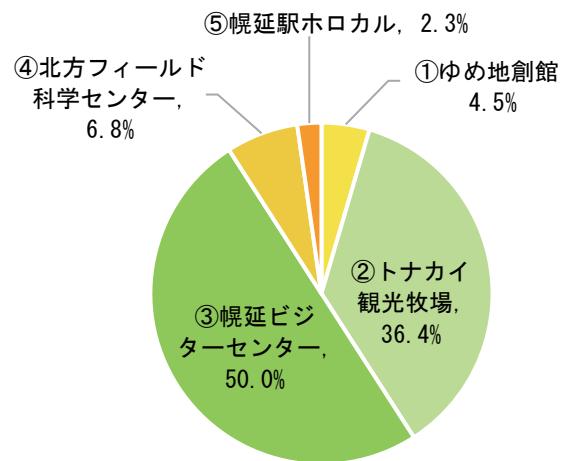
町内の主要施設の利用状況や交通手段について整理すると、次のとおりとなります。

(1) 利用施設

町内の5つの主要施設についての利用状況は、「③幌延ビジターセンター」の5割が最も多い、次いで「②トナカイ観光牧場」が4割弱、「④北方フィールド科学センター（北海道大学北方生物圏フィールド科学センタ一天塩研究林）」が1割弱となっています。

図表 利用施設

項目	件数
①幌延深地層研究センター ゆめ地創館	2
②幌延町トナカイ観光牧場	16
③幌延ビジターセンター	22
④北海道大学北方生物圏フィールド科学センター天塩研究林	3
⑤幌延駅ホロカル	1
合 計	44



(2) 施設利用目的

全体（合計）の利用目的は、「⑥観光・レクリエーション」が8割強と最も多くなっています。

施設別に全体と異なる目的となっている施設は「④北方フィールド科学センター」で、「①調査・研究」が7割弱、「②視察・調査」が3割強となっています。

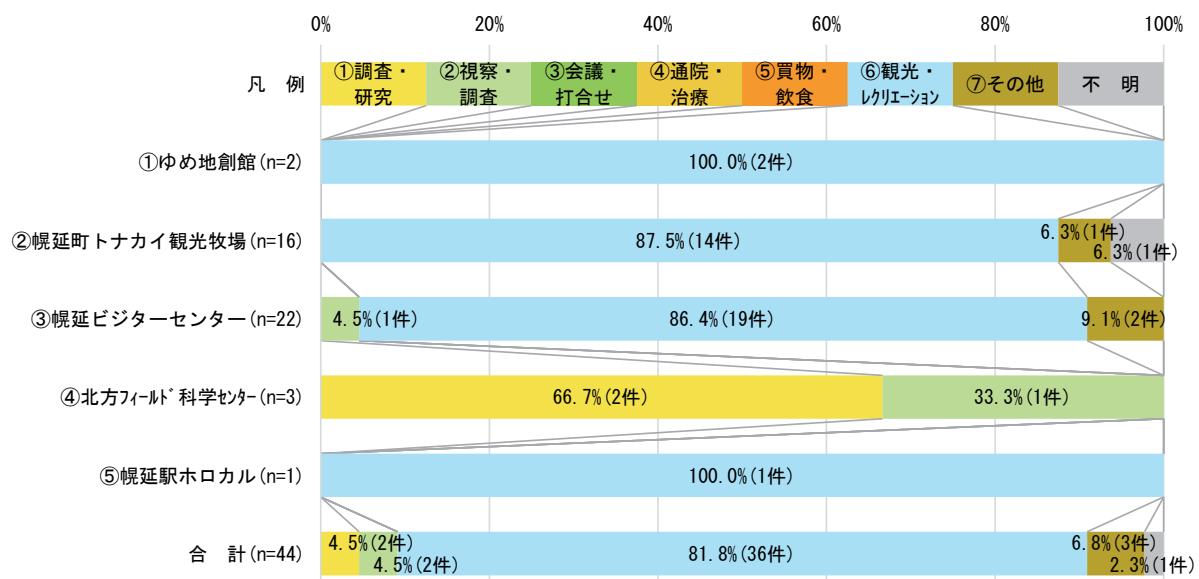


図 主要施設別の利用目的

(3)幌延町での滞在期間

全体（合計）の滞在時間・滞在日数は、「①1日以内」が8割弱と最も多く、「②2日以上」の2割弱を大きく上回っています。

施設別に見ると、「④北方フィールド科学センター」で「②2日以上」が7割弱と他の施設と異なっています。

「①1日以内」を回答した方の滞在時間は、「1時間」と「2時間」の合計が7割強と大半を占めている状況です。「②2日以上」を回答した方の滞在日数は、2日から4日の短期間が8割弱と大半を占めている状況です。なお宿泊先は、幌延町が6割と町外の4割を上回っています。

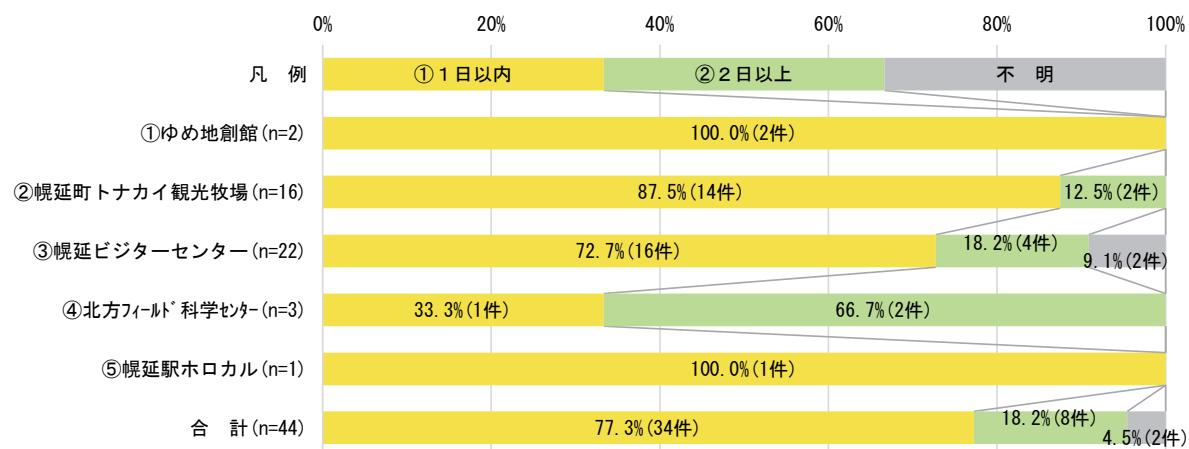
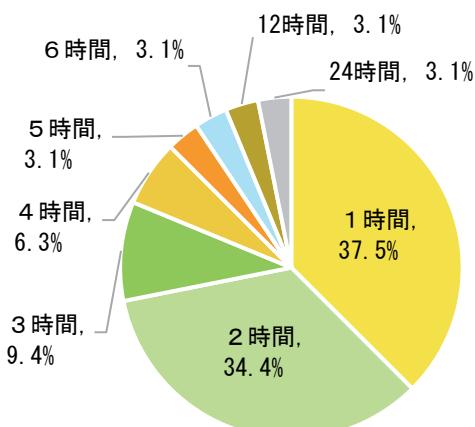


図 主要施設別の滞在期間

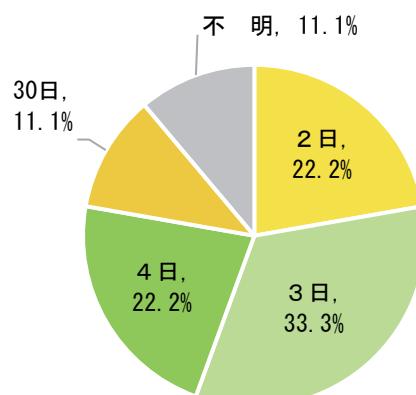
図表 滞在時間

項目	件 数
1時間	12
2時間	11
3時間	3
4時間	2
5時間	1
6時間	1
12時間	1
24時間	1
不 明	2
合 計	34



図表 滞在日数

項目	件 数
2日	2
3日	3
4日	2
不 明	1
合 計	8



(4)利用交通手段

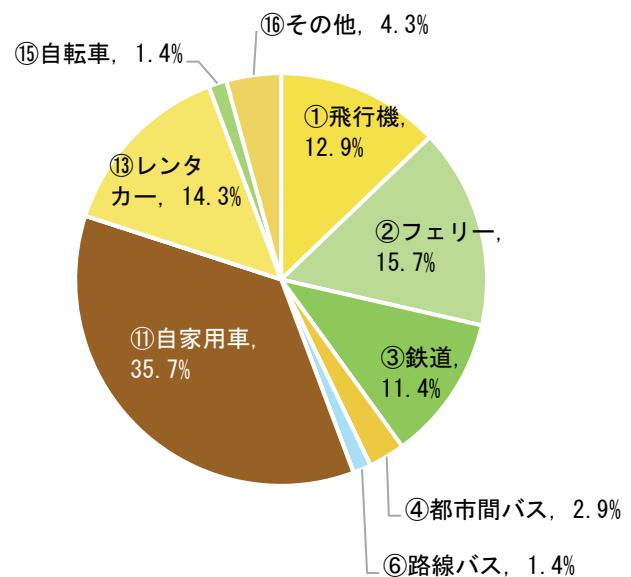
①来町時の交通手段

【全体（合計）】

来町時の交通手段は、全体で「⑪自家用車」が4割弱と最も多く、次いで「②フェリー」が2割弱、「⑬レンタカー」「①飛行機」及び「③鉄道」が1割強となっています。

図表 来町時の利用交通手段（全体）

項目	件数
①飛行機（稚内空港・旭川空港・その他（空港））	9
②フェリー	11
③鉄道（幌延駅・間寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	8
④都市間バス (沿岸バス特急はぼろ号等)	2
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	1
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧間寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両 (患者バス)	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	25
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	10
⑭徒歩	0
⑮自転車	1
⑯その他	3
合 計	70



○利用飛行場

- ・新千歳空港(4件)、稚内空港(4件)、旭川空港

○利用 JR 駅

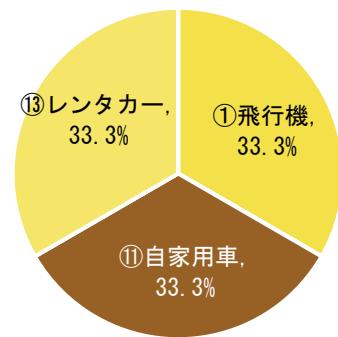
- ・旭川駅(2件)、豊富駅(2件)、稚内駅(2件)、幌延駅、札幌駅

【幌延深地層研究センター ゆめ地創館】

ゆめ地創館の利用交通手段は、「①飛行機」「⑪自家用車」及び「⑬レンタカー」が3割強となっています。

図表 来町時の利用交通手段（ゆめ地創館）

項目	件数
①飛行機（稚内空港・旭川空港・その他（空港））	1
②フェリー	0
③鉄道（幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	0
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	0
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	0
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	1
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	1
⑭徒歩	0
⑮自転車	0
⑯その他	0
合計	3

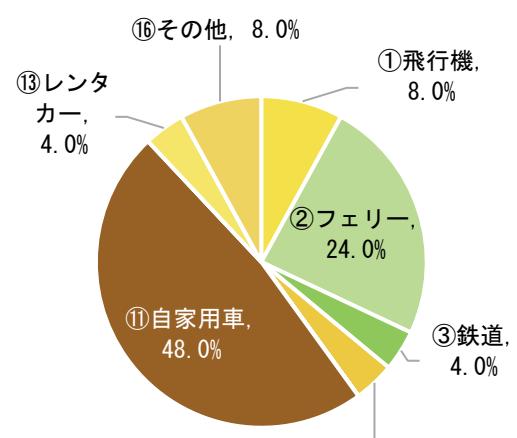


【幌延町トナカイ観光牧場】

トナカイ観光牧場の利用交通手段は、「⑪自家用車」が5割弱と最も多く、次いで「②フェリー」が2割強、「①飛行機」が1割弱の順となっています。

図表 来町時の利用交通手段（トナカイ観光牧場）

項目	件数
①飛行機（稚内空港・旭川空港・その他（空港））	2
②フェリー	6
③鉄道（幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	1
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	1
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	0
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	12
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	1
⑭徒歩	0
⑮自転車	0
⑯その他	2
合計	25

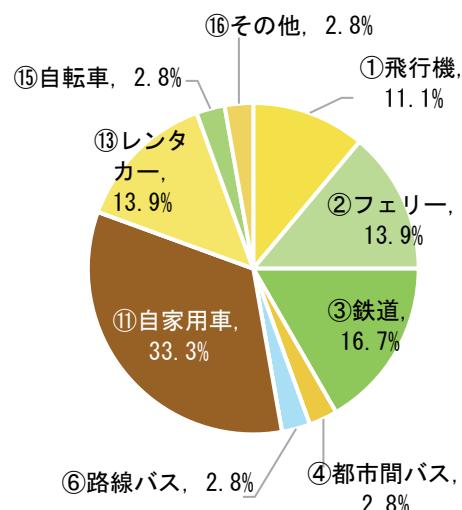


【幌延ビジターセンター】

ビジターセンターの利用交通手段は、「⑪自家用車」が3割強と最も多く、次いで「③鉄道」が2割弱、「②フェリー」と「①飛行機」が1割強の順となっています。

図表 来町時の利用交通手段（ビジターセンター）

項目	件数
①飛行機（稚内空港・旭川空港・その他（空港））	4
②フェリー	5
③鉄道（幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	6
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	1
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	1
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	12
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	5
⑭徒歩	0
⑮自転車	1
⑯その他	1
合計	36

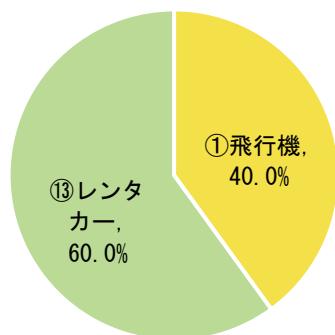


【北方フィールド科学センター】

北方フィールド科学センターの利用交通手段は、「⑬レンタカー」が6割と最も多く、次いで「①飛行機」が4割となっています。

図表 来町時の利用交通手段（北方フィールド科学センター）

項目	件数
①飛行機（稚内空港・旭川空港・その他（空港））	2
②フェリー	0
③鉄道（幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	0
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	0
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	0
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	0
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	3
⑭徒歩	0
⑮自転車	0
⑯その他	0
合計	5



【幌延駅ホロカル】

ホロカルの利用交通手段は、全て「③鉄道」を利用しています。

図表 来町時の利用交通手段（ホロカル）

項目	件数
①飛行機（稚内空港・旭川空港・その他（空港））	0
②フェリー	0
③鉄道（幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	1
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	0
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	0
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	0
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	0
⑭徒歩	0
⑮自転車	0
⑯その他	0
合計	1



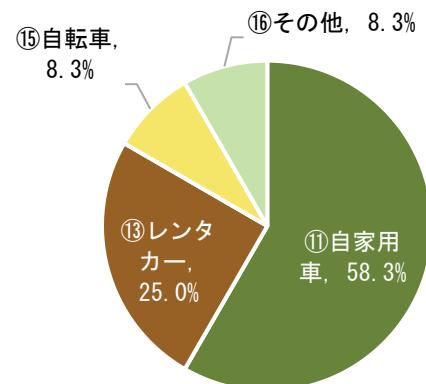
②町内の交通手段

【全体（合計）】

町内の交通手段は、全体で「⑪自家用車」が6割弱と最も多く、次いで「⑬レンタカー」が3割弱、「⑮自転車」が1割弱の順となっています。

図表 町内の利用交通手段（全体）

項目	件数
③鉄道（下沼駅・幌延駅・南幌延駅・雄信内駅・糠南駅・問寒別駅・天塩中川駅・豊富駅・その他（駅））	0
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	0
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	0
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	7
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	3
⑭徒歩	0
⑮自転車	1
⑯その他	1
合計	12



【幌延深地層研究センター ゆめ地創館】

ゆめ地創館の回答はありませんでした。

【幌延町トナカイ観光牧場】

トナカイ観光牧場の利用交通手段は、「⑪自家用車」が10割となっています。

図表 町内での利用交通手段（トナカイ観光牧場）

項目	件数
③鉄道（幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	0
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	0
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	0
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	5
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	0
⑭徒歩	0
⑮自転車	0
⑯その他	0
合 計	5

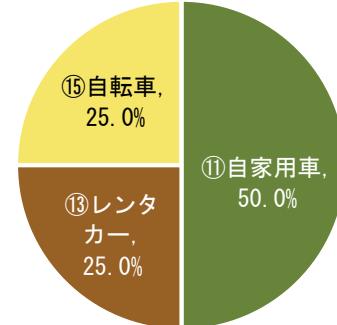


【幌延ビジターセンター】

ビジターセンターの利用交通手段は、「⑪自家用車」が5割と最も多く、次いで「⑬レンタカー」と「⑮自転車」が3割弱となっています。

図表 町内での利用交通手段（ビジターセンター）

項目	件数
③鉄道（幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	0
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	0
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	0
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	2
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	1
⑭徒歩	0
⑮自転車	1
⑯その他	0
合 計	4

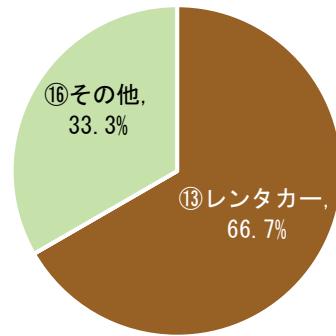


【北方フィールド科学センター】

北方フィールド科学センターの利用交通手段は、「⑬レンタカー」が7割弱と最も多い状況です。

図表 町内での利用交通手段（北方フィールド科学センター）

項目	件数
③鉄道（幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他（駅））	0
④都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）	0
⑤貸切バス	0
⑥路線バス（沿岸バス）	0
⑦ハイヤー（タクシー）	0
⑧問寒別地区を運行するデマンド車両	0
⑨幌延町内を運行するスクールバス	0
⑩幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）	0
⑪自家用車（自ら運転・送迎）	0
⑫社用車（自ら運転・送迎）	0
⑬レンタカー	2
⑭徒歩	0
⑮自転車	0
⑯その他	1
合 計	3



【幌延駅ホロカル】

ホロカルの回答はありませんでした。

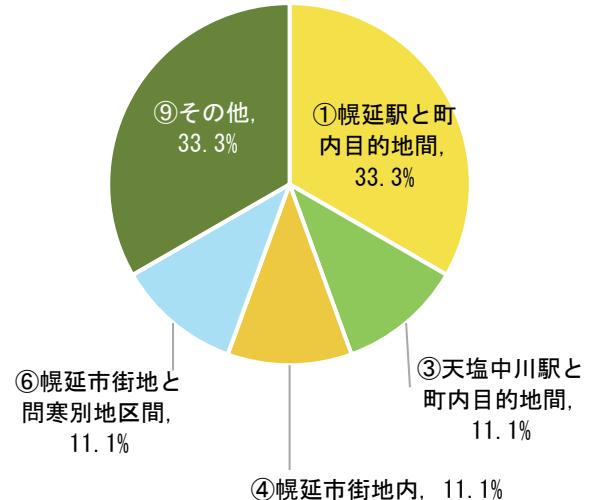
③便利な交通手段を利用する地域

【全体（合計）】

便利な交通手段を利用する地域は、全体で「①幌延駅と町内目的地間」が3割強と最も多く、次いで「③天塩中川駅と町内目的地間」「④幌延市街地内」及び「⑥幌延市街地と問寒別地区間」が1割強となっています。

図表 便利な交通手段を利用する地域（全体）

項目	件数
①幌延駅と町内目的地間	3
②問寒別駅と町内目的地間	0
③天塩中川駅と町内目的地間	1
④幌延市街地内	1
⑤問寒別地区内	0
⑥幌延市街地と問寒別地区間	1
⑦幌延市街地と問寒別地区以外の地区間	0
⑧問寒別地区と幌延市街地以外の地区間	0
⑨その他	3
合 計	9



【幌延深地層研究センター ゆめ地創館】

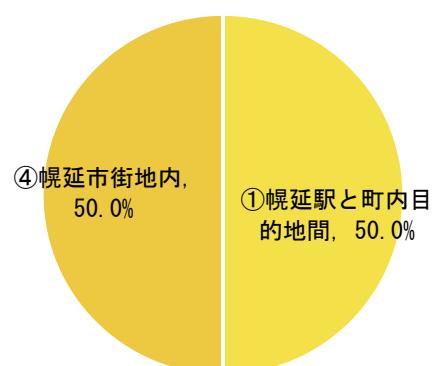
ゆめ地創館利用者が利用する地域は、「①幌延駅と町内目的地間」が10割となっています。

【幌延町トナカイ観光牧場】

トナカイ観光牧場利用者が利用する地域は、「①幌延駅と町内目的地間」と「④幌延市街地内」が5割となっています。

図表 便利な交通手段を利用する地域（トナカイ観光牧場）

項目	件数
①幌延駅と町内目的地間	1
②問寒別駅と町内目的地間	0
③天塩中川駅と町内目的地間	0
④幌延市街地内	1
⑤問寒別地区内	0
⑥幌延市街地と問寒別地区間	0
⑦幌延市街地と問寒別地区以外の地区間	0
⑧問寒別地区と幌延市街地以外の地区間	0
⑨その他	0
合 計	2

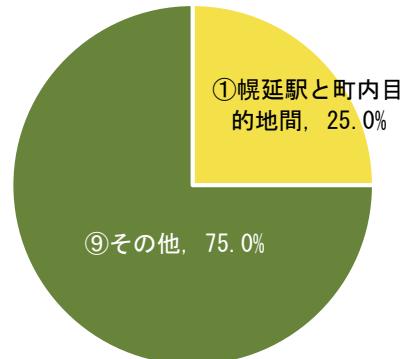


【幌延ビジターセンター】

ビジターセンター利用者が利用する地域は、「①幌延駅と町内目的地間」が2割弱となっています。

図表 便利な交通手段を利用する地域（ビジターセンター）

項目	件数
①幌延駅と町内目的地間	1
②問寒別駅と町内目的地間	0
③天塩中川駅と町内目的地間	0
④幌延市街地内	0
⑤問寒別地区内	0
⑥幌延市街地と問寒別地区間	0
⑦幌延市街地と問寒別地区以外の地区間	0
⑧問寒別地区と幌延市街地以外の地区間	0
⑨その他	3
合計	4



○その他

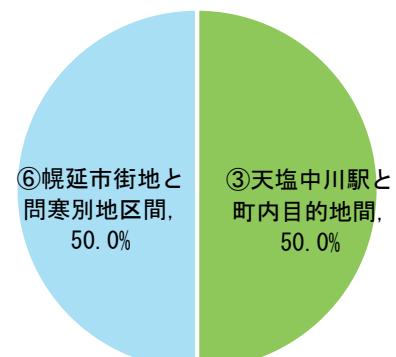
- ・他の回答で有効な記載はなし。

【北方フィールド科学センター】

北方フィールド科学センター利用者が利用する地域は、「③天塩中川駅と町内目的地間」と「⑥幌延市街地と問寒別地区間」が半数ずつとなっています。

図表 便利な交通手段を利用する地域（北方フィールド科学センター）

項目	件数
①幌延駅と町内目的地間	0
②問寒別駅と町内目的地間	0
③天塩中川駅と町内目的地間	1
④幌延市街地内	0
⑤問寒別地区内	0
⑥幌延市街地と問寒別地区間	1
⑦幌延市街地と問寒別地区以外の地区間	0
⑧問寒別地区と幌延市街地以外の地区間	0
⑨その他	0
合計	2



【幌延駅ホロカル】

ホロカルの回答はありませんでした。

④要望する運行内容

要望する運行内容は、全体で「①自家用車と同じぐらい」が6割強と最も多く、次いで「②自家用車とバス等の中間」が3割弱、「③バス等と同じぐらい」が1割弱の順となっています。

施設別に見ると、「幌延ビジターセンター」が「①自家用車と同じぐらい」と「②自家用車とバス等の中間」が同数であるほか、他の施設は全体と同様の傾向となっています。

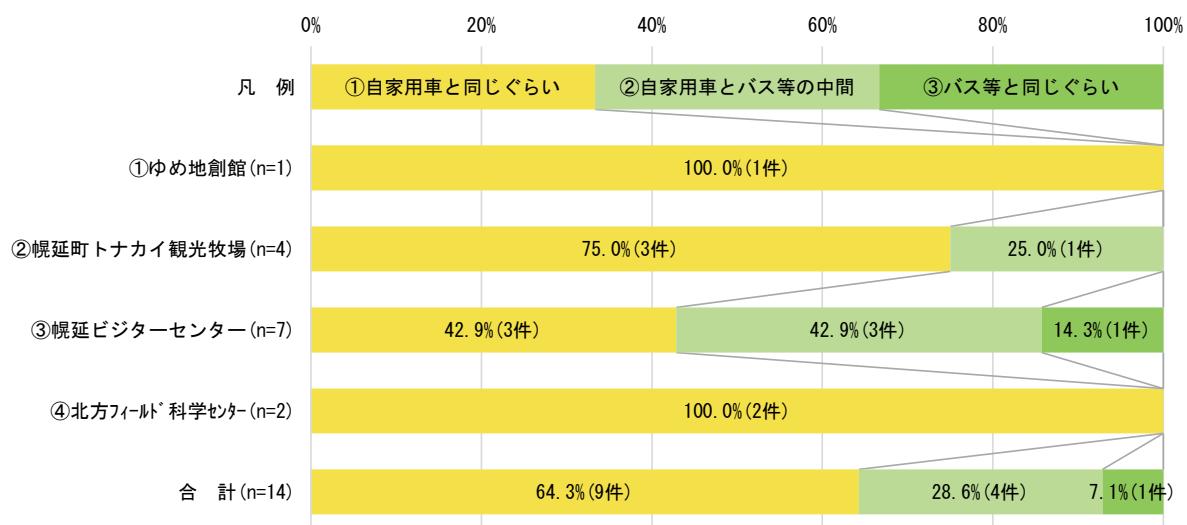


図 要望する運行内容（施設別）

注) 「⑤幌延駅ホロカル」の回答はありませんでした。

○選択肢の内容

略 称	選択の内容
①自家用車と同じぐらい	①自家用車の利便性と同じくらい、自由に行きたいところに行けるような公共交通（運賃はタクシーの運賃程度）
②自家用車とバス等の中間	②自家用車の利便性よりは低下するものの、現在の鉄道や路線バスより利便性が高い公共交通（運賃は路線バスとタクシーの中間程度）
③バス等と同じぐらい	③現在の鉄道や路線バスと同じくらいの利便性で充分（運賃は路線バスの運賃）

⑤要望する運行内容の利用頻度

利用頻度は、全体で「⑥月に1日以下」が6割弱と最も多く、次いで「④週に1日」が3割弱、「①ほぼ毎日」が1割強の順となっています。

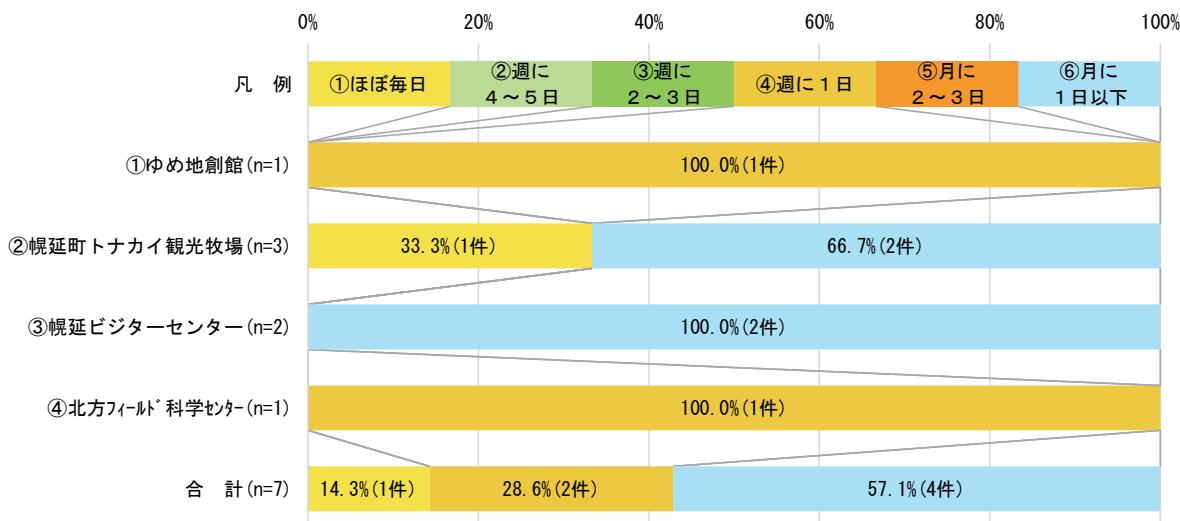


図 要望する運行内容の利用頻度（施設別）

注)「⑤幌延駅ホロカル」の回答はありませんでした。

⑥要望する運行内容の利用目的

利用目的は、「⑥観光・レクリエーション」が7割強と最も多く、次いで「①調査・研究」と「⑤買物・飲食」が1割弱となっています。

施設別に見ると、「北方フィールド科学センター」が「①調査・研究」と「⑤買物・飲食」が5割となっているほか、「⑥観光・レクリエーション」との回答が多い状況となっています。

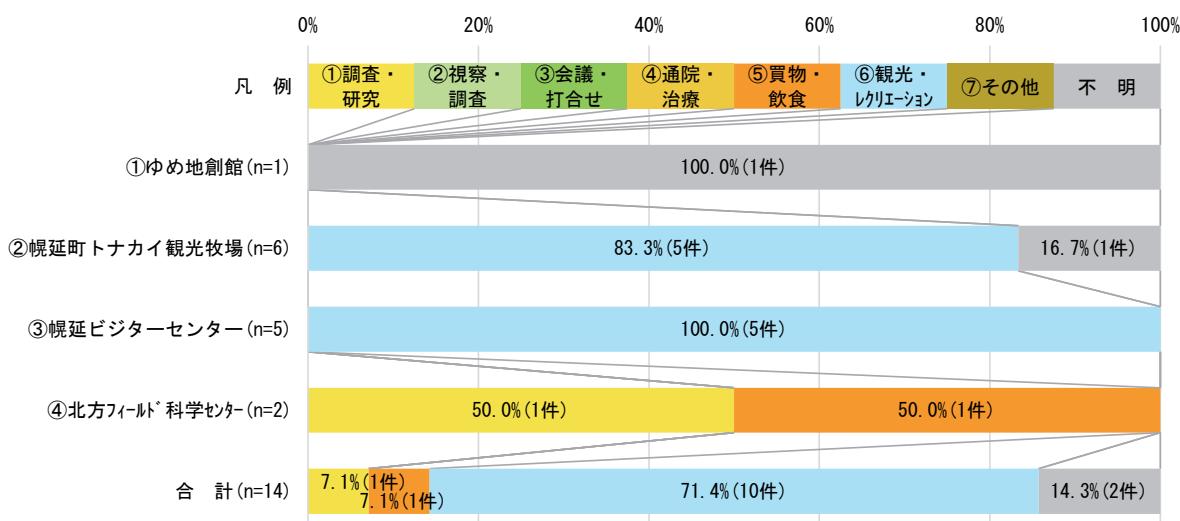


図 要望する運行内容の利用目的（施設別）

注)「⑤幌延駅ホロカル」の回答はありませんでした。

(5)個人属性

①性別

性別は、全体で「①男性」が6割弱と、「②女性」が4割強を上回っています。

施設別に見ると、「北方フィールド科学センター」は「②女性」が「①男性」を大きく上回っています。



図 性別（施設別）

②年齢層

年齢層は、全体で「⑥60代」が3割強と最も多い、次いで「③30代」が2割、「⑦70代」と「④40代」が2割弱の順となっています。

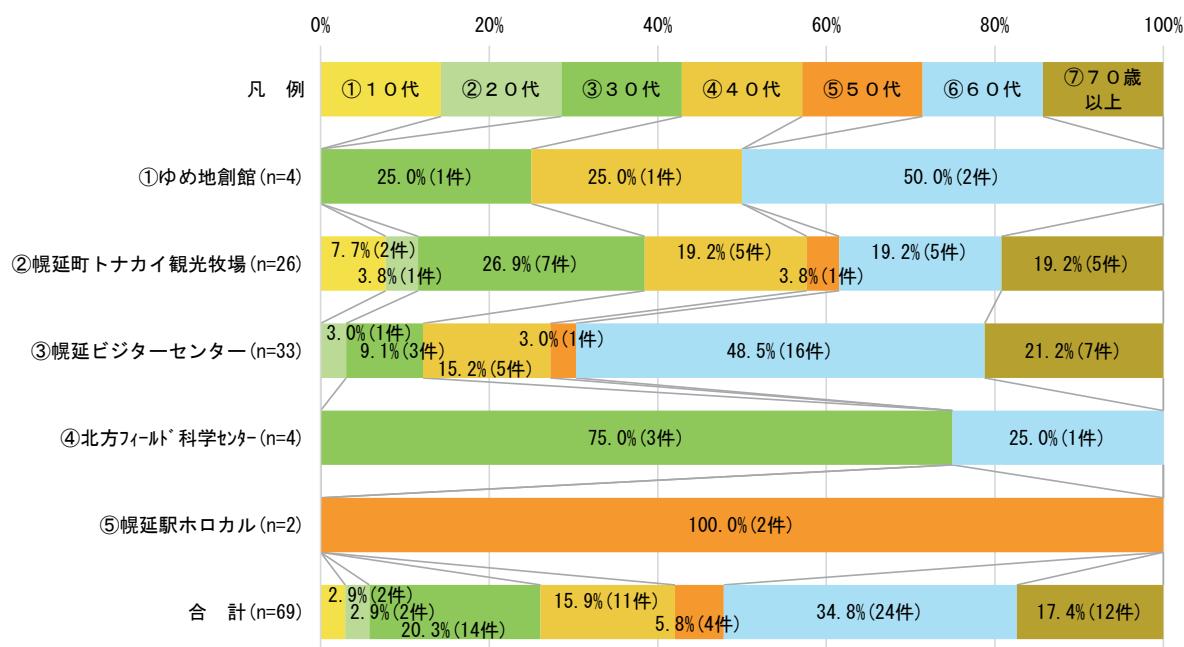


図 年齢層（施設別）

(6)居住地域

居住地域は以下のとおりとなっています。

○北海道内：12 件

- ・札幌市(7)、天塩町(2)、音威子府村、紋別市、江別市

○道外：25 件

- ・神奈川県(6)、千葉県(4)、岡山県(3)、東京都(2)、福岡県(2)、新潟県、岩手県、茨城県、長野県、静岡県、愛知県、大阪府、愛媛県

(7)その他の意見

- ・宗谷本線の活用、普通列車の活用・増便・存続、車窓からの眺めをアピールする
- ・トナカイがかわいい
- ・サイクリングが良い
- ・沿岸バスと宗谷バスの連携
- ・レンタカーや自家用車が必須で、公共交通が便利になつても使わない

3-5. バス乗降調査

(1) カウント調査

① 停留所間乗車人数

令和4年度における1日当たり平均乗車人数は、バス停留所「幌延駅」と「幌延十字街」の乗降客数が5人から9人となっているため、当該バス停留所前が20人弱、当該バス停留所後は10人弱と停留所間乗車人数が異なっています。

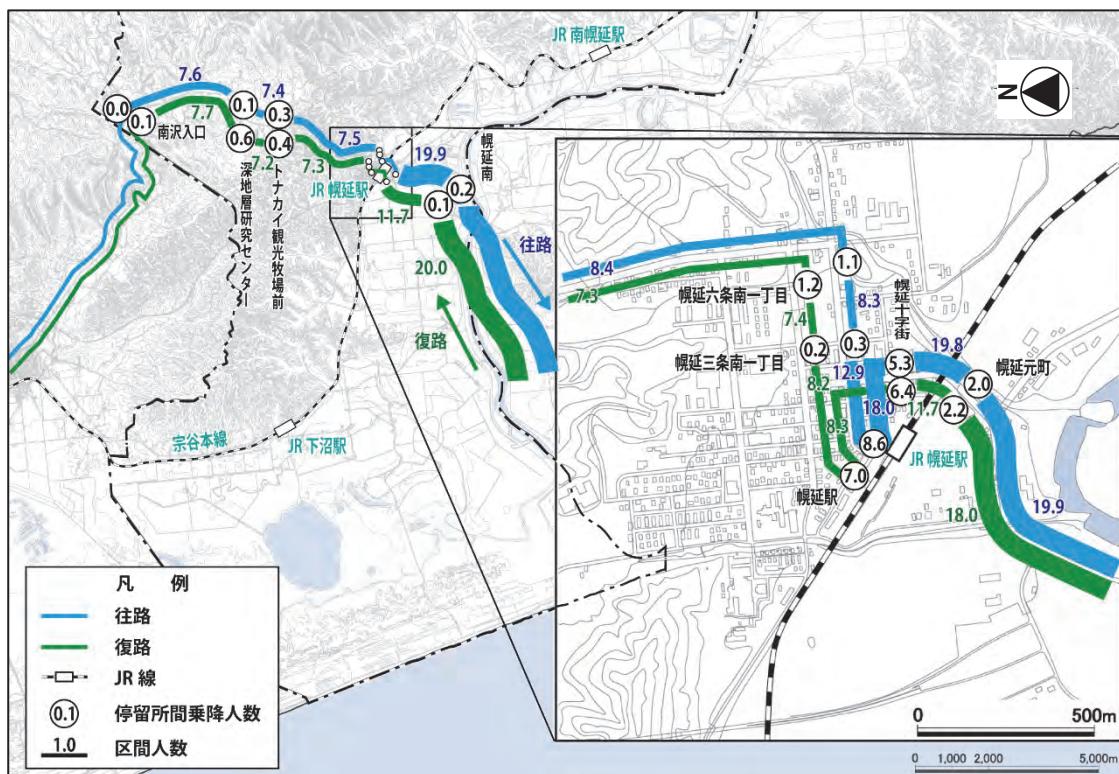


図 停留所区間乗車人数（令和4年度1日当たり平均）

資料：沿岸バス（株）

② 停留所間移動状況

【平日】

平日1日のバス乗降調査結果では、町内バス停留所と「天塩高校」の間が47人と全体の7割以上を占めており、「幌延十字街」との間が23人と最も多く、次いで「南沢入口」が5人、「幌延駅」が4人、「幌延元町」が3人の順となっています。

【休日】

休日1日のバス乗降調査結果では、町内バス停留所で乗り降りしている6人のうち、「幌延駅」での乗降は5人を占めます。

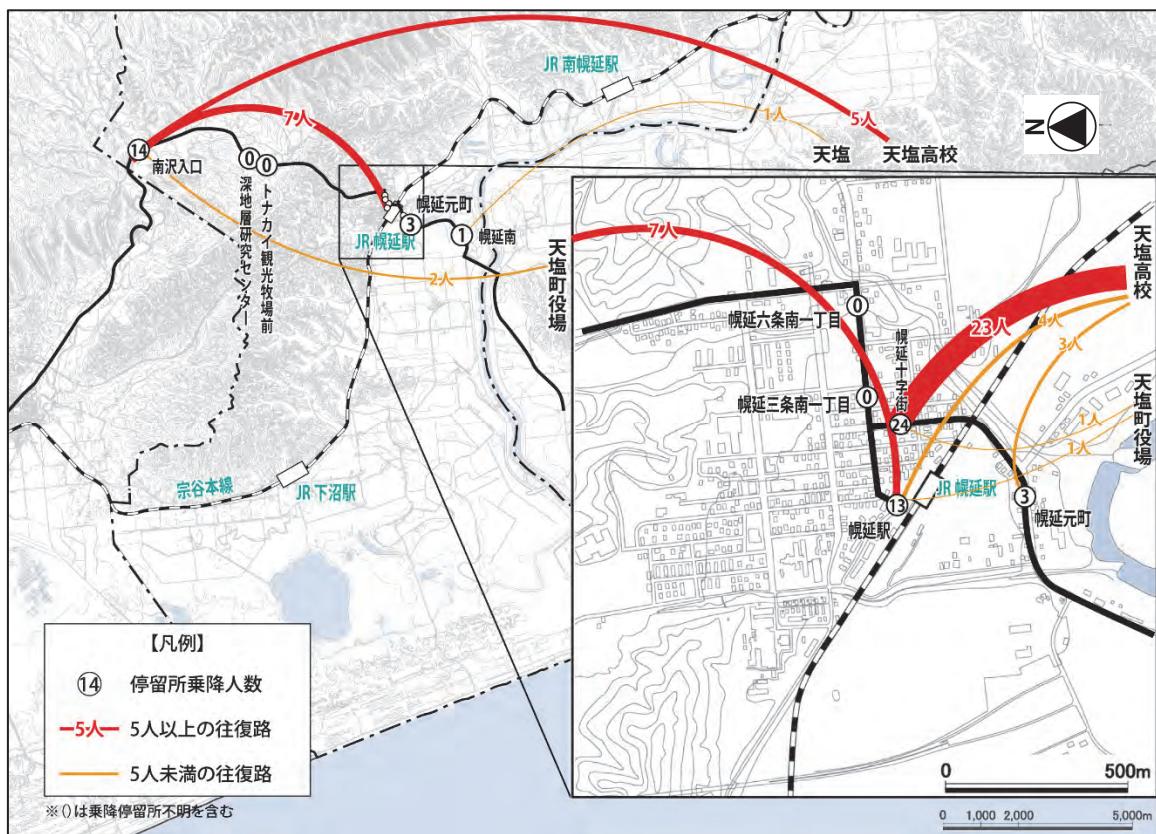


図 停留所間移動人数（平日：令和4年9月5日（月））

資料：北海道留萌管内地域公共交通計画

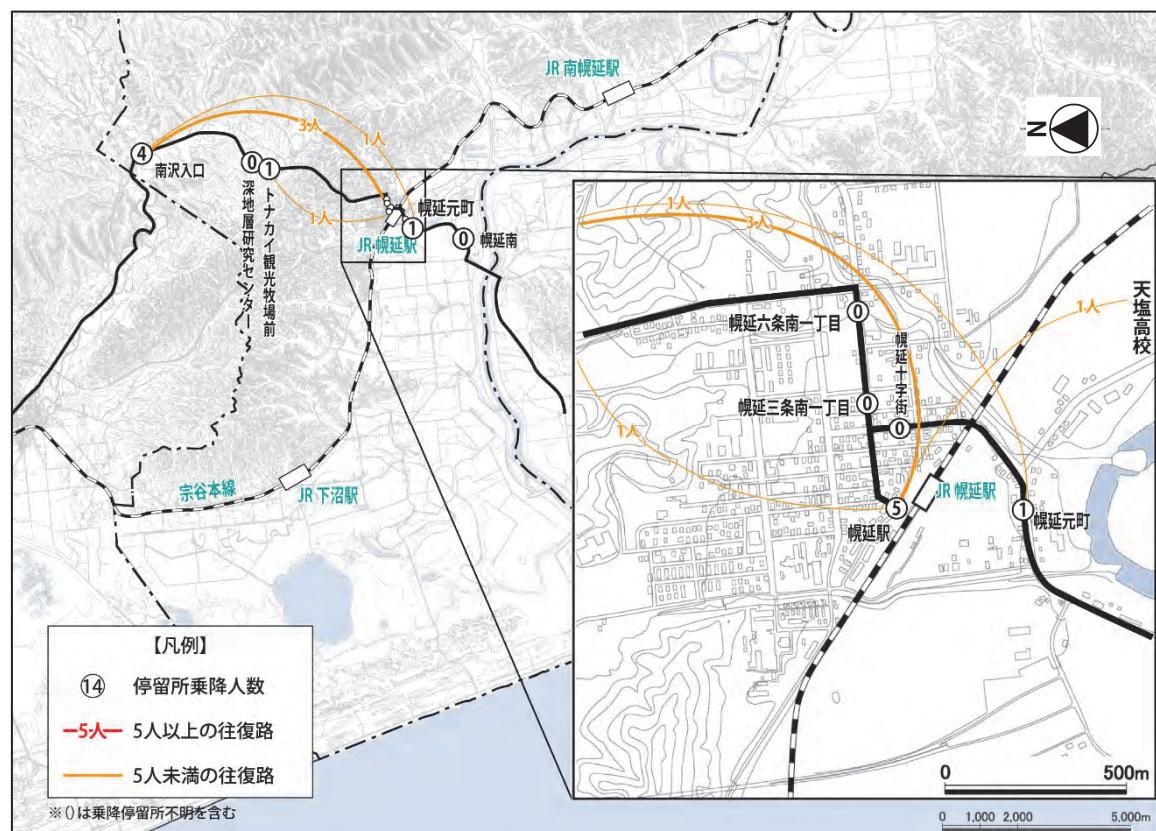


図 停留所間移動人数（休日：令和4年9月4日（日））

資料：北海道留萌管内地域公共交通計画

(2)ヒアリング調査

バス乗降調査に合わせて行ったヒアリング調査において、幌延町民からバス利用目的、利用頻度、アクセス施設について以下のとおりヒアリングを行った。

①年齢階層

10代が7割弱と最も多く、次いで「20代」が2割強となっています。

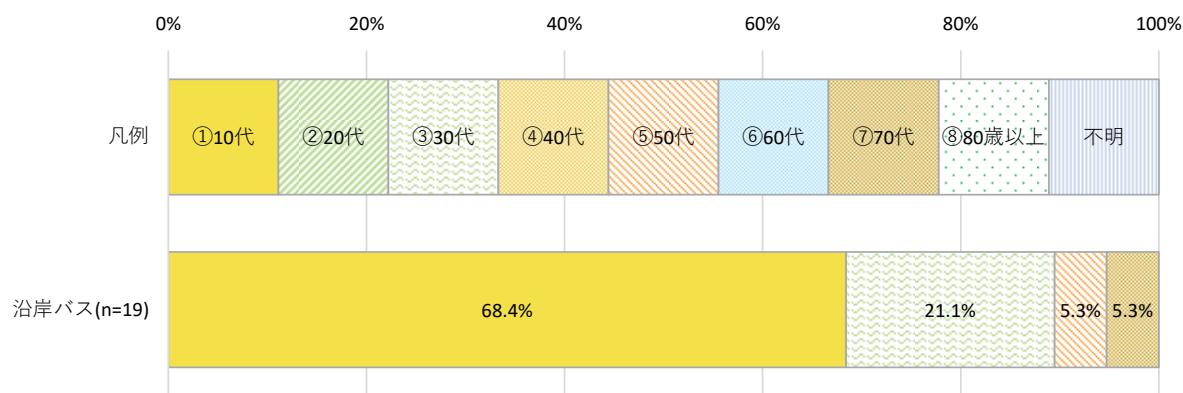


図 年齢階層

資料：北海道留萌管内地域公共交通計画

②利用目的

「通学」が6割強と最も多く、次いで「通院」が3割弱となっています。

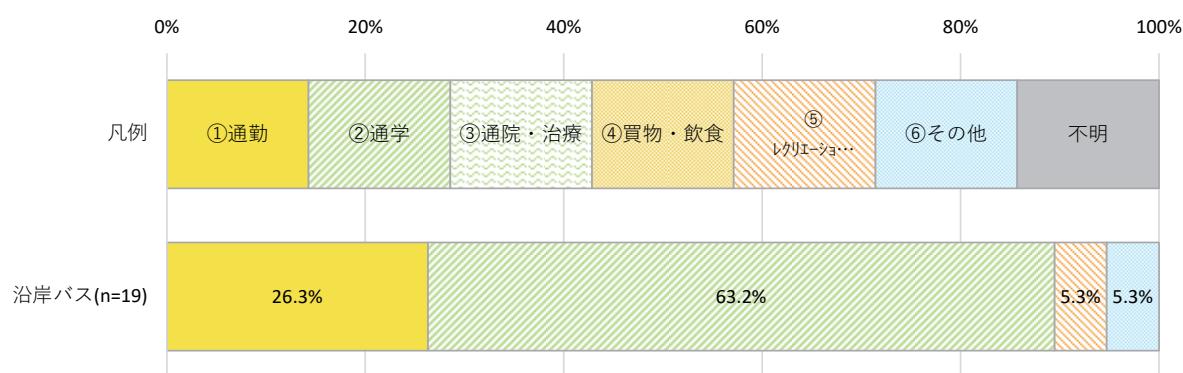


図 利用目的

資料：北海道留萌管内地域公共交通計画

③利用頻度

「①ほぼ毎日」が6割強と最も多く、次いで「②週に4,5日」が2割弱、「③週に2,3日」が1割の順となっています。

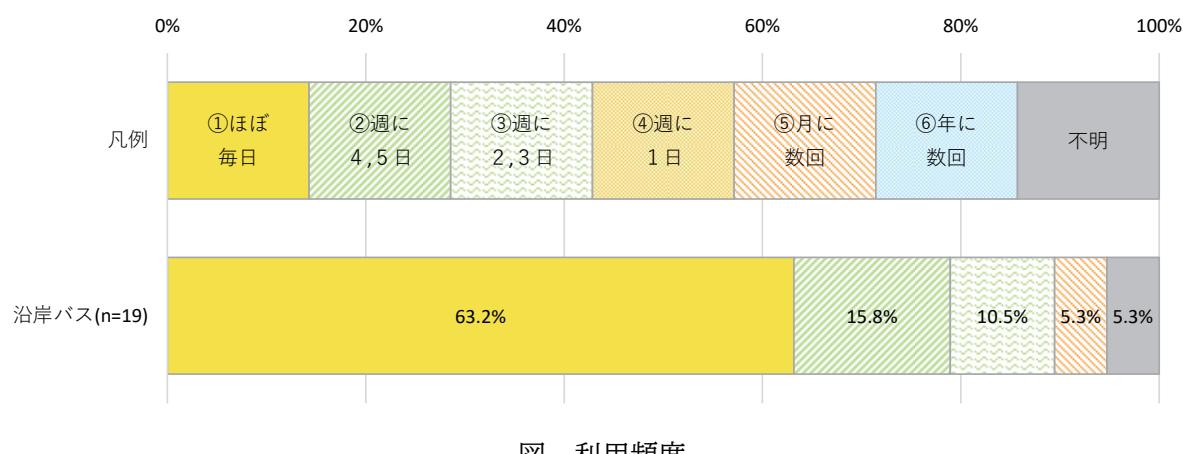


図 利用頻度

資料：北海道留萌管内地域公共交通計画

④アクセス施設

「北海道天塩高校」が12人、「遠別町国保病院」が2人となっています。

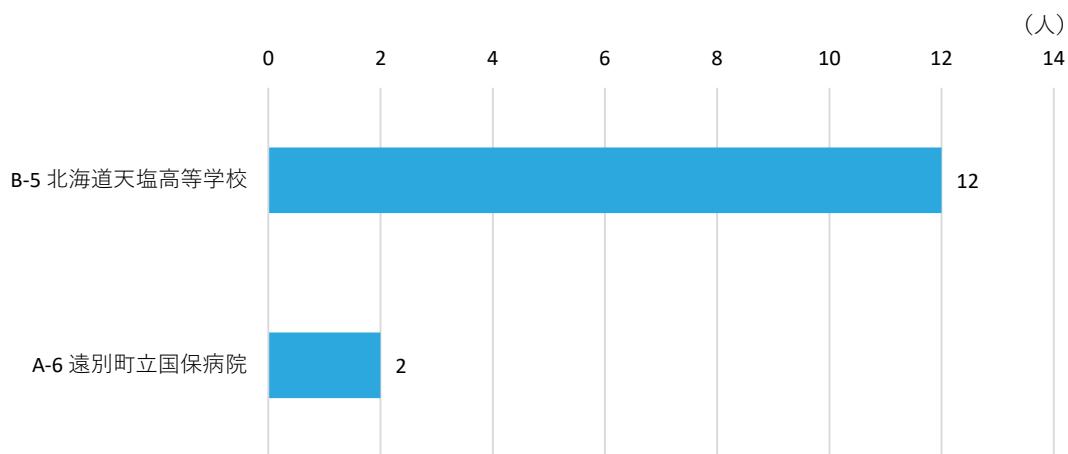


図 アクセス施設

資料：北海道留萌管内地域公共交通計画

資料編 各種アンケート調査票

資料-1. 利用動向調査(住民アンケート調査)

幌延町地域公共交通計画策定に向けた 地域公共交通に関する利用動向調査

利用動向調査へのご協力のお願い

皆様には、日頃から町政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

幌延町では、本地域にお住いの住民皆様を対象に地域の公共交通に対するご意見をお聞きし、より良い仕組み（計画）を策定・検討するため、利用動向調査を行うことといたしました。

皆様におかれましては、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

アンケートへの回答は、**調査用紙に記入いただき、郵便ポスト等へ投函**くださいか、右のQRコードから回答いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、回収期限：6月30日（金）までとなっています。



◆お問合せ先◆ 幌延町役場 企画政策課 担当 山下・梶・喜多 Tel 01632-5-1114

調査票への記入にあたって

- ご自宅に届いた場合 … 「16歳（高校生）以上」の方「最大3名」までご回答ください。
- 調査票は、「世帯・事業所として回答」をお願いする質問と、「一人ひとりが回答」をお願いする質問があります。
 - 「世帯として回答」は、世帯でお話し合いの上、回答いただきますようお願いいたします。
 - 「一人ひとりが回答」は、16歳以上のご家族が4名以上いらっしゃる場合、学生（高校生以上）の方、65歳以上、それ以外の方の順で回答いただきますようお願いします。未就学児、小学生、中学生の方は回答の対象外です。
 - 世帯主のみの場合は「二人目」の欄は空欄（無回答）、ご家族が2人の場合は「三人目」の欄は空欄（無回答）でお願いします。

お勤めの方の中から「町外にお住まいの方※最大3名」までご回答ください。
※町内にお住まいの方は、ご自宅に届く調査票へのご回答をお願いいたします。

■事業所に届いた場合 …

- 調査票は、「事業所として回答」をお願いする質問と、町外にお住いの従業員の方「一人ひとりが回答」をお願いする質問があります。
- 「事業所として回答」は、代表の方が回答いただきますようお願いいたします。
- 「一人ひとりが回答」は、町外にお住まいの方が4名以上いらっしゃる場合、どなたか3名の方が回答いただきますようお願いします。
- 代表の方のみの場合は「二人目」の欄は空欄（無回答）、従業員が2人の場合は「三人目」の欄は空欄（無回答）でお願いします。

■共通事項（ご自宅・事業所とも）

- QRコードご利用の場合は、「お一人だけ」のご回答でお願いします。
- 記入方法・選択肢について、この調査用紙で回答される場合、鉛筆またはボールペンで該当番号を○で囲む、回答欄に数字を記入してください。

【記入例】 ①幌延町

①利用していない

- 質問のうち、「一つに○」は、選択肢から一つ、「三つ以内に○」は、選択肢から該当するものを三つ以内で選択して回答ください。「指定数を超えて選択」されると、貴重なご回答が「無効」となりますのでご注意ください。

問1 ご自身、ご家族のことについてお答えください。

Q1. 居住地域をお答えください。(一つに○)

■ご自宅に届いた場合

【町内】

- ① 上問寒 ② 中間寒 ③ 間寒別（市街地以外） ④ 間寒別（市街地） ⑤ 雄興 ⑥ 開進
⑦ 上幌延 ⑧ 北進 ⑩ 下沼 ⑪ 幌延（市街地以外） ⑫ 幌延（市街地）
⑬ 1条 ⑭ 2条 ⑮ 3条 ⑯ 4条 ⑰ 5条 ⑱ 6条 ⑲ 宮園町 ⑳ 栄町
㉑ 元町 ㉒ 東町

■事業所に届いた場合（町外にお住まいの方、「最大3名」までお答えください）

該当する市町村名を選択肢から選んで記載してください。

※町内にお住まいの方は、ご自宅に届いたアンケートにてご回答ください。

一人目の方	二人目の方	三人目の方

【選択肢】

- ㉓ 稚内市 ㉔ 猿払村 ㉕ 浜頓別町 ㉖ 中頓別町 ㉗ 枝幸町 ㉘ 豊富町 ㉙ 礼文町 ㉚ 利尻町
㉛ 利尻富士町 ㉜ 中川町 ㉝ 天塩町 ㉞ その他（ ）

Q2. 最寄り駅やバス停は歩いて行こうと思える所にありますか。(一つに○)

- ① ある ② ない

★以下の質問からは、一人ずつお答えください。(16歳以上)

Q3. 「年齢」をお答えください。(一つに○)

☆15歳以下の方は対象外です

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 16～18歳 ② 19～29歳 ③ 30～49歳 ④ 50～64歳 ⑤ 65～74歳 ⑥ 75～84歳 ⑦ 85歳以上	① 16～18歳 ② 19～29歳 ③ 30～49歳 ④ 50～64歳 ⑤ 65～74歳 ⑥ 75～84歳 ⑦ 85歳以上	① 16～18歳 ② 19～29歳 ③ 30～49歳 ④ 50～64歳 ⑤ 65～74歳 ⑥ 75～84歳 ⑦ 85歳以上

Q4. 「性別」をお答えください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①男 ②女	①男 ②女	①男 ②女

Q5. あなたの職業を教えてください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 会社員・団体職員 ② 自営業 ③ 農業 ④ 林業 ⑤ 水産業 ⑥ 公務員 ⑦ 学生 (学校名：) ⑧ 主婦・主夫 ⑨ 無職 ⑩ その他()	① 会社員・団体職員 ② 自営業 ③ 農業 ④ 林業 ⑤ 水産業 ⑥ 公務員 ⑦ 学生 (学校名：) ⑧ 主婦・主夫 ⑨ 無職 ⑩ その他()	① 会社員・団体職員 ② 自営業 ③ 農業 ④ 林業 ⑤ 水産業 ⑥ 公務員 ⑦ 学生 (学校名：) ⑧ 主婦・主夫 ⑨ 無職 ⑩ その他()

Q 6. あなたの通学・通勤の状況について教えてください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 通学している …Q 7 へ	① 通学している …Q 7 へ	① 通学している …Q 7 へ
② 通勤している …Q 7 へ (パート・アルバイト含む)	② 通勤している …Q 7 へ (パート・アルバイト含む)	② 通勤している …Q 7 へ (パート・アルバイト含む)
③ 通学・通勤はしていない …Q 8 へ	③ 通学・通勤はしていない …Q 8 へ	③ 通学・通勤はしていない …Q 8 へ

Q 7. Q 6で「通学している」「通勤している」をお答えの方にお聞きします。

あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①稚内市 ②猿払村	①稚内市 ②猿払村	①稚内市 ②猿払村
③浜頓別町 ④中頓別町	③浜頓別町 ④中頓別町	③浜頓別町 ④中頓別町
⑤枝幸町 ⑥豊富町	⑤枝幸町 ⑥豊富町	⑤枝幸町 ⑥豊富町
⑦礼文町 ⑧利尻町	⑦礼文町 ⑧利尻町	⑦礼文町 ⑧利尻町
⑨利尻富士町 ⑩幌延町	⑨利尻富士町 ⑩幌延町	⑨利尻富士町 ⑩幌延町
⑪その他 ()	⑪その他 ()	⑪その他 ()

Q 8. あなたの自動車運転免許の保有状況について教えてください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①持っている …Q 9 へ	①持っている …Q 9 へ	①持っている …Q 9 へ
②持っていない …Q 10 へ	②持っていない …Q 10 へ	②持っていない …Q 10 へ

Q 9. 自動車運転免許を「持っている」にご回答の方について、運転の状況について教えてください。

Q 9-1. 日常的に運転しますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① する ② しない	① する ② しない	① する ② しない

Q 9-2. 運転免許を返納する予定はありますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① ある ② ない	① ある ② ない	① ある ② ない

Q 9-3. あなたの将来の自動車の運転意向について教えてください。

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① () 歳頃まで運転したい	① () 歳頃まで運転したい	① () 歳頃まで運転したい
② できる限り長く運転したい	② できる限り長く運転したい	② できる限り長く運転したい
③ すぐに免許返納をしたい	③ すぐに免許返納をしたい	③ すぐに免許返納をしたい
④ わからない	④ わからない	④ わからない
⑤ その他 ()	⑤ その他 ()	⑤ その他 ()

Q 9－4. あなたが免許返納により困ることについて教えてください。(複数回答可)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 買い物に行けない ② 通院ができない ③ 仕事ができない ④ 金融機関や郵便局、役場などに行けない ⑤ 自分の趣味や活動が制限される ⑥ 特に困ることはない ⑦ その他 ()	① 買い物に行けない ② 通院ができない ③ 仕事ができない ④ 金融機関や郵便局、役場などに行けない ⑤ 自分の趣味や活動が制限される ⑥ 特に困ることはない ⑦ その他 ()	① 買い物に行けない ② 通院ができない ③ 仕事ができない ④ 金融機関や郵便局、役場などに行けない ⑤ 自分の趣味や活動が制限される ⑥ 特に困ることはない ⑦ その他 ()

Q 9－5. あなたが将来、運転が困難になった場合の日常生活における主な移動手段について教えてください。(複数回答可)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 徒歩、自転車 ② バス ③ JR ④ ハイマー（タクシー） ⑤ 家族・知人の送迎 ⑥ 外出を控える ⑦ その他 ()	① 徒歩、自転車 ② バス ③ JR ④ ハイマー（タクシー） ⑤ 家族・知人の送迎 ⑥ 外出を控える ⑦ その他 ()	① 徒歩、自転車 ② バス ③ JR ④ ハイマー（タクシー） ⑤ 家族・知人の送迎 ⑥ 外出を控える ⑦ その他 ()

Q 9－6. 運転に不安を持つ時がありますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① いつも不安 ② 冬や長距離の運転が不安 ③ 不安はない	① いつも不安 ② 冬や長距離の運転が不安 ③ 不安はない	① いつも不安 ② 冬や長距離の運転が不安 ③ 不安はない

Q 9－7. もしもの時に事故を回避できる自信がありますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①自信がある ②自信がない	①自信がある ②自信がない	①自信がある ②自信がない

Q 9－8. 65歳以上の方への質問です。(65歳未満の方はQ 1-1へお進みください。) 免許証返納の特典等があれば、返納しやすくなりますか。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 返納しやすくなる ② 少し返納しやすくなる ③ あまり返納しやすくならない ④ 全く返納しやすくならない	① 返納しやすくなる ② 少し返納しやすくなる ③ あまり返納しやすくならない ④ 全く返納しやすくならない	① 返納しやすくなる ② 少し返納しやすくなる ③ あまり返納しやすくならない ④ 全く返納しやすくならない

⇒回答後はQ 1-1へ

Q 10. 自動車運転免許を「持っていない」をお答えの方にお聞きします。免許をお持ちでない理由をお答えください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
<p>① 免許返納をした ② 運転が困難 (理由 :) ③ 運転する理由がない ④ 今後取得予定 ⑤ その他 ()</p>	<p>① 免許返納をした ② 運転が困難 (理由 :) ③ 運転する理由がない ④ 今後取得予定 ⑤ その他 ()</p>	<p>① 免許返納をした ② 運転が困難 (理由 :) ③ 運転する理由がない ④ 今後取得予定 ⑤ その他 ()</p>

Q 11. 固定電話、携帯電話（ガラケー）、スマートフォン（スマホ）をお持ちですか。(該当するもの全てに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
<p>① 世帯で固定電話を保有 ② 携帯電話（ガラケー）を保有 ③ スマートフォン（スマホ）を保有 ④ いずれも保有していない</p>	<p>① 世帯で固定電話を保有 ② 携帯電話（ガラケー）を保有 ③ スマートフォン（スマホ）を保有 ④ いずれも保有していない</p>	<p>① 世帯で固定電話を保有 ② 携帯電話（ガラケー）を保有 ③ スマートフォン（スマホ）を保有 ④ いずれも保有していない</p>

Q 12. 宅配業者・郵便局の「自動音声サービス」による再配達依頼について、該当するものをお選びください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
<p>① 利用したことがあり、電話操作も問題がない ② 利用したことがあるが、電話操作に自信がない ③ 利用したことはないが、電話操作は問題がない ④ 利用したことなく、電話操作も自信がない ⑤ 「自動音声サービス」は知らない</p>	<p>① 利用したことがあり、電話操作も問題がない ② 利用したことがあるが、電話操作に自信がない ③ 利用したことはないが、電話操作は問題がない ④ 利用したことなく、電話操作も自信がない ⑤ 「自動音声サービス」は知らない</p>	<p>① 利用したことがあり、電話操作も問題がない ② 利用したことがあるが、電話操作に自信がない ③ 利用したことはないが、電話操作は問題がない ④ 利用したことなく、電話操作も自信がない ⑤ 「自動音声サービス」は知らない</p>

問2. 公共交通などによる日常的な外出についてお答えください。

Q13. 以下の公共交通手段の利用状況をお答えください。(一つに○)

公共交通手段	一人目の方	二人目の方	三人目の方
a) JR (宗谷本線)	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし
b) JR (その他路線)	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし
c) 都市間バス (沿岸バス 特急はぼろ号等)	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし
d) 路線バス (沿岸バス)	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし
e) ハイヤー (タクシー)	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし
f) デマンド 車両※	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし
g) スクールバス (一般混乗)	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし
h) 患者輸送車両 (患者バス)	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし	①週に数回 ②月に数回 ③年に数回 ④利用なし

※事前予約により問寒別地区内の移動（自宅前送迎）やJR天塩中川駅との間を運行している車両です（月・水・金曜日運行）。

Q14. あなたの「夏期」の主な通学・通勤手段を教えてください。(複数回答可)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
【公共交通機関】	【公共交通機関】	【公共交通機関】
①スクールバス(または市町村バス)	①スクールバス(または市町村バス)	①スクールバス(または市町村バス)
②JR	②JR	②JR
③路線バス(路線名:)	③路線バス(路線名:)	③路線バス(路線名:)
④フェリー ⑤高速バス	④フェリー ⑤高速バス	④フェリー ⑤高速バス
⑥ハイヤー(タクシー)	⑥ハイヤー(タクシー)	⑥ハイヤー(タクシー)
【公共交通機関以外】	【公共交通機関以外】	【公共交通機関以外】
⑦徒歩 ⑧自転車	⑦徒歩 ⑧自転車	⑦徒歩 ⑧自転車
⑨自動車(自分で運転)	⑨自動車(自分で運転)	⑨自動車(自分で運転)
⑩自動車(家族等の運転)	⑩自動車(家族等の運転)	⑩自動車(家族等の運転)

Q 15. あなたの「冬期」(積雪期)の主な通学・通勤手段を教えてください。(複数回答可)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
【公共交通機関】	【公共交通機関】	【公共交通機関】
①スクールバス(または市町村バス)	①スクールバス(または市町村バス)	①スクールバス(または市町村バス)
②JR	②JR	②JR
③路線バス(路線名:)	③路線バス(路線名:)	③路線バス(路線名:)
④フェリー ⑤高速バス	④フェリー ⑤高速バス	④フェリー ⑤高速バス
⑥ハイヤー(タクシー)	⑥ハイヤー(タクシー)	⑥ハイヤー(タクシー)
【公共交通機関以外】	【公共交通機関以外】	【公共交通機関以外】
⑦徒歩 ⑧自転車	⑦徒歩 ⑧自転車	⑦徒歩 ⑧自転車
⑨自動車(自分で運転)	⑨自動車(自分で運転)	⑨自動車(自分で運転)
⑩自動車(家族等の運転)	⑩自動車(家族等の運転)	⑩自動車(家族等の運転)

Q 16. 先週1週間の外出状況について、お答えください。

※外出していない日は、何も書かないでください

Q 16-1. 外出目的について次の質問にお答えください。

Q 16-1-1. 該当する外出目的の番号を選んで回答欄に記入してください。

(複数回答可。複数回答する場合は、主な目的を先に記入してください。)

「③通院」の帰りに「④買物」した

→ 番号を選んで記載

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	③④	⑥			④		⑥
回 答 欄	一人目の方						
	二人目の方						
	三人目の方						

●選択肢(選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

- ①通勤 ②通学 ③通院 ④買い物 ⑤役所等の手続き
- ⑥レジャー・レクリエーション(スポーツ・散歩・温泉等) ⑦観光
- ⑧その他の私用(趣味、友人宅等)

⇒ 「③通院」を選択した方は**Q 16-1-2**へ。

「④買い物」を選択した方は**Q 16-1-4**へ。

「③」「④」以外を選択した方は**Q 16-2**へお進みください。

Q 16-1-2. 「③通院」をお答えの方へお聞きします。診療科を教えてください。(該当するもの全てに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 内科 ② 小児科 ③ 外科 ④ 整形外科 ⑤ 眼科 ⑥ 耳鼻咽喉科 ⑦ 泌尿器科 ⑧ 皮膚科 ⑨ 脳神経外科 ⑩ 産科・産婦人科 ⑪ 精神科 ⑫ 呼吸器科 ⑬ 消化器科 ⑭ 循環器科 ⑮ 歯科 ⑯ その他 ()	① 内科 ② 小児科 ③ 外科 ④ 整形外科 ⑤ 眼科 ⑥ 耳鼻咽喉科 ⑦ 泌尿器科 ⑧ 皮膚科 ⑨ 脳神経外科 ⑩ 産科・産婦人科 ⑪ 精神科 ⑫ 呼吸器科 ⑬ 消化器科 ⑭ 循環器科 ⑮ 歯科 ⑯ その他 ()	① 内科 ② 小児科 ③ 外科 ④ 整形外科 ⑤ 眼科 ⑥ 耳鼻咽喉科 ⑦ 泌尿器科 ⑧ 皮膚科 ⑨ 脳神経外科 ⑩ 産科・産婦人科 ⑪ 精神科 ⑫ 呼吸器科 ⑬ 消化器科 ⑭ 循環器科 ⑮ 歯科 ⑯ その他 ()

Q 16-1-3. 同じ診療科を受診する頻度を教えてください。(該当するもの全てに○)
(複数受診している方はQ 16-1-2の番号①～⑯をカッコ内に記入)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① ほぼ毎日 ()	① ほぼ毎日 ()	① ほぼ毎日 ()
② 週に2回以上 ()	② 週に2回以上 ()	② 週に2回以上 ()
③ 週に1回 ()	③ 週に1回 ()	③ 週に1回 ()
④ 2週間に1回 ()	④ 2週間に1回 ()	④ 2週間に1回 ()
⑤ 月に1回 ()	⑤ 月に1回 ()	⑤ 月に1回 ()
⑥ 数か月に1回 ()	⑥ 数か月に1回 ()	⑥ 数か月に1回 ()

Q 16-1-4. 「④買い物」をお答えの方にお聞きします。お買い物の品目について教えてください。(該当するもの全てに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 衣料品(寝具・衣類等) ② 身辺細貨(服飾品・靴等) ③ 文化品(家電・家具・書籍等) ④ 日用品(衣料品・化粧品等) ⑤ 食料品(生鮮・一般等) ⑥ 贈答品	① 衣料品(寝具・衣類等) ② 身辺細貨(服飾品・靴等) ③ 文化品(家電・家具・書籍等) ④ 日用品(衣料品・化粧品等) ⑤ 食料品(生鮮・一般等) ⑥ 贈答品	① 衣料品(寝具・衣類等) ② 身辺細貨(服飾品・靴等) ③ 文化品(家電・家具・書籍等) ④ 日用品(衣料品・化粧品等) ⑤ 食料品(生鮮・一般等) ⑥ 贈答品

Q 16-1-5. 同じ品目をお買い物する頻度を教えてください。(該当するもの全てに○)
(複数行かれた方はQ 16-1-4の番号①～⑥をカッコ内に記入)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① ほぼ毎日 ()	① ほぼ毎日 ()	① ほぼ毎日 ()
② 週に2回以上 ()	② 週に2回以上 ()	② 週に2回以上 ()
③ 週に1回 ()	③ 週に1回 ()	③ 週に1回 ()
④ 2週間に1回 ()	④ 2週間に1回 ()	④ 2週間に1回 ()
⑤ 月に1回 ()	⑤ 月に1回 ()	⑤ 月に1回 ()
⑥ 数か月に1回 ()	⑥ 数か月に1回 ()	⑥ 数か月に1回 ()

Q 16-1-6. 町外へ通院・買い物された方への質問です。町外へ行かれた理由について教えてください。(ご自由に記載してください)

一人目の方	二人目の方	三人目の方

Q 16-2. 家を出た時間と帰宅した時間を回答欄に記入してください。

8時に外出して 12 時に帰宅した

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	8～12 時	10～17 時	～ 時	～ 時	10～12 時	～ 時	13～16 時
回答欄	一人目の方	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時
	二人目の方	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時
	三人目の方	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時	～ 時

Q 16-3. 各曜日の行先について、リストから行き先番号を選んで回答欄に記入してください。行先が複数ある場合は、行った順にお書きください。リストに市町村名がないものは回答欄に直接、市町村名をお書きください。

「⑯宮園町」の次に「⑯豊富町」に寄った

番号を選んで記載

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	⑯⑯	⑯			⑯		⑯
回答欄	一人目の方						
	二人目の方						
	三人目の方						

【町内】

- ① 上間寒 ② 中間寒 ③ 間寒別（市街地以外） ④ 間寒別（市街地） ⑤ 雄興 ⑥ 開進
- ⑦ 上幌延 ⑧ 北進 ⑨ 浜里 ⑩ 下沼 ⑪ 幌延（市街地以外） ⑫ 幌延（市街地）
- ⑬ 1条 ⑭ 2条 ⑮ 3条 ⑯ 4条 ⑰ 5条 ⑱ 6条 ⑲ 宮園町 ⑳ 荣町
- ㉑ 元町 ㉒ 東町

【町外】

- ㉓ 稚内市 ㉔ 猿払村 ㉕ 浜頓別町 ㉖ 中頓別町 ㉗ 枝幸町 ㉘ 豊富町 ㉙ 礼文町
 - ㉚ 利尻町 ㉛ 利尻富士町 ㉜ 中川町 ㉞ 天塩町
- その他（直接、市町村名をお書きください）

Q 16-4. 交通手段について次の質問にお答えください。

Q 16-4-1. 「行き」(最初に行った行先へ)は、どの交通手段を利用しましたか。

利用した順に交通手段の番号を回答欄に記入してください。

「④ 路線バス（沿岸バス）」と「① JR宗谷本線」を使って目的地に行った。

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	④①	㉚			㉚		㉚
回 答 欄	一人の方						
二人の方							
三人の方							

番号を選んで記載

【複数の交通手段の回答例】以下の場合、「④、①」を回答欄に記載



●選択肢（選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。）

【公共交通】

- ① JR宗谷本線
- ② JR（その他路線）
- ③ 都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）
- ④ 路線バス（沿岸バス）
- ⑤ ハイヤー（タクシー）
- ⑥ デマンド車両
- ⑦ スクールバス
- ⑧ 患者輸送車両（患者バス）

【公共交通以外】

- ㉚ 自家用車（自分で運転）
- ㉚ 自家用車（家族などによる送迎）
- ㉚ 徒歩
- ㉚ 自転車
- ㉚ その他

Q 16-4-2. 「帰り」(最後に行った行先からご自宅へ)は、どの交通手段を利用しましたか。利用した順に交通手段の番号を回答欄に記入してください。

「① JR宗谷本線」と「④ 路線バス(沿岸バス)」
を使って自宅に帰った。

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	①④	㉒			㉒		㉒
回 答 欄	一人の方						
二人の方							
三人の方							

番号を選んで記載

●選択肢 (選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

【公共交通】

- ① JR宗谷本線 ② JR (その他路線) ③ 都市間バス (沿岸バス特急はぼろ号等)
- ④ 路線バス (沿岸バス) ⑤ ハイカー (タクシー) ⑥ デマンド車両
- ⑦ スクールバス ⑧ 患者輸送車両 (患者バス)

【公共交通以外】

- ㉑ 自家用車 (自分で運転) ㉒ 自家用車 (家族などによる送迎) ㉓ 徒歩
- ㉔ 自転車 ㉕ その他

Q 16-4-3. Q 16-4-1、Q 16-4-2の交通手段で「㉑」、「㉒」の自家用車を選択した方への質問です。バスより少し高い運賃で、ご自宅と目的地の間を直接結ぶ公共交通が運行する場合、この公共交通に変えてみても良い曜日はありますか。変えてみても良いと考える曜日に「○」をお書きください。

「自家用車」から「公共交通」の利用に変えてもいい

	月	火	水	木	金	土	日
記入例		○					
回 答 欄	一人の方						
二人の方							
三人の方							

Q 16-5. 医療機関、高校・大学及び商業施設に行かれた方は、該当する番号を回答欄に記入してください。選択肢に無い場合、直接回答欄に施設名をお書きください。

「稚内市立稚内病院」の後、
「Qマート幌延店」に行った

	月	火	水	木	金	土	日
記入例	A-4、C-1	C-4			C-1		
回答欄	一人の方						
	二人の方						
	三人の方						

●選択肢（選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。）

A 医療 施設	A-1 幌延町国民健康保険診療所	A-2 間寒別国民健康保険診療所
	A-3 幌延町立歯科診療所	
	A-4 稚内市立稚内病院	A-5 名寄市立総合病院
	A-6 北海道立羽幌病院	A-7 留萌市立病院
	A-8 旭川赤十字病院	A-9 旭川医科大学病院
	A-10 天塩町立国民健康保険病院	
	A-11 その他（直接記入）	
	B-1 北海道天塩高等学校	B-2 北海道遠別農業高等学校
	B-3 北海道羽幌高等学校	B-4 北海道豊富高等学校
	B-5 北海道稚内高等学校	B-6 稚内大谷高等学校
B 高校 大学	B-7 育英館大学（稚内市）	B-8 名寄市立大学
	B-9 その他（直接記入）	
C 商業 施設	C-1 Qマート幌延店	C-2 Qマート間寒別店
	C-3 フードインタイムリー イトウ	C-4 セイコーマート ほろのべ店
	C-5 近正商店	C-6 菊地商店
	C-7 中央スーパー天塩店	C-8 天塩フードセンター
	C-9 かっぽい生鮮マート（天塩町）	
	C-10 その他天塩町内のスーパー等	
	C-11 フードインタイムリー豊富店	C-12 Aコープとよとみ店
	C-13 セイコーマート エベコロ店（豊富町）	
	C-14 その他豊富町内のスーパー等	
	C-15 Qマート中川店	C-16 セイコーマート天塩中川店
	C-17 その他中川町内のスーパー等	
	C-18 その他稚内市内のスーパー等	
	C-19 その他名寄市内のスーパー等	
	C-20 その他（直接記入）	

番号を選んで記載

問3. 今後の公共交通への要望等についてお答えください。

Q17-1. 公共交通を利用されている方への質問です。(利用されていない方は、Q17-3へお進みください) 世帯でお話し合いの上、回答してください。(以下、共通) 現状の公共交通機関に満足していますか。(一つに○)

回 答 棚 (ご家族等で相談してお答えください)

- | | | | |
|-------------|---------|--------------|---------|
| ① とても満足している | …Q17-4へ | ③ どちらでもない | …Q17-2へ |
| ② やや満足している | | ④ あまり満足していない | |
| | | ⑤ 全く満足していない | |

Q17-2. 理由を教えてください。(複数回答可)

回 答 棚 (ご家族等で相談してお答えください)

- | | | |
|-----------------------------|------------------------|-----------|
| ① 自宅から行きやすい停留所がないため | ② 目的地の近くに停留所がないため | |
| ③ 便数が少ないため | ④ 利用したい時間帯に運行していないため | ⑤ 運賃が高いため |
| ⑥ 運賃の払い方が分からぬいため | ⑦ 駅構内の移動や車両の乗り降りが難しいため | |
| ⑧ 目的地に行くためにどの便に乗ればいいのか分からない | | |
| ⑨ 他の公共交通機関との接続がうまくいっていないため | ⑩ 待合環境がよくないため | |
| ⑪ その他 () | | |

⇒回答後はQ17-4へ

Q17-3. 公共交通を利用されていない方への質問です。公共交通機関を利用しない理由を教えてください。(複数回答可)

回 答 棚 (ご家族等で相談してお答えください)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| ① 利用したい時間帯に運行していないため | |
| ② 駅やバス停での降車後、目的地までの移動手段がないため | |
| ③ 待ち時間が長いため | ④ 荷物があると移動が大変なため |
| ⑤ その他 () | |

Q17-4. あなたの今後の公共交通機関の利用意向について教えてください。(一つに○)

回 答 棚 (ご家族等で相談してお答えください)

- | |
|---------------------------------------|
| ① 公共交通に頼らざるを得ないため、今後は(も)利用する |
| ② 免許返納の予定があるので、今後は(も)利用する |
| ③ 足腰等が悪いので、福祉的支援を利用するが公共交通も利用する |
| ④ 数年後には、進学等で引っ越すため利用しなくなると思う |
| ⑤ 現在は自動車が主な交通手段だが、今後は極力、公共交通を利用したいと思う |
| ⑥ 自動車が主な交通手段のため、今後も利用しないと思う |
| ⑦ その他 () |

Q 18. 自家用車に頼らない生活を送る時、公共交通はどうあって欲しいですか。選択肢から番号を選んで回答欄にお書きください。(一つ選んで番号を記入)

番号を選んで記載

	回 答 欄 (ご家族等で相談してお答えください)
回答欄	

●選択肢 (選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

- ① 自家用車の利便性と同じくらい、自由に行きたいところに行けるような公共交通
(運賃はタクシーの運賃程度)
- ② 自家用車の利便性よりは低下するものの、現在の鉄道や路線バスより利便性が高い公共交通 (運賃は路線バスとタクシーの中間程度)
- ③ 現在の鉄道や路線バスと同じくらいの利便性で充分 (運賃は路線バスの運賃)

Q 19. 現状の公共交通機関からどのように改善されれば公共交通の利用が増えると思いますか。また、利用したいと思いますか。(複数回答可)

回 答 欄 (ご家族等で相談してお答えください)

- ① 現状のままでよい
- ② 自宅や自宅近辺から乗車し、乗り継いで目的地に行けること
- ③ 自宅や自宅近辺から乗車し、乗り継ぎなしで目的地に行けること
- ④ 目的地に到着してほしい時間帯に利用ができること
(到着したい時間帯の記載をお願いします → (_____) 時台)
- ⑤ 運賃が利用しやすいこと (1回の運賃がいくらだと望ましいですか → (_____) 円)
- ⑥ 住んでいる自治体内での移動が便利であること
- ⑦ その他 ()

Q 20. 公共交通が使いやすくなった場合、今よりも外出の機会は増えると思いますか。
(一つに○)

回 答 欄 (ご家族等で相談してお答えください)
① 増えると思う ② 変わらないと思う ③ 減ると思う

Q 21. 町内を運行する新たな公共交通についての質問です。

Q 21-1. どのような公共交通があれば利用されますか。便利さと利用金額を考慮のうえ、下記よりお答えください。(一つに○)

回答欄(ご家族等で相談してお答えください)	便利さ	利用金額
① ハイヤー※1	↑ 高い	↑ 高い
② 乗合タクシー ※2		
③ コミュニティバス ※3	↓ 低い	
④ スクールバスの一般利用 ※4		
⑤ 公共交通機関は利用しない …Q 22へ	—	—

※1…電話すると、個別に出発地から目的地まで直接アクセスできます。本町ではハイヤー運賃の一部を助成しています。

※2…利用したい運行時刻の便を予約すると、他の方と乗合ながら自宅と町内の病院やスーパーとの間を直接アクセスできます。

※3…路線バスよりも、ルートをきめ細かく設定して運行します。

※4…小中学生が通学するバスに、一般の方が便乗するものです。小中学生の通学に支障のない範囲での利用になります。

Q 21-2. **Q 21-1**であなたが選択した交通手段が以下の金額で運行される場合、利用されますか。それぞれ次に質問にお答えください。

運賃(片道)	回答欄(ご家族等で相談してお答えください)	
200円	①利用する	②利用しない
400円	①利用する	②利用しない
600円	①利用する	②利用しない
800円	①利用する	②利用しない
1000円	①利用する	②利用しない

Q 22. 本町で実施しているハイヤー運賃助成制度※について次の質問にお答えください。

※同封の資料をご覧ください。

Q 22-1. 本制度の行政サービスのあり方についてお答えください。(あてはまる数字1つに○をつけてください) (ご家族等で相談してお答えください)

	手厚い	やや手厚い	妥当である	少し手厚く	もっと手厚く
回答欄	1	2	3	4	5

Q 22-2. 本制度の利用についてお答えください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 利用している …Q 22-3へ ② 利用していないが、5年以内に利用する ③ 利用していない、5年以内にも利用しない	① 利用している …Q 22-3へ ② 利用していないが、5年以内に利用する ③ 利用していない、5年以内にも利用しない	① 利用している …Q 22-3へ ② 利用していないが、5年以内に利用する ③ 利用していない、5年以内にも利用しない

Q 22-3. 本制度を「①利用している」を選択した方への質問です。チケット交付枚数は一年間で下表のとおりですが、交付枚数について該当するものをお答えください。
(一つに○)

居住地区	単身世帯	複数世帯
幌延地区連合町内会に属する町内会、問寒別地区	36枚／人・年度	24枚／人・年度
上記以外の地区	84枚／人・年度	56枚／人・年度

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 足りている ② 不足している (_____枚程度追加)	① 足りている ② 不足している (_____枚程度追加)	① 足りている ② 不足している (_____枚程度追加)

Q 23. 今後の公共交通を維持するための方針について、あなたの考えをお答えください。
(それぞれの項目で最も当てはまる数字1つに○を付けてください) (ご家族等で相談してお答えください)

公共交通の維持方針	理解できる	やや理解できる	あまり理解できない	まったく理解できない
①鉄道や路線バスの運行にかかる経費を税金等から補てんし、現在のサービスを維持する	1	2	3	4
②鉄道や路線バスに補てんするぐらいなら、独自で輸送方法を考えるべき	1	2	3	4
③利用料金の値上げを行い、現在のサービスを維持する	1	2	3	4
④運行回数を減らして運行経費を抑える	1	2	3	4
⑤利用者がない運行がないように、乗車予約による運行を行う	1	2	3	4
⑥効率的な運行とするために、乗り継ぎを含めた運行を行う	1	2	3	4
⑦長距離バス路線を分割化して、利用者のニーズに合った運行時刻に見直しする	1	2	3	4
⑧運賃は高くなるが車両を小型化して、自宅前送迎などきめ細かなサービスをする	1	2	3	4

Q 24. 公共交通にあると便利なサービス等についてお答えください。(3つ以内を○で囲んでください)

回 答 欄 (ご家族等で相談してお答えください)

- ① 重たい荷物を車両から自宅まで運んでくれるサービス
- ② 自分の代わりに車両予約をしてくれるサービス
- ③ 買い物の代行サービス
- ④ 通院の付き添い、介助サービス
- ⑤ 車両を待っている間に利用できる待合所を設ける
- ⑥ 鉄道やバスの乗り方がよくわからないので、乗り方教室などを開催する
- ⑦ 公共交通の運行時刻や接続時刻がわかるパンフレットを配布する
- ⑧ その他 ()

Q 25. 町民自らが支える公共交通についてお答えください。

運転免許をお持ちの方で、普段運転されている方に質問です。(運転免許をお持ちでない方、普段運転されない方は問4へ)

仮に地域の方を送迎する運転業務について、あなたはドライバーとして参加・協力したいと思いますか。該当するものをお答えください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①参加・協力は難しい ②ボランティアとして参加可能 ③賃金をもらえるのであれば 参加可能	①参加・協力は難しい ②ボランティアとして参加可能 ③賃金をもらえるのであれば 参加可能	①参加・協力は難しい ②ボランティアとして参加可能 ③賃金をもらえるのであれば 参加可能

「②」、「③」をお答えの方にお聞きします。

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①フルタイムで週に _____日くらい参加可能 ②フルタイムは難しいが1日 _____時間くらい参加可能	①フルタイムで週に _____日くらい参加可能 ②フルタイムは難しいが1日 _____時間くらい参加可能	①フルタイムで週に _____日くらい参加可能 ②フルタイムは難しいが1日 _____時間くらい参加可能

問4. その他、公共交通についてご意見等がありましたら、お書きください。

調査へのご協力、ありがとうございました。

資料－2. 鉄道利用乗降調査(ヒアリング票)

■JR 宗谷本線をご利用者様へのヒアリング調査

(1) お住まい (番号を記載)

別紙1 (3ページ) のリストを参照 :

(2) どの駅で降車されますか、あるいはどの駅で乗車されましたか (番号を記載)

	乗車駅	降車駅
別紙2 (4ページ) のリストを参照		

(3) この列車の利用状況

1) 行き・帰りのご利用 (一つに○)

- ①行き・帰りとも利用
- ②行きのみ利用
- ③帰りのみ利用

2) ご利用の頻度 (一つに○)

- ①ほぼ毎日
- ②週に4, 5日
- ③週に2, 3日
- ④週に1日
- ⑤月に数回
- ⑥年に数回

(4) 本日の外出目的 (主な目的一つを選択して○)

- ①通勤
- ②通学
- ③通院・治療
- ④買物・飲食
- ⑤レクリエーション・趣味活動等
- ⑥その他 ()

(5) 本日、行かれる（行かれた）施設（該当する全ての番号を記載）

別紙1 (3ページ) のリストを参照 :

(6) 幌延町内にて、この列車を降車された後あるいは、乗車される前の交通手段をお答えください。

(該当する番号に○)

- ①都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）
- ⑧自家用車（自分で運転）
- ②路線バス（沿岸バス）
- ⑨自家用車（家族などによる送迎）
- ③ハイヤー（タクシー）
- ⑩徒歩
- ④沿岸バス豊富幌延線
- ⑪自転車
- ⑤デマンド車両
- ⑫その他
- ⑥スクールバス
- ⑦患者輸送車両（患者バス）

(7) 性別・年齢 (それぞれ一つに○)

性 別	①男性	・	②女性		
年 齢	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代
	⑥60代	⑦70代	⑧80歳以上		

次のページにも質問があります。

(8) この列車でお気づきの点

[Large empty rectangular box for writing notes.]

○以下、調査員記載事項（いずれかに○を記入）

調査便名	上り（旭川方面）	下り（稚内方面）
	6:24 (普通) 7:32 (特急) 11:34着 11:46発 (普通) 13:56着 13:57発 (特急) 18:39 (特急) 19:13着 19:14発 (普通) 21:17着 (普通) (終点)	6:58着 7:00発 (普通) 10:33着 10:56発 (普通) 11:46 (特急) 16:29着 16:30発 (特急) 18:30着 14:40発 (普通) 22:52着 22:53発 (特急)

「(1) お住まい」のリスト

【町内】

- ① 上間寒 ② 中間寒 ③ 間寒別（市街地以外） ④ 間寒別（市街地） ⑤ 雄興
 ⑥ 開進 ⑦ 上幌延 ⑧ 北進 ⑨ 浜里 ⑩ 下沼 ⑪ 幌延（市街地以外）
 ⑫ 幌延（市街地） ⑬ 1条 ⑭ 2条 ⑮ 3条 ⑯ 4条 ⑰ 5条
 ⑱ 6条 ⑲ 宮園町 ⑳ 栄町

【町外】

- ㉑ 稚内市 ㉒ 猿払村 ㉓ 浜頓別町 ㉔ 中頓別町 ㉕ 枝幸町 ㉖ 豊富町
 ㉗ 礼文町 ㉘ 利尻町 ㉙ 利尻富士町 ㉚ 中川町 ㉛ 天塩町
 その他（直接、市町村名をお書きください）

「(3) 施設」のリスト

○医療施設

- | | |
|-------------------|------------------|
| A-1 幌延町国民健康保険診療所 | A-2 間寒別国民健康保険診療所 |
| A-3 幌延町立歯科診療所 | |
| A-4 稚内市立稚内病院 | A-5 名寄市立総合病院 |
| A-6 北海道立羽幌病院 | A-7 留萌市立病院 |
| A-8 旭川赤十字病院 | A-9 旭川医科大学病院 |
| A-10 天塩町立国民健康保険病院 | |
| A-11 その他（直接記入） | |

○高校・大学

- | | |
|----------------|-----------------|
| B-1 北海道天塩高等学校 | B-2 北海道遠別農業高等学校 |
| B-3 北海道羽幌高等学校 | B-4 北海道豊富高等学校 |
| B-5 北海道稚内高等学校 | B-6 稚内大谷高等学校 |
| B-7 育英館大学（稚内市） | B-8 名寄市立大学 |
| B-9 その他（直接記入） | |

○商業施設

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| C-1 Qマート幌延店 | C-2 Qマート間寒別店 |
| C-3 フードインタイムリー イトウ | C-4 セイコーマート ほろのべ店 |
| C-5 近正商店 C-6 菊地商店 | |
| C-7 中央スーパー天塩店 | C-8 天塩フードセンター |
| C-9 かつぱい生鮮マート（天塩町） | |
| C-10 その他天塩町内のスーパー等 | |
| C-11 フードインタイムリー豊富店 | C-12 Aコープとよとみ店 |
| C-13 セイコーマート エベコロ店（豊富町） | |
| C-14 その他豊富町内のスーパー等 | |
| C-15 Qマート中川店 | C-16 セイコーマート天塩中川店 |
| C-17 その他中川町内のスーパー等 | |
| C-18 その他稚内市内のスーパー等 | |
| C-19 その他名寄市内のスーパー等 | |
| C-20 その他（直接記入） | |

別紙2

「(2) JR 駅」のリスト (JR 宗谷本線)

稚内市内	①稚内駅 ②南稚内駅 ③抜海駅 ④勇知駅	名寄市内	⑫智北駅 ⑬智恵文駅 ⑭日進駅 ⑮名寄駅 ⑯名寄高校駅 ⑰風連駅
豊富町内	⑤兜沼駅 ⑥豊富駅	士別市内	⑲瑞穂駅 ⑳多寄駅 ㉑士別駅
幌延町内	⑦下沼駅 ⑧幌延駅 ⑨南幌延駅 ⑩雄信内駅 ⑪糠南駅 ⑫問寒別駅	劍淵町内	㉒剣淵駅
中川町内	㉓天塩中川駅 ㉔佐久駅	和寒町内	㉕和寒駅 ㉖塩狩駅
音威子府村内	㉗鏡島駅 ㉘音威子府駅 ㉙咲来駅 ㉚天塩川温泉駅	比布町内	㉛蘭留駅 ㉜比布駅
美深町内	㉖恩根内駅 ㉗初野駅 ㉘美深駅	旭川市内	㉙北永山駅 ㉚永山駅 ㉛新旭川駅 ㉜旭川四条駅 ㉝旭川駅
			㉞札幌駅 ㉟その他 ()

資料－3. 来訪者アンケート調査

■幌延町来訪者アンケート調査

幌延町では町内において利用しやすい公共交通の検討を行っております。以下の(1)から(7)についてお答えください。

(1) 利用した(している)施設をお答えください。(一つに○)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| ① 幌延深地層研究センター ゆめ地創館 | ② 幌延町トナカイ観光牧場 |
| ③ 幌延ビジターセンター | ④ 北海道大学北方生物圏フィールド科学センタ一天塩研究林 |
| ⑤ その他 () | |

(2) 来訪された目的をお答えください。(主な目的一つを選択して○)

- | | | | |
|---------|---------------|-----------|---------|
| ① 調査・研究 | ② 視察・調査 | ③ 会議・打合せ | ④ 通院・治療 |
| ⑤ 買物・飲食 | ⑥ 観光・レクリエーション | ⑦ その他 () | |

(3) 幌延町での予定滞在時間・期間をお答えください。(一つに○、必要な期間等を記入)

- | |
|---------------------------------------|
| ① 1日以内 (_____ 時間程度) |
| ② 2日以上 (全行程_____ 日程度・_____ 箇月程度) |
| (□幌延町内宿泊 () 泊、□滞在に同じ) ←□内チェック、宿泊数を記載 |

(4) 利用された交通手段と望まれる交通手段等についてお答えください。

(4)－1 来町時の交通手段

来町した時の交通手段をお答えください。(該当するもの全てを選択して○)

鉄道、飛行機を利用した方、利用した空港名と駅名もあわせてお答えください。

(該当する駅・空港に○)

- | |
|-------------------------------------|
| ① 飛行機 (稚内空港・旭川空港・その他 (_____ 空港)) |
| ② フェリー |
| ③ 鉄道 (幌延駅・問寒別駅・天塩中川駅・その他 (_____ 駅)) |
| ④ 都市間バス (沿岸バス特急はぼろ号等) |
| ⑤ 貸切バス |
| ⑥ 路線バス (沿岸バス) |
| ⑦ ハイヤー (タクシー) |
| ⑧ 問寒別地区を運行するデマンド車両 |
| ⑨ 幌延町内を運行するスクールバス |
| ⑩ 幌延町内を運行する患者輸送車両 (患者バス) |
| ⑪ 自家用車 (自ら運転・送迎) |
| ⑫ 社用車 (自ら運転・送迎) |
| ⑬ レンタカー |
| ⑭ 徒歩 |
| ⑮ 自転車 |
| ⑯ その他 () |

(4) - 2 町内等での交通手段

研究等の目的で、一定期間において町内に滞在される方へお聞きします。

(滞在されない方は(5)へお進みください。)

町内を移動するのに利用している交通手段をお答えください。(該当するもの全てに○)

鉄道を利用した方、利用した駅名もあわせてお答えください。(該当する駅に○)

- ③ 鉄道（下沼駅・幌延駅・南幌延駅・雄信内駅・糠南駅・間寒別駅・天塩中川駅・豊富駅・その他（_____駅））
- ④ 都市間バス（沿岸バス特急はぼろ号等）
- ⑤ 貸切バス
- ⑥ 路線バス（沿岸バス）
- ⑦ ハイヤー（タクシー）
- ⑧ 間寒別地区を運行するデマンド車両
- ⑨ 幌延町内を運行するスクールバス
- ⑩ 幌延町内を運行する患者輸送車両（患者バス）
- ⑪ 自家用車（自ら運転・送迎）
- ⑫ 社用車（自ら運転・送迎）
- ⑬ レンタカー
- ⑭ 徒歩
- ⑮ 自転車
- ⑯ その他（_____）

(4) - 3 主に町内を移動するのにあったら便利な交通手段について、以下をお答えください。

(4) - 3-1 どの地域を移動するのに利用されますか。(最も利用するもの一つに○)

- ① 幌延駅と町内目的地間
- ② 間寒別駅と町内目的地間
- ③ 天塩中川駅と町内目的地間
- ④ 幌延市街地内
- ⑤ 間寒別地区内
- ⑥ 幌延市街地と間寒別地区間
- ⑦ 幌延市街地と間寒別地区以外の地区間
- ⑧ 間寒別地区と幌延市街地以外の地区間
- ⑨ その他（_____）

(4) - 3-2 どのような運行が望まれますか。(一つに○)

- ① 自家用車の利便性と同じくらい、自由に行きたいところに行けるような公共交通（運賃はタクシーの運賃程度）
- ② 自家用車の利便性よりは低下するものの、現在の鉄道や路線バスより利便性が高い公共交通（運賃は路線バスとタクシーの中間程度）
- ③ 現在の鉄道や路線バスと同じくらいの利便性で充分（運賃は路線バスの運賃）

(4) - 3-3 どのような頻度で利用されますか。(一つに○、利用する日数を記入)

- ① 週に (_____) 日程度
- ② 月に (_____) 日程度

(4) - 3-4 主にどのような目的で利用されますか。(一つに○)

- ① 調査・研究 ② 観察・調査 ③ 会議・打合せ ④ 通院・治療
- ⑤ 買物・飲食 ⑥ 観光・レクリエーション ⑦ その他 ()

(5) 性別・年齢 (それぞれ一つに○)

- ① 男性
- ② 女性
- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑥ 60代
- ⑦ 70歳以上

(6) お住まいをお答えください。(直接記入してください)

(_____) 都・道・府・県 (_____) 市・町・村

(7) その他、公共交通についてご意見等がありましたら、お書きください。

調査へのご協力、ありがとうございました。